(様式第 10)

東北病医　第 199 号
令和　3 年　10 月　7 日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　国立大学法人　東北大学
総　長　　大野　英男

東北大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒９８０－８５７７　宮城県仙台市青葉区片平二丁目１番１号
氏　　名	国立大学法人　東北大学

(注)　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

東北大学病院

3　所在の場所

〒９８０－８５７４ 宮城県仙台市青葉区星陵町１番１号　　　電話(０２２)７１７－７０００

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注)　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科			㊒・無
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	4 腎臓内科
5 神経内科	⑥血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
⑨感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科		⑪リウマチ科
診療実績 上記のほか、腎臓・内分泌内科、糖尿病・代謝内科、漢方内科、老年内科、心療内科、腫瘍内科、脳神経内科において医療を提供している。			

(注) 1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	㊒ ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科　②消化器外科　3 乳腺外科　4 心臓外科 5 血管外科　⑥心臓血管外科　7 内分泌外科　⑧小児外科	
診療実績 上記のほか、肝臓・胆のう・膵臓外科、胃腸外科、移植・食道・血管外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、小児腫瘍外科、頭頸部外科において医療を提供している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科　②小児科　③整形外科　④脳神経外科　⑤皮膚科　⑥泌尿器科　⑦産婦人科 8 産科　9 婦人科　⑩眼科　⑪耳鼻咽喉科　⑫放射線科　13 放射線診断科 14 放射線治療科　⑮麻酔科　⑯救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	㊒ ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科　②矯正歯科　③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4) 以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科　2 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
40 床	2 床	床	床	1,118 床	1,160 床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　種	常　勤	非常勤	合　計	職　種	員　数	職　種	員　数
医　師	379人	256 人	620.3人	看護補助者	192人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	97人	73人	159.3人	理学療法士	25人	臨床検査　臨床検査技師	112人
薬剤師	94人	1人	94.7人	作業療法士	9人	臨床検査　衛生検査技師	3人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	16人	臨床検査　その他	0人
助産師	51人	1人	52人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,217人	16人	1,227.5人	臨床工学士	29人	医療社会事業従事者	29人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	197人
歯科衛生士	9人	13人	20.9人	歯科技工士	11人	事務職員	405人
管理栄養士	12人	0人	12人	診療放射線技師	70人	その他の職員	167人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
　　2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
　　3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	１０１人	眼科専門医	１３人
外科専門医	８７人	耳鼻咽喉科専門医	１４人
精神科専門医	１２人	放射線科専門医	２６人
小児科専門医	２７人	脳神経外科専門医	１２人
皮膚科専門医	１１人	整形外科専門医	１６人
泌尿器科専門医	８人	麻酔科専門医	２７人
産婦人科専門医	２７人	救急科専門医	１６人
		合　計	３９７人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
　　2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　冨永　悌二　）　任命年月日　平成３１年　４月　１日

医療安全管理責任者（医療安全担当の副病院長）を平成２８年４月１日から平成３１年３月３１日まで務め、医療安全監査委員会への対応、特定機能病院間のピアレビューの実施、高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等管理センター長業務、医療安全推進委員会や内部通報受付審査会等の業務等、医療に係る安全管理の業務に従事した。

また、現在も病院長として、医療安全推進委員会の委員を務めながら、医療に係る安全管理の業務に従事している。

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	817.0人	25.7人	842.7
1日当たり平均外来患者数	2,200.5人	511.3人	2,711.8人
1日当たり平均調剤数			1,263.7剤
必要医師数			212人
必要歯科医師数			20人
必要薬剤師数			29人
必要（准）看護師数			518人

(注)1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	377.08m^2	鉄筋コンクリート	病床数	18床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]　床面積　402 m^2　病床数　25 床 [移動式の場合]　台数　台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合]　床積　251 m^2 [共用室の場合]　共用する室名					
化学検査室	705 m^2	鉄骨造	(主な設備) 生化学、免疫検査装置			
細菌検査室	334 m^2	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ			
病理検査室	492 m^2	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
病理解剖室	106 m^2	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台			
研究室	7,419 m^2	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	373 m^2	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	362 人
図書室	4,476 m^2	鉄筋コンクリート	室数	4 室	蔵書数	41万冊程度

(注) 1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		78.3 ％	逆紹介率	60.1 ％
算出根拠	A：紹介患者の数			20,420 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			16,610 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,236 人
	D：初診の患者の数			27,644 人

（注）1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
武田 和憲	社会保険診療報酬支払基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・[無]	1
嶋森 好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・[無]	1
三輪 佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・[無]	1
原 忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・[無]	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1. に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	[有]・無
委員の選定理由の公表の有無	[有]・無
公表の方法 東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
LDLアフェレシス療法	0人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）	0人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）	0人
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術	2人
細胞診検体を用いた遺伝子検査	20人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法　上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法　特発性ネフローゼ症候群（当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。）	0人
テモゾロミド用量強化療法　膠芽腫（初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。）	1人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術子宮頸がん（FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。）	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法　膵臓がん（遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。）	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体の遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	231人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞の遺伝子変異(EGFRやEML4-ALK)を調べた上で適切な治療方針を決定している。			

医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	61人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			

医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	87人
当該医療技術の概要			
乳癌組織（パラフィンブロック）を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは20%程度で、残りの80%程度はFISH陰性（HER2陰性）と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			

医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHおよびPCRによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	31人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。さらに遺伝子異常（転座）の証明が適応の有無を左右する抗がん剤も出てきており、診断のみでなく治療方針の点でも重要になってきている。また脳腫瘍に関しては、新WHO分類においてグリオーマなどの診断に遺伝子学的な情報が必須とうたわれており、遺伝子検査を行わないと診断が確定できない状況となっている。診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必須な検査である。			

医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	51人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			

医療技術名	体外衝撃波による膵石粉砕術	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			

医療技術名	内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	203人
当該医療技術の概要			
早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			

医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィー	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			

医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	102人
当該医療技術の概要			
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			

医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			

医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	67人
当該医療技術の概要			
強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			

医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	124人
当該医療技術の概要			
テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			

医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	47人
当該医療技術の概要			
同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			

医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員し、ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			

医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフェレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			

医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			

医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要			
稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			

医療技術名	末梢血幹細胞採取における造血幹細胞の定量	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
自家または同種末梢血幹細胞採取の適否を判断するために、術前に末梢血CD34陽性細胞数を定量する。さらに移植に十分な造血幹細胞が得られているかどうかを判断するために、採取産物中に含まれるCD34陽性細胞数を定量する。			

医療技術名	上咽頭癌に対する化学療法併用した強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
長期予後の望める上咽頭癌に強度変調放射線療法を導入することで、視神経や脳幹、耳下腺などQOLに関連する部位への照射線量を抑えつつ、病巣への線量を担保する治療法。			

医療技術名	重症急性膵炎による感染性膵壊死に対する内視鏡的壊死物質除去術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
近年NOTESの手技を応用し、経胃的に感染性膵壊死の部位に直接内視鏡を挿入し壊死物質を取り除く方法が試みられ、良好な成績が得られている。			

医療技術名	ドップラー血流評価と蛍光血流評価を併用した先進的食道再建術	取扱患者数	58人
当該医療技術の概要			
食道切除後の消化管再建術は、腹部消化管である胃、結腸を頚部まで挙上し吻合する高度な技術であるが、その成否は再建臓器の血流状態によるところが大きい。これを客観的データでとらえるために、ドップラー血流計を用いた血流絶対量の評価と、ICG蛍光カメラによるリアルタイムな視覚的血流評価を併用し、再建臓器の吻合最適部位を決定、安全で確実な消化管再建を実施している。			

医療技術名	腹臥位胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 胸腔鏡下食道切除術は従来側臥位で行われてきたが、腹臥位にすることにより、肺・心圧排操作の回避、より緻密なリンパ節郭清、副損傷の回避が可能となる。この術式はいまだ一般的ではなく、熟練食道外科医と麻酔科医の連携によって行われる高度な手術である。			
医療技術名	成人症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	188人
当該医療技術の概要 従来の矯正歯科治療と比較し、歯科矯正用アンカースクリューを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短期間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			
医療技術名	成長期症例における歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 骨格的な改善が必要な成長期症例（例：下顎前突）において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、歯科矯正用アンカースクリューを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側（裏側）に矯正装置（ブラケット）を装着することにより、矯正装置が全く見えることなく治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、歯科矯正用アンカースクリューを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、障害者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。			
医療技術名	頭頸部がんに対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	373人
当該医療技術の概要 頭頸部がんの手術、化学療法、ならびに放射線治療前後の口腔ケア、感染原の除去（抜歯等）、開口訓練を行い、手術創部の感染や、術後の誤嚥性肺炎を予防し、さらに口腔の機能回復を図る治療			
医療技術名	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	76人
当該医療技術の概要 大腸における早期癌又は腺腫を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	切除可能膵癌に対する術前化学療法	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 切除可能膵癌に対する標準治療戦略は手術先行であるが、手術時既に存在すると考えられる不顕性の転移病変に対して、全身状態の良い手術前に全身化学療法を行った後に切除を行う治療戦略。切除率の向上、生存期間の延長が期待できる。ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	進行・再発直腸癌に対する手術前化学放射線療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 直腸癌に対する化学放射線療法は本邦ではコンセンサスが得られていないが、米国では標準治療の一部となっている。手術の根治性を高め、予後を改善する可能性が期待される。放射線科医と胃腸外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			
医療技術名	切除不能膵癌に対する化学療法・化学放射線療法後のサルベージ手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 切除不能と診断される膵癌に対して、一定期間治療が奏功した後に、切除を行う。化学療法・化学放射線療法のみで治療を行うよりも生存期間の延長や長期生存が得られる可能性が高まる。放射線科医と肝胆膵外科医の協同で行う、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。			

医療技術名	頭頸部癌に対する密封小線源治療	取扱患者数	3人

当該医療技術の概要
口唇、舌、口腔など頭頸部の早期癌に対して、Au198が密封された小さなシードといわれる線源を局所麻酔下で永久刺入する治療を行っている。手術に比べ機能、形態温存に優れ、体外照射に比べて有害事象が軽度に抑えられる利点がある。歯科では顎の骨を放射線から守るために、マウスピースを作製、装着してもらい、放射線潰瘍や下顎骨壊死の予防を行っている。

医療技術名	甲状腺癌に対するI-131内用療法	取扱患者数	67人

当該医療技術の概要
甲状腺分化癌にヨードが取り込まれるという性質を利用した組織内照射で、分化型甲状腺がんの転移病巣や腫瘍床の残存病変に対する治療として行われている。多発転移病変に対する腫瘍制御的治療としては数少ない手段である。

医療技術名	持続血液透析濾過	取扱患者数	168人

当該医療技術の概要
急性腎不全の重症例や全身状態の悪い症例に対して行われる血液浄化法で、血液透析濾過を24時間持続的に行う。少量ずつ透析を持続的に行うため、全身状態に与える影響が少なく、血管外物質の除去効率が高い。

医療技術名	血漿交換	取扱患者数	48人

当該医療技術の概要
血液を血漿分離器で血球成分と血漿成分に分離した後に、病気の原因物質を含む血漿を廃棄して、それと同じ量の健常な方の血漿(新鮮凍結血漿)、もしくはアルブミン製剤を入れて置き換える治療法。劇症肝炎、肝不全、血栓性血小板減少性紫斑病、ステロイドや免疫抑制剤の治療効果が少ない活動性の強い膠原病(全身性紅斑性エリトマトーデスなど)、神経免疫疾患などが適応となる。

医療技術名	エンドトキシン吸着	取扱患者数	34人

当該医療技術の概要
エンドトキシン血症に伴う重症病態の改善のため、エンドトキシンを選択的に吸着除去する吸着型浄化器(トレミキシン)を用いた血液浄化療法。

医療技術名	経皮的心肺補助(PCPS)	取扱患者数	65人

当該医療技術の概要
緊急心蘇生や重症心不全に対する循環補助が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を、膜型人工肺を用いて酸素化し動脈血として大腿動脈に送血閉鎖回路による補助循環である。

医療技術名	体外膜型酸素化装置	取扱患者数	13人

当該医療技術の概要
ARDSや重症肺炎(細菌性、ウイルス性)、肺外傷などの、低酸素血症や高二酸化炭素血症の重症呼吸不全が適応となる。大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。長期体外循環による呼吸補助を行うことにより、生体肺を休ませ、肺の回復を待つ治療法である。

医療技術名	院外心肺停止患者の蘇生後脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	12人

当該医療技術の概要
院外心肺停止で搬送される患者さんが蘇生に成功した際、ただちに体温を34度まで下げて24時間維持するもの。低酸素に暴露された脳のダメージを最小限にできることが期待され、心肺蘇生の国際的ガイドラインでもそのエビデンスが支持されている。

医療技術名	腹部コンパートメント症候群に対するOpen Abdominal Management	取扱患者数	15人

当該医療技術の概要
緊急開腹手術を要する患者さんのうち、一期的な閉腹により術後管理に困難が予想される症例に対してはOpen Abdominal Managementによる段階的閉腹を心がけている。1週間以上の集中治療管理を要するためにきめの細かい管理を要する。

医療技術名	一酸化炭素中毒患者に対する高圧酸素療法	取扱患者数	8人

当該医療技術の概要
第2種高圧酸素治療装置を用いて、一酸化炭素中毒発症後24時間で3回以内の治療を行うことで、遅発性脳症の発症抑制が期待される。

医療技術名	インプラントを用いた顎義歯治療	取扱患者数	12人

当該医療技術の概要
顎骨部、顔面部に大幅な実質欠損を有する顎欠損症例において、インプラントを併用することで義歯の維持、安定の向上を図る。

医療技術名	前立腺癌に対するI-125密封小線源治療	取扱患者数	22人

当該医療技術の概要

低リスク前立腺癌に対して、I-125密封小線源を前立腺局所に挿入、留置する治療を行っている。手術に比べ機能温存に優れ、有害事象が軽度に抑えられる。

医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	3人

当該医療技術の概要

脳に存在する機能野（言語野、運動野）を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。
脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。

医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	60人

当該医療技術の概要

食道癌手術の合併症のひとつに反回神経麻痺があり、術後の嗄声、誤嚥の原因となる胸腔鏡下食道切除術において術中リアルタイムに反回神経を刺激装置NIMで同定し、確実な温存と麻痺を回避するもの。

医療技術名	高度肝障害患者に対する完全腹腔鏡下肝切除	取扱患者数	9人

当該医療技術の概要

高度肝障害患者及び肝硬変患者の開腹手術は術後の腹水増加・コントロールに難渋するケースがしばしばある。完全腹腔鏡下肝切除は腹腔内圧を解放せずに手術が可能なため、術後早期回復に有用である。

医療技術名	自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法	取扱患者数	5人

当該医療技術の概要

自己免疫性肺胞蛋白症の進行予防および病態改善を目的としてGM-CSF吸入療法を実施している。吸入用GM-CSF製剤は海外より入手して行っている。

医療技術名	難治てんかんに対する集学的外科治療	取扱患者数	49人

当該医療技術の概要

乳幼児から成人までてんかん科医師、小児科医、高次脳機能障害科医師、放射線診断科医、精神科医、生理検査技師、臨床心理士と協働で、外科治療の適応判断と治療を行い、長期予後とQOLの改善を図る。東北地方においては本学のみが提供している医療である。乳幼児については、遠隔医療システムによる連携で北海道地域の医師と協働で治療を提供している。

医療技術名	血液吸着（エンドトキシン以外）	取扱患者数	19人

当該医療技術の概要

血液を吸着カラムに通し、病気の活動性の元となる液性成分（エンドトキシンやビリルビン）を除去する。これは主に急性期の生命の危機がある状況を改善すべく行われる。また、病因が必ずしもはっきりしていない慢性かつ難治性の疾患において、疾患活動性を発揮するリンパ球や好中球、あるいは自己抗体を除去するカラムで血液を浄化する治療法である。

医療技術名	腹水濾過濃縮再静注	取扱患者数	32人

当該医療技術の概要

がん性腹膜炎、肝硬変、など腹水が大量に貯留し、難治性となる疾患は多岐にわたる。腹水にはがんや肝硬変に関連する細胞成分や液性因子が含まれている。この腹水を数リットル（3－7L程度）体外に抜き出し、無菌的に特殊なフィルターを通して濾過濃縮して可及的に生体に有害なサイトカインや細胞成分を除き、経静脈投与可能な質を担保し、元の患者に点滴再静注する治療法である。患者の腹満感の軽減、血漿製剤ではない自己の蛋白を再利用できる点で優れているが、濃縮工程や安全管理に高度な技術を要する治療である。

医療技術名	正常眼圧緑内障に対する鍼治療	取扱患者数	10人

当該医療技術の概要

正常眼圧緑内障の治療は眼圧の低下や視神経保護、眼底血流低下の改善などが行われるが、従来の点眼薬や内服薬治療を行っていても視野障害が悪化する症例もあり、鍼治療が眼底血流改善の効果を有することが示されてきており、通常治療への追加で効果を期待する治療法である。

医療技術名	肝門部領域胆管癌手術	取扱患者数	19人

当該医療技術の概要

肝門部領域に発生した癌の切除には，局所の解剖の熟知や肝機能，残肝容積などから最適な術式を選択する必要がある．また，肝動脈，門脈などの再建が必要となる事も多く，術前，術中，術後ともに、ハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とするもの。

医療技術名	切除境界膵癌に対する手術	取扱患者数	7人

当該医療技術の概要

膵臓癌は局所進行の程度により門脈や動脈に浸潤し，切除の可能性が五分五分となるような，切除境界例が多く存在する．このような症例に対して切除が可能かどうかは術前の念入な画像診断と，術中の局所の所見により判断され，安全に，かつ根治的に切除を行い，術後合併症の低減のためにはハイレベルな医療技術と資源(人的・物的)の投入を必要とする。

医療技術名	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	23人

当該医療技術の概要

食道アカラシアは、下部食道括約筋の弛緩不全が原因であるが、この部分の筋層を切開することが治療となる。POEMは経口軟性内視鏡で、食道粘膜下層に入り、筋層切開を行う手技で、体表に創がつかず、回復も早い。高度な手技であるが、有用性は高く、今後の標準治療になるものと思われる。

医療技術名	ガスクロマトグラフによる口内気体分析	取扱患者数	8人

当該医療技術の概要

センサタイプガスクロマトグラフ、FPD方式ガスクロマトグラフをそれぞれ使用することで、高度な口臭症の診断・治療を行う。

医療技術名	内視鏡を用いた口内アプローチによる低侵襲手術	取扱患者数	38人

当該医療技術の概要

顎口腔外科の疾患の中には、病変の位置によって皮膚切開を併用する必要があるが、顔面神経障害や顔面醜形の問題がある。特に異所性埋伏歯、良性腫瘍、唾石症、外傷において、それらの問題を改善するため、内視鏡を併用した口内アプローチを用いることにより、手術の低侵襲化が期待される治療である。

医療技術名	腹腔鏡補助下膵頭十二指腸切除術	取扱患者数	2人

当該医療技術の概要

腹部手術の中で最も侵襲の高い手術の一つである膵頭十二指腸切除を腹腔鏡補助下に行うことで手術侵襲を軽減し，術後早期回復が期待できる治療である.

医療技術名	腹腔鏡下袖状胃切除術＋十二指腸空腸バイパス術	取扱患者数	2人

当該医療技術の概要

病的肥満症に対して我が国では腹腔鏡下袖状胃切除術が保険承認されているが，我々の研究では十二指腸空腸をバイパスし食事が通らなくすることで肥満のみならず糖尿病の改善効果があることが示されており，糖尿病を合併した病的肥満患者に対する体重減少＋糖尿病改善効果を認める有望な治療法である.

医療技術名	High Resolution Manometry (HMR) による食道運動機能評価	取扱患者数	68人

当該医療技術の概要

多チャンネル圧センサーカテーテルを経鼻的に食道内に挿入留置し、全食道の詳細な運動パターンを計測し、内視鏡ならびに食道バリウム透視では検出されない食道運動異常を検出する検査である。食道アカラシア、食道運動機能異常、ジャックハンマー食道の診断および治療評価を行う。

医療技術名	慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するカテーテル治療	取扱患者数	151人

当該医療技術の概要

慢性血栓塞栓性肺高血圧症は予後不良疾患であるが、カテーテルによる肺動脈形成術を当院では行っている。また、良好な成績を収めている。

医療技術名	大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植え込み術	取扱患者数	55人

当該医療技術の概要

循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、コメディカルスタッフによるハートチームを結成し、高齢者を中心とした重症大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁植え込み術を施行しており、良好な成績を収めている。

医療技術名	3次元マッピングシステムを用いたカテーテルアブレーション	取扱患者数	200人

当該医療技術の概要

心房細動などの詳細な解剖の把握が必要となる不整脈治療において、CARTO, Navxなどの3次元マッピングシステムを用いて良好な成績を収めている。

医療技術名	胃癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	1人

当該医療技術の概要

胃癌組織（パラフィンブロック）を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し0, 1+, 2+, 3+の4段階に分類。このうち0, 1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは30%強で、残りの70%程度はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、2+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の胃癌診療ガイドラインなどで推奨されている手法である。

医療技術名	がんクリニカルシーケンス検査	取扱患者数	235人

当該医療技術の概要

次世代シーケンサーを用いてがん関連遺伝子の遺伝子変異および融合遺伝子検査を行い、治療標的となる遺伝子異常の同定とその遺伝子異常に基づいた最適な治療薬の提案を行う。

医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 2 低位前方切除術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 直腸癌と診断され、他の臓器に浸潤がなくがんの進行度(ステージ)が0からIIIで、手術により病巣を完全に切除(根治手術)可能と判断された直腸癌治療のため、遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。この装置(ロボット)を用いて、お腹の中の構造を立体的で高解像度な画像で把握して、操作ボックスの手術者の動きを術野において器具の微細な動きとして忠実に再現し、手術を行う。直腸が位置する狭い骨盤の中には性、排尿機能をつかさどる多数の神経が存在し、癌の根治性を担保しながら神経を温存することによって機能温存を図る可能が高くなる手術が可能と期待されています。			
医療技術名	生体部分肝移植における顕微鏡下動脈後壁支持吻合術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 顕微鏡下動脈後壁支持吻合術は動脈にねじれの力をかけずに再建できる有用な手法である。これを生体部分肝移植における微小動脈再建に導入することで、動脈合併症軽減(閉塞、解離の軽減)に寄与すると考えられる。			
医療技術名	生体部分肝移植ドナー手術における小開腹ドナー肝切除法	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 生体部分肝移植におけるドナーの体力的負担は非常に大きい。従来ドナー手術では安全性確保のため逆T字切開による大開腹が基本であったが、腹直筋が横断されるため術後筋力低下が指摘されていた。これは、ドナーの負担軽減と筋力低下阻止を目的として上腹部正中切開(小開腹+場合によっては腹腔鏡補助)のみでのドナー手術を施行する新しい手術法である			
医療技術名	植込型補助人工心臓治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 深刻なドナー不足のため現在心臓移植待機期間は3年を超えている。内科的治療抵抗性の重症心不全で、心臓移植が唯一の治療手段だったとしても、待機中に亡くなってしまう患者が多い。植込み型補助人工心臓は、心臓移植までの橋渡し治療として、2011年に保険償還が下り、当院でも患者数が増えている。患者は在宅治療が可能になりQOLが向上。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腎盂尿管狭窄による先天性あるいは後天性の水腎症に対する手術である。従来は開腹あるは腹腔鏡下での手術を行っていたが、ロボット支援手術による繊細な形成術と吻合によって良好な成績を収めている。			
医療技術名	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 精巣腫瘍などによる後腹膜リンパ節郭清は開腹手術が標準術式であるが、郭清するリンパ節の範囲がある程度限局している症例では腹腔鏡下での郭清が可能であり、開腹術と比較して傷の大きさや術後の回復までの期間短縮などの点で大きなメリットがある。			
医療技術名	腸管不全関連肝機能障害に対するω3系脂肪製剤投与	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肝機能障害を来した腸管不全症例に対する治療法の1つとして、ω3系脂肪製剤の投与が著明な改善効果を有すると報告されている。しかし、現在、国内で認可されている静脈投与可能な脂肪製剤はω6系脂肪製剤のみである。入手可能なω3系脂肪製剤はOMEGAVENだが、これは国内では製造・販売・承認されておらず、保険診療内では行えない治療で、倫理委員会の許可を得て行っている治療法である。			
医療技術名	婦人科癌に対する組織内照射	取扱患者数	43人
当該医療技術の概要 婦人科癌において、腫瘍の大きさや形状によって、通常の腔内照射のみでは腫瘍に線量が十分カバーされない事もあるので、組織内照射を併用することで、抗腫瘍効果ならびに副作用軽減がより期待できる治療である。			
医療技術名	顎顔面領域でのCAD/CAMサージカルガイドによるコンピューター支援手術	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 歯科顎口腔外科、形成外科、耳鼻科、歯科技術部門による連携により、顎骨切除時の三次元的な顎位復元を目的としたガイド作製や、矯正歯科と歯科顎口腔外科で治療にあたる顎矯正手術時の上顎骨位置決めスプリントの作製において、コンピューターシミュレーションを応用して術後予測を検討し、そのシミュレーションの確実な施行のためのサージカルガイドをCAD/CAMにて作製し、手術支援を行う。この支援手術により、手術時間の短縮、咬合機能、接触嚥下機能、審美的満足度の向上がはかられる。			
医療技術名	高強度硬質レジンブリッジ治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 コンポジットレジンブリッジをグラスファイバーで補強することで、メタルフリーのブリッジを臼歯部に適応する治療であり、良好な成績を収めている。			

医療技術名	ロボット支援下食道切除術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
高度な技術が求められる胸腔鏡下食道癌手術において、より繊細な操作のできるロボットを利用することにより反回神経麻痺の発生を抑制できるなどの効果が認められている。高度な技術と知識を要する手術である。			

医療技術名	食道癌放射線治療後の局所再発に対する光線力学療法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
食道癌放射線治療後の局所再発に対して内視鏡下に行う治療方法。光感受性物質であるレザフィリンとレーザーを組み合わせ腫瘍細胞を壊死させる。Salvage食道切除術と比べ非侵襲的であり、かつ局所制御に優れている。			

医療技術名	胸椎後縦靭帯骨化症に対する3Dナビゲーションを用いた骨化巣前方浮上術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
下肢に重篤な麻痺を生じる病態である胸椎後縦靭帯骨化症に対しては、その解剖学的な位置関係から前方の骨化巣を浮上させる極めて高度かつ難易度の高い手技が要求される。当院では3Dナビゲーションを用いた方法を導入している。			

医療技術名	脳磁図検査によるてんかん焦点の局在診断と機能野の同定	取扱患者数	102人
当該医療技術の概要			
ニューロンが活動する際に生じる磁場活動から活動源の皮質を評価する検査法である。優れた空間分解能を特徴とし、てんかん診断のみならずてんかん外科治療の術前診断にも重要な役割を果たす。一方で、専門性の高さなどのため、本邦で実施できる施設は東北大学を含め極めて限られている。			

医療技術名	ポリグリコール酸シートおよび自己フィブリン糊を用いた口腔外科手術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
顎口腔領域の手術における切除創面の被覆および局所止血を目的として、ポリグリコール酸シート(PGAシート)と共に自己フィブリン糊を用いる方法である。自己血漿から自己フィブリン糊調製装置(クリオシールシステム)により自己クリオプレシピテート(自己クリオ)と自己トロンビンを作製して用いる。創傷被覆・止血・接着に加え、組織修復促進や局所感染予防の効果も期待される。			

医療技術名	経皮的心房中隔欠損症閉鎖術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
二次孔型心房中隔欠損症に対するカテーテル閉鎖術を、2019年4月より当科で行っている。当手技は、厳密な施設認定、術者認定を要するものであり、東北地方全体でもその認可施設は多くない。良好な成績を収めている。			

医療技術名	経皮的卵円孔開存症閉鎖術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
奇異性脳塞栓症の原因となる卵円孔開存症に対するカテーテル閉鎖術を、2020年1月より当科で行っている。当手技は、厳密な施設認定、術者認定を要するものであり、東北地方全体でもその認可施設は多くない。良好な成績を収めている。			

医療技術名	ロボット支援下肺葉切除	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
現在肺癌に対して、高度技術として行われている手技は、完全胸腔鏡下肺葉切除であるが、より緻密な操作が可能であるロボット支援下肺葉切除は、胸腔鏡下手術のみではアプローチ困難な手技を安全に行うことが可能であり、今後さらに症例は増えていくものと思われる。			

医療技術名	CAR-T細胞療法に用いる患者の末梢単核球の採取・調製・保管	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
難治性悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病への治療として、患者Tリンパ球をアフェレーシスにより十分量採取し、遺伝子改変したキメラ抗原受容体を発現させ、患者体内に戻すんがCAR-T療法である。再生医療等製品の原材料に当たるため、品質管理体制に関して監査を受け、認可された施設のみが実施できる。			

医療技術名	重症呼吸不全患者に対するVV-ECMO	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
VV-ECMOとは大腿静脈から遠心ポンプにより脱血した静脈血を膜型人工肺を用いて酸素化し、中心静脈に返す補助循環である。肺移植待機患者やCOVID-19などによる重症呼吸不全は長期の肺障害を来す。移植待機期間の酸素化、換気機能をVV-ECMOにより臓器補助を行うことで、移植へつなげたり、過剰な呼吸器設定を避け、lung restによる肺保護を行い、肺障害の改善までの期間を乗り切ることができる。数カ月にわたる管理が必要であり、呼吸、循環、凝固、デバイス管理等、集学的な管理を必要とする。			

医療技術名	重症呼吸不全患者に対する一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 一酸化窒素の吸入は、気体であるため、含気と換気のある部分に入り込み、そこの血管を拡張させ、血流量が増えると考えられている。含気のある部分での酸素取り込みが増加し、動脈血酸素化が改善する。選択的肺動脈圧降下作用、右心後負荷の低下、右心機能の改善、心拍出量の増加、動脈血酸素化の改善が期待できる。現在、小児肺高血圧を伴う低酸素性呼吸不全症例、心臓外科術後肺高血圧症例のみ適応があるが、心臓移植、肺移植の周術期管理や、COVID-19などによる重症呼吸不全における肺高血圧症の改善、酸素化の改善を期待でき、一部VV-ECMO回避することできる。			
医療技術名	画像・髄液バイオマーカーを通じたアルツハイマー病の診断	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 脳内の病理変化を反映する画像バイオマーカーや髄液バイオマーカーの組み合わせを通じて、早期の段階でアルツハイマー病を診断する技術。従来から用いられている認知機能検査・臨床症候・形態画像による診断よりも早期の段階の変化であるアミロイド・タウ・蓄積と神経細胞死のマーカーとの組み合わせで、認知機能低下や臨床症候が明らかとなる前の段階で判定する。			
医療技術名	左側乳がんに対する深吸気息止めVMATによる術後放射線治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 左乳がんに対する乳房温存術後照射は一般的な治療方法であるが、従来の放射線治療技術では自由呼吸下に3次元原体照射を行うが、当施設に導入しているSyncTraxを用いて深吸気息止め下で回転型強度変調放射線治療（VMAT)を行うことで心臓や肺への被曝線量退席を軽減し、長期的な放射線障害の軽減を行っている。			
医療技術名	エピテーゼによる顔面部欠損の補綴	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 顔面形成術では回復困難な顔面部に生じた欠損に対して、エピテーゼを適応することによって欠損部の修復を行い、審美・機能回復を図る。			
医療技術名	鏡視下食道癌手術における神経刺激装置を用いた術中リアルタイム反回神経の同定と温存	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 右側大動脈弓を伴う弓部大動脈瘤治療の場合には、気管切開を回避するために、左反回神経を温存することが非常に重要になっている。術中に反回神経の位置を確認し、温存することで、患者のQOL改善に貢献できている。			
医療技術名	心臓移植治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 重症心不全の患者さんに対し、脳死ドナーからの心臓移植（認定施設/東北地方唯一）を施行している。			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	ベーチェット病	159
2	筋萎縮性側索硬化症	130	57	特発性拡張型心筋症	172
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	28
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	30	60	再生不良性貧血	41
6	パーキンソン病	133	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	5	63	特発性血小板減少性紫斑病	63
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	4	65	原発性免疫不全症候群	23
11	重症筋無力症	66	66	IgA 腎症	62
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	48
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	274	68	黄色靱帯骨化症	13
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	30	69	後縦靱帯骨化症	77
15	封入体筋炎	12	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	66
17	多系統萎縮症	40	72	下垂体性ADH分泌異常症	22
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	72	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	25	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	19	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	38	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	21
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	177
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	10	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	18	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	237
30	遠位型ミオパチー	9	85	特発性間質性肺炎	73
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	109
32	自己貪食空胞性ミオパチー	1	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	125
34	神経線維腫症	40	89	リンパ脈管筋腫症	38
35	天疱瘡	25	90	網膜色素変性症	57
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	6
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性肝硬変	74
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	14
40	高安動脈炎	95	95	自己免疫性肝炎	8
41	巨細胞性動脈炎	8	96	クローン病	384
42	結節性多発動脈炎	38	97	潰瘍性大腸炎	382
43	顕微鏡的多発血管炎	29	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	24	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	8
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	35	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞僅少症	3
47	バージャー病	10	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	12	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	536	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	239	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	92	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	87	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	2
53	シェーグレン症候群	63	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	28	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	9	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	5	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167	マルファン症候群	7
113	筋ジストロフィー	30	168	エーラス・ダンロス症候群	6
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	169	メンケス病	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	0	171	ウィルソン病	6
117	脊髄空洞症	4	172	低ホスファターゼ症	0
118	脊髄髄膜瘤	0	173	VATER症候群	0
119	アイザックス症候群	2	174	那須・ハコラ病	0
120	遺伝性ジストニア	0	175	ウィーバー症候群	0
121	神経フェリチン症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名（有馬症候群）	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	180	ATR－X症候群	0
126	ペリー症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	9	182	アペール症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリス症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	1
135	アイカルディ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	1	191	ウェルナー症候群	2
137	限局性皮質異形成	0	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	193	プラダー・ウィリ症候群	2
139	先天性大脳白質形成不全症	1	194	ソトス症候群	1
140	ドラベ症候群	2	195	ヌーナン症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	196	ヤング・シンプソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	2
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスムッセン脳炎	1	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	1
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	208	修正大血管転位症	6
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	209	完全大血管転位症	10
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	7
156	レット症候群	0	211	左心低形成症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	212	三尖弁閉鎖症	2
158	結節性硬化症	15	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	9
160	先天性魚鱗癬	0	215	ファロー四徴症	17
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	216	両大血管右室起始症	8
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	21	217	エプスタイン病	1
163	特発性後天性全身性無汗症	12	218	アルポート症候群	2
164	眼皮膚白皮症	0	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	220	急速進行性糸球体腎炎	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	271	強直性脊椎炎	25
222	一次性ネフローゼ症候群	40	272	進行性骨化性線維異形成症	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
224	紫斑病性腎炎	2	274	骨形成不全症	3
225	先天性腎性尿崩症	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	3	276	軟骨無形成症	1
227	オスラー病	4	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	3
228	閉塞性細気管支炎	1	278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	11	279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	2
230	肺胞低換気症候群	8	280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	5
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	6
232	カーニー複合	2	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
233	ウォルフラム症候群	2	283	後天性赤芽球癆	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	1
235	副甲状腺機能低下症	1	285	ファンコニ貧血	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	287	エプスタイン症候群	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	288	自己免疫性出血病XIII	4
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
240	フェニルケトン尿症	10	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
241	高チロシン血症1型	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	1
242	高チロシン血症2型	0	292	総排泄腔外反症	1
243	高チロシン血症3型	0	293	総排泄腔遺残	1
244	メープルシロップ尿症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
245	プロピオン酸血症	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
246	メチルマロン酸血症	2	296	胆道閉鎖症	28
247	イソ吉草酸血症	0	297	アラジール症候群	3
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	298	遺伝性膵炎	4
249	グルタル酸血症1型	0	299	嚢胞性線維症	1
250	グルタル酸血症2型	1	300	IgG4関連疾患	62
251	尿素サイクル異常症	3	301	黄斑ジストロフィー	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	303	アッシャー症候群	1
254	ポルフィリン症	1	304	若年発症型両側性感音難聴	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
256	筋型糖原病	2	306	好酸球性副鼻腔炎	9
257	肝型糖原病	5	307	カナバン病	0
258	ガラクトース－1－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	308	進行性白質脳症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
260	シトステロール血症	0	310	先天異常症候群	0
261	タンジール病	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
263	脳腱黄色腫症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
264	無βリポタンパク血症	1	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
265	脂肪萎縮症	1	315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0
266	家族性地中海熱	5	316	カルニチン回路異常症	1
267	高IgD症候群	0	317	三頭酵素欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	318	シトリン欠損症	2
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　　患　　名	患者数		疾　　患　　名	患者数
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0			
322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0			
323	芳香族L―アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0			
324	メチルグルタコン酸尿症	0			
325	遺伝性自己炎症疾患	1			
326	大理石骨病	0			
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	2			
328	前眼部形成異常	0			
329	無虹彩症	3			
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名（先天性気管狭窄症）	1			
331	特発性多中心性キャッスルマン病	9			
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0			
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0			

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療料）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・後発医薬品使用体制加算２
・歯科外来診療環境体制加算２	・病棟薬剤業務実施加算１、２
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算２
・特定機能病院入院基本料（一般病棟７対１）（精神病棟１３対１）	・入退院支援加算１、３
・救急医療管理加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・超急性期脳卒中加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算１	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算１（３０対１）	・排尿自立支援加算
・急性期看護補助体制加算（２５対１　看護補助者５割以上）	・地域医療体制確保加算
・看護職員夜間配置加算１（１２対１）	・救命救急入院料３
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料１
・重症者等療養環境特別加算	・ハイケアユニット入院医療管理料１
・無菌治療室管理加算１、２	・総合周産期特定集中治療室管理料　（母体・胎児集中治療室管理料）（新生児集中治療室管理料）
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科応急入院施設管理加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・精神病棟入院時医学管理加算	・小児入院医療管理料２
・精神科身体合併症管理加算	・緩和ケア病棟入院料１
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算１	・
・感染防止対策加算１	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・ウイルス疾患指導料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続グルコース測定
・糖尿病合併症管理料	
・がん性疼痛緩和指導管理料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ	・遺伝学的検査
・外来緩和ケア管理料	・有床義歯咀嚼機能検査１のイ
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）（造血幹細胞移植後）	・有床義歯咀嚼機能検査１のロ及び咀嚼能力検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査２のイ
・小児運動器疾患指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査２のロ及び咬合圧検査
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・精密触覚機能検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・睡眠時歯科筋電図検査
・腎代替療法指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・外来放射線照射診療料	・ＢＲＣＡ１／２遺伝子検査
・ニコチン依存症管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・療養・就労両立支援指導料の注３に掲げる相談支援加算	・先天性代謝異常症検査
・がん治療連携計画策定料	・抗ＨＬＡ抗体（スクリーニング検査）及び抗ＨＬＡ抗体（抗体特異性同定検査）
・外来排尿自立指導料	・ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
・肝炎インターフェロン治療計画料	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・ハイリスク妊産婦連携指導料２	・国際標準検査管理加算
・薬剤管理指導料	・遺伝カウンセリング加算
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・医療機器安全管理料１、２	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・歯科疾患在宅療養管理料の注４に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料	・胎児心エコー法
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注２に掲げる遠隔モニタリング加算	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・人工膵臓検査、人工膵臓療法

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・長期継続頭蓋内脳波検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・がん患者リハビリテーション料
・黄斑局所網膜電図	・歯科口腔リハビリテーション料２
・全視野精密網膜電図	・児童思春期精神科専門管理加算
・ロービジョン検査判断料	・認知療法・認知行動療法１
・内服・点滴誘発試験	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・経気管支凍結生検法	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・画像診断管理加算１、２	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
・歯科画像診断管理加算１、２	・医療保護入院等診療料
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・医科点数表第２章第９部処置の通則の５に掲げる処置の休日加算１、時間外加算１ 、深夜加算１
・ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影	・口腔粘膜処置
・冠動脈ＣＴ撮影加算	・口腔粘膜血管腫凝固術
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・レーザー機器加算
・外傷全身ＣＴ加算	・硬膜外自家血注入
・心臓ＭＲＩ撮影加算	・エタノールの局所注入（甲状腺）（副甲状腺）
・乳房ＭＲＩ撮影加算	・人工腎臓
・小児鎮静下ＭＲＩ撮影加算	・導入期加算２及び腎代替療法実績加算
・頭部ＭＲＩ撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・全身ＭＲＩ撮影加算	・手術用顕微鏡加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・外来化学療法加算１	・ＣＡＤ／ＣＡＭ冠
・連携充実加算	・手術時歯根面レーザー応用加算
・無菌製剤処理料	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算１及び２
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・センチネルリンパ節加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・皮膚移植術（死体）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（ＭＲＩによるもの）
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・乳がんセンチネルリンパ節加算１及びセンチネルリンパ節生検（併用）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・乳がんセンチネルリンパ節加算２及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除及び肺葉切除又は１肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便過活動膀胱）	
・角膜移植術（内皮移植加算）	・同種死体肺移植術
・羊膜移植術	・生体部分肺移植術
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	
・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）	
・網膜再建術	
・人工中耳植込術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・内視鏡下筋層切開術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・胸腔鏡下弁形成術
・喉頭形成手術（甲状軟骨固定用器具を用いたもの）	・経カテーテル大動脈弁置換術
・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）	・胸腔鏡下弁置換術
・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）	・不整脈手術 左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）
	・磁気ナビゲーション加算
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）	・体外衝撃波胆石破砕術
・両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）	・腹腔鏡下肝切除術
	・生体部分肝移植術
・植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）	・同種死体肝移植術
	・体外衝撃波膵石破砕術
・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）	・生体部分小腸移植術
	・同種死体小腸移植術
・大動脈バルーンパンピング法（ＩＡＢＰ法）	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	・腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・補助人工心臓	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・植込型補助人工心臓（非拍動流型）	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・同種心移植術	・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・同種心肺移植術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）（傍大動脈）	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・生体腎移植術
	・膀胱水圧拡張術
	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	・人工尿道括約筋植込・置換術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	・腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合）	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）（子宮頸がんに限る。）	・画像誘導密封小線源治療加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・医科点数表第２章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算１ 、時間外加算１ 、深夜加算１	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・医科点数表第２章第10 部手術の通則の19 に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診 ・病理診断管理加算２
・輸血管理料Ⅰ	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・口腔病理診断管理加算２
・コーディネート体制充実加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・自己生体組織接着剤作成術	・歯科矯正診断料
・自己クリオプレシピテート作製術（用手法） ・同種クリオプレシピテート作製術	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・入院時食事療養（Ⅰ）
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注３	・
・麻酔管理料（Ⅰ）（Ⅱ）	・
・歯科麻酔管理料	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・１回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療（ＩＭＲＴ）	・
・画像誘導放射線治療（ＩＧＲＴ）	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的ＰＣＲ法による骨髄微小残存病変（ＭＲＤ）量の測定.	・
	・
・金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	・
	・
・マルチプレックス遺伝子パネル検査　進行再発固形がん（切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。）	・
	・
	・
・泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1　特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.)臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	280回
剖検の状況	剖検症例数　27 例　／　剖検率　5.1　%

(注)　「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
呼吸・循環障害を合併した高度肥満症への包括的リハビリテーションの有効性の確立	高橋珠緒	内部障害リハビリテーション科	260,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
語性失読の障害機序の解明と、それに基づいた訓練手技の開発に関する研究	遠藤佳子	リハビリテーション部門	650,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
認知行動療法が心身症患者の自己評価機能に及ぼす効果の脳画像による検証	佐藤康弘	心療内科	780,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
原因不明の消化器症状と食思不振患者における脳—消化管神経機能の類似性の検討	庄司知隆	心療内科	910,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
上皮系細胞から上皮間葉転換(EMT)誘導を応用した歯胚形成	齋藤幹	小児歯科	3,120,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
医ー獣医連携による未来型EX VIVO医療技術トレーニングシステムの構築	野田雅史	呼吸器外科	3,380,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
浸潤病変の局所制御と術後機能温存を両立する微弱衝撃波パルスジェットメスの開発	中川敦寛	脳神経外科	13,390,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
がん患者家族における複雑性悲嘆のリスクアセスメント：死別前後の比較検討	佐竹宣明	緩和医療部	1,560,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
長期コホート調査によるビッグデータに基づく稀な難治性リンパ腫の臨床病理学的研究	福原規子	血液・免疫科	1,170,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来神経オルガノイドを用いた筋萎縮性側索硬化症の軸索病態の解析	鈴木直輝	神経内科	1,170,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
乳癌術中迅速断端診断のためのMRI拡散強調画像撮像技術の開発	森菜緒子	放射線診断科	650,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
骨形成不全症の分子基盤の解明とWntシグナルとOASISの活性化による新規治療	菅野潤子	小児科	1,300,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計12件

肺胞上皮細胞における転写因子LHX9の機能とCOPD病態における役割解明	山田充啓	呼吸器内科	1,040,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
新鮮気道分泌液の質的変化に起因する粘膜防御能脆弱化メカニズムの解明とその制御	玉田勉	呼吸器内科	1,170,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
喘息気道における上皮破綻のメカニズムの解明 −ミトコンドリア機能から迫る−	市川朋宏	呼吸器内科	1,170,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
腸腎連関：腸内細菌叢が慢性腎臓病に与える正負両因子の解明	三島英換	腎・高血圧・内分泌科	1,300,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
Truncated IL−36β を用いた悪性黒色腫治療	沼崎宗夫	加齢・老年病科	260,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性皮膚疾患におけるヒアルロン酸バイオロジーの解析と創薬基盤強化の新機軸の探求	水芦政人	皮膚科	1,040,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
後天性鉄芽球性貧血の分子疫学及び病態の解明	藤原亨	血液・免疫科	1,430,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
POEMを応用した体内臓器への新しい低侵襲到達ルートの開発	佐藤千晃	移植・再建・内視鏡外科	910,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
内因性抗菌タンパクの潰瘍性大腸炎・回腸嚢炎への病態関与およびバイオマーカーの検討	渡辺和宏	胃腸外科	1,040,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の多様性を制御する「マイクロエクソン」の同定	唐澤秀明	胃腸外科	910,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
血液メタボロミクスによる胆嚢癌予後予測因子解析	中川圭	肝・胆・膵外科	1,430,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
癌微小環境におけるWnt関連蛋白LRRFIP1の発現調節と浸潤転移促進機構の解明	大塚英郎	肝・胆・膵外科	910,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
腹部大動脈瘤拡大におけるHelicobacter Cinaedi菌の関与の解明	菅原宏文	移植・再建・内視鏡外科	1,560,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会
Type 1 regulatory T細胞による肺移植後の新規免疫抑制療法	大石久	呼吸器外科	1,950,000	㊋ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

敗血症における内皮微小粒子の動態とその病態生理学的作用の解明	齋藤浩二	集中治療部	910,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
Muse細胞を用いたてんかん原性治癒手法の確立	大沢伸一郎	脳神経外科	520,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
Inflammasomeの評価による筋痛の病態解明	綿貫宗則	整形外科	780,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
低弾性チタン合金インプラントによる応力遮蔽抑制効果と骨癒合促進効果の検討	森優	整形外科	650,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
緑内障病態におけるNrf2を介した硫化水素や補酵素の神経保護作用の検討	檜森紀子	眼科	1,170,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
腸管・口腔・結膜嚢細菌叢解析による眼疾患診断法の開発	横倉俊二	眼科	1,170,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
ケロイド発生過程における脂肪細胞と線維芽細胞との関連性の解明	長尾宗朝	形成外科	910,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
モーダル解析によるオッセオインテグレーションとスクリュー連結状態の検査機器の開発	宮下牧子	咬合回復科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
人工知能による機械学習を基盤とした支台歯形成技能評価自働化システムの開発	奥山弥生	咬合修復科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
形状記憶ゲルとバルーン技術を利用した3次元口腔・鼻咽腔印象採得方法の開発	小山重人	顎顔面口腔再建治療部	1,040,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
骨格筋fMRIを用いた舌内部における筋機能分布の3次元解析	山口哲史	口腔機能回復科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症の骨代謝異常の解明に向けたRunx2の機械的刺激応答機構の解析	福永智広	矯正歯科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
周術期乳癌患者への予知的口腔支援システムの構築	丹田奈緒子	口腔支持療法科	650,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
医療従事者や介助者に資する多機能型水晶体被曝防護機器の開発	常陸真	医・保健学専攻放射線検査学分野（放射線部）	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

病理イメージングを用いたタウオパチーにおけるタウ-グリオーシス相互作用の解明	原田愛子（石木愛子）	加齢・老年病科	1,430,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
PTSD症状を有する統合失調症に対する認知処理療法の実施可能性についての検討	砂川恵美	精神科	1,560,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
T1ρによる海馬てんかん原性病変検出法の開発	佐藤志帆	放射線診断科	130,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
拡張不全による心不全に対する低出力パルス波超音波治療の有効性を評価する基礎的検討	進藤智彦	循環器内科	650,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
解糖系酵素ピルビン酸キナーゼM2による炎症性疾患の制御	白井剛志	血液・免疫科	1,300,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
オルガノイド培養に基づいた胃癌個別化治療の確立	山村明寛	肝・胆・膵外科	1,430,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的解析による膵癌抗癌剤感受性予測方法の確立～プレシジョン医療の実現を目指して	有明恭平	肝・胆・膵外科	1,300,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
筋層非浸潤性膀胱癌の進展リスク予測と進展予防への糖鎖バイオロジカルアプローチ	嶋田修一	泌尿器科	1,430,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
酸化ストレス内耳障害の病態と予防法解明のためのNrf2の局在および動態の解析	本藏陽平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
「window」に注目した上半規管裂隙症候群の病態・治療に関わる基礎的検討	池田怜吉	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,040,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
CAD/CAM冠合着後の早期負荷が冠のひずみ及び脱離に及ぼす影響	勝田悠介	咬合修復科	1,300,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
パラジウムに反応する特異的T細胞受容体の遺伝子導入細胞株や遺伝子導入マウスの作製	武田裕利	歯科顎口腔外科	910,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
鎖骨頭蓋異形成症における易感染性と歯の移動遅延解明にむけた免疫細胞の解析	坂東加南	矯正歯科	1,430,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会
マンモグラフィ検診の石灰化に着目した検診精度の底上げと新規マネジメントの基盤構築	佐藤章子	乳腺・内分泌外科	1,170,000	㊜ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

脳卒中片麻痺患者の屋外環境下における歩行障害のメカニズムの解明	関口雄介	リハビリテーション部門	1,040,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
末梢動脈疾患における間歇性跛行の発生機序解明と装具療法の開発	柿花隆昭	リハビリテーション部門	650,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
微小還流を用いた筋・筋膜性疼痛の組織液採取と組成解析	小野田祥人	整形外科	1,430,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
医師主導臨床研究でのePROシステムの開発と普及	高田宗典	臨床試験データセンター(臨床研究推進センター)	520,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
副鼻腔真菌症の原因真菌とその微生物叢解析による重篤化予防と疾患制御に関する研究	角田梨紗子	耳鼻咽喉・頭頚部外科	1,170,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
合併症が再現でき消化管の層構造をもつ、安全な内視鏡治療手技モデルを開発する	菅野武	総合地域医療教育支援部	2,080,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
MOG抗体関連脳脊髄炎における細胞性免疫動態に関する研究	三須建郎	脳神経内科	1,170,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
Radiomics技術を用いてCT画像のみから肺機能画像を作成する手法の開発	角谷倫之	放射線治療科	1,040,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
心臓MRIの画質改善・定量性向上を目的としたDLRを用いたデノイズ手法の開発	森田佳明	放射線診断科	650,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
ヒツジ胎仔を用いた人工子宮システムの開発: 成育限界児に対する効果と安全性の評価	渡邊真平	周産母子センター	1,430,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧を伴う慢性肺疾患肺における肺胞傷害・修復機転の検討と治療法の開発	大田千晴	小児科	1,300,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
小胞輸送機構を基軸としたB型肝炎ウイルス感染の病態解明と臨床応用に向けた研究	井上淳	消化器内科	1,300,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
ピロリ菌除菌後の炎症性発癌過程における口腔内雑菌による胃粘膜バリア傷害機序の解明	宇野要	消化器内科	1,430,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会
新たに同定されたチオプリン代謝酵素NUDT15のヒト血球内活性測定法の開発	志賀永嗣	消化器内科	1,040,000	㊗補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

Rhoキナーゼを介した心筋症の冠微小循環障害による心筋リモデリングの機序解明	建部俊介	循環器内科	1,430,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
臓器間ネットワークによる肝糖新生制御機構の解明	金子慶三	糖尿病代謝科	1,300,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
膵・消化管神経内分泌腫瘍におけるCNPY2の肝転移関連機序の解明	水間正道	肝・胆・膵外科	1,170,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
中枢性メラトニン/mTOR交叉経路に着目した高齢者くも膜下出血の病態制御への挑戦	山本修三	加齢・老年病科	1,040,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
Muse細胞を用いた脊髄損傷に対する新しい細胞移植治療法の開発	遠藤俊毅	脳神経外科	1,300,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
出生三世代コホートによる常位胎盤早期剥離の遺伝・環境要因の究明	倉片三千代	婦人科	1,820,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
がんサバイバーの生殖補助医療におけるMRTの応用を目指した研究	立花眞仁	産科	1,300,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
新規インドール化合物MA-5による難治不妊の克服を目指した研究	志賀尚美	婦人科	1,560,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
長鎖非翻訳RNAによる歯周炎発症制御機構の解明	鈴木茂樹	歯周病科	1,170,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚再生実現化へ向けた歯原性間葉細胞のHDAC3阻害による歯根長制御の試み	新部邦透	咬合修復科	1,430,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
福島第一原発事故後に形成された歯における内部被ばく量推定法の確立	高橋温	障害者歯科治療部	1,040,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
講義と実習を連動させた効果的な漢方教育プログラムの開発と教育効果の検証	高山真	総合地域医療教育支援部	520,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
早期患者安全教育は医学生の患者安全に対する意識を高めるか？	田畑雅央	医療安全推進室	1,430,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会
抗菌薬耐性菌の多施設全県サーベイランスと細菌学的解析による伝播リスク評価法の開発	徳田浩一	感染管理室	1,170,000	㊎ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

動画モーションキャプチャによる摂食嚥下機能の外部観察評価システムの構築	貴田岡亜希	障害者歯科治療部	1,430,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
骨ー脳連関に着目した高齢者コグニティブ・フレイルの神経基盤の解明	髙野由美	加齢・老年病科	910,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
腎癌における免疫チェックポイント阻害薬の個別化投与法の確立	髙崎新也	薬剤部	1,820,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
肺がん3Dオルガノイド長期継代株の樹立手法の確立と臨床応用	野津田泰嗣	呼吸器外科	1,560,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
満期産脳性麻痺の頭部MRI画像別遺伝的背景の同定	竹澤祐介	小児科	1,820,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
家族性ALSで見出した新規遺伝子変異の病原性解明パイプラインの確立	西山亜由美	神経内科	1,560,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
MR導電率マッピングによる乳房非造影撮像プロトコールの確立	前川由依	放射線診断科	520,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌に対する心筋線量軽減による心毒性低下を図った放射線治療の確立	梅澤玲	放射線治療科	1,040,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
尿酸塩結晶による冠動脈の局所炎症を標的とした先進的診断・治療法開発	西宮健介	循環器内科	1,300,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
EGFR遺伝子変異陽性肺癌に対する免疫療法抵抗性の機序解明と克服法の開発	宮内栄作	呼吸器内科	1,950,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
活性イオウ代謝経路に着目した喘息難治化メカニズムの解明と新規バイオマーカーの創出	田中里江	呼吸器内科	2,340,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
膵β細胞の異所性嗅覚受容体システムが個体糖代謝に及ぼす役割の解明	宗像佑一郎	糖尿病代謝科	1,950,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
心停止肝細胞移植におけるviability上昇のための新しい機械灌流法の開発	藤尾淳	乳腺・内分泌外科	1,170,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
十二指腸空腸バイパス術後の代謝改善メカニズムにおける胆汁酸の意義と腸肝循環の変化	井本博文	胃腸外科	1,560,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

ソナゾイドと改良エンベロープ法を基盤とした次世代超音波ガイド下神経ブロックの確立	大西詠子	手術部	1,300,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
ICUビッグデータのヒューリスティック探索：AIで解明する赤字にならない集中治療	志賀卓弥	集中治療部	1,040,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
集中治療患者の即時転帰予測システムの開発：人工知能によるビッグデータ時系列解析	小林直也	手術部	1,300,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
日本人の性分化関連遺伝子バリアントの頻度、および表現型との関連性の検討	近藤亜希子	産科	1,300,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝環境要因と児の出生体重に関する研究	岩間憲之	周産母子センター	910,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
ニコチンアミド（水溶性ビタミン）を用いた妊娠高血圧腎症に対する新規治療法の開発	只川真理	産科	1,820,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
必須微量元素セレン欠乏に注目した急性感音難聴の病態解明	大越明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌の発生を抑制する遺伝子（脱リン酸化酵素）の同定と機能解析	黒沢是之	形成外科	2,080,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
Cochlear synaptopathyに対する予防法・治療法の開発	鈴木淳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
濾過胞瘢痕化抑制薬の開発のための新規バイオマーカー及び創薬基盤の確立	津田聡	眼科	2,470,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢と遺伝子変異の相互作用に着目した滲出型AMDの病態解明	安田正幸	眼科	2,080,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
抗酸化剤を対象としたハイスループットスクリーニングによる新規緑内障治療薬の探索	横山悠	眼科	1,820,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌細胞の代謝活性と環境因子の関連をリアルタイムモニタリング法で探る	森島浩允	歯科顎口腔外科	650,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会
歯髄痛覚系に対する交感神経の末梢修飾機序の解明	嶋田雄介	顎口腔画像診断科	910,000	㊊ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

歯根膜エクソソームとWntシグナルを基軸とした次世代歯周組織再生療法の基盤構築	向阪幸彦	歯周病科	2,340,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
力学誘導歯根膜細胞エクソソームによる抗炎症M2マクロファージ分極制御理論の確立	丸山顕太郎	歯周病科	2,210,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
超音波顕微鏡のメカニズムを応用した、歯科疾患の科学的診断方法の確立	長沼由泰	障害者歯科治療部	520,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
Organ-on-a-Chip技術を応用した新規歯胚分化誘導法の開発	堀江尚弘	咬合修復科	1,170,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
口唇裂患者の包括的な顔面口腔形態と口腔機能の関連性に関する研究	板垣祐介	顎口腔機能治療部	650,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
硬組織蓄積性放射線傷害の概念に基づいた新たながん放射線治療有害事象の予防戦略	百々美奈	口腔支持療法科	1,820,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
苦味受容体と解毒酵素の多型解析と医療ビックデータによる発がんリスク評価法の開発	庄司憲明	口腔診断科	2,600,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
嘔吐するモデル動物スンクスの戻し交配で解明するPONVの遺伝学的機序	杉野繁一	手術部	3,900,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
新骨芽細胞膜チャネルPannexin 3が制御する造血幹細胞ニッチの解明	石河真幸	保存修復科	2,080,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
若年性特発性関節炎の原因遺伝子と分子病態の解明	森谷邦彦	小児科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
破壊性関節炎・付着部炎モデルマウスを用いた病態機序の解明と治療標的の探索	泉山拓也	整形外科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
ブロモドメインを標的とした卵巣明細胞癌個別化医療の確立	重田昌吾	産科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
癌微小環境のremodelingによる腫瘍免疫応答の活性化を用いた新規治療法開発	青木修一	肝胆膵外科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
二次性ガラクトース血症に潜在している新規ガラクトース血症（GALM欠損症）	岩澤伸哉	小児科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

Drug repositioning for the discovery of therapeutic approaches for pulmonary arterial hypertension	SiddiqueMohammadAbdulHai	循環器内科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
活動性マイクログリア制御による緑内障モデル動物の神経保護治療の試み	前川重人	眼科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
Piezo-apicoectomyによる根尖治癒過程の解明	大竹義雄	歯科顎口腔外科	780,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
LIPUSとLMHF loadingによる骨形成活性効果のインプラントへの応用	庄原健太	咬合回復科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
MDM2を中心とした食道扁平上皮癌の化学放射線抵抗性因子と新規分子標的薬の研究	岡本宏史	移植・再建・内視鏡外科	780,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄異形成症候群におけるSF3B1遺伝子変異アリルの量的意義	鈴木千恵	検査部門	624,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
「うま味」感受性低下の原因解明を基軸とした高齢者健康維持の治療基盤構築	庄司憲明	口腔診断科	7,150,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
認知症予防の実現に向けた食品成分のPDI脱SNO化作用に関する学術基盤の構築	小倉次郎	薬剤部	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
非小細胞肺癌における免疫化学併用療法の新規治療効果予測・標的因子の病理学的探索	齊藤涼子	病理部	1,690,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
癌代謝解析による腎癌細胞のチロシンキナーゼ阻害薬耐性獲得機序と新規治療標的の解明	川崎芳英	泌尿器科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
TP53 signatureの他がん腫への応用のための研究	高橋信	腫瘍内科	1,820,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
α-シヌクレインを介したOPRM1遺伝子の転写調節機構の解明	菅野直人	神経内科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
多系統蛋白質症－ALSにおける神経筋選択的な細胞変性メカニズムの解明	割田仁	神経内科	1,690,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍診断目的のFDG PETにおける心筋集積と心臓疾患の関連に関する前向き研究	高浪健太郎	放射線診断科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

ゲノム編集マウスを用いたBリンパ球欠損症新規原因遺伝子の証明	菊池敦生	小児科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
先天性大脳白質形成不全症に伴う末梢神経障害の病態解明と治療法の確立	植松有里佳(沼田有里佳)	小児科	2,210,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
肝細胞脂肪変性における遊離アミノ酸の細胞内ストレス応答機構に与えるインパクト	嘉数英二	消化器内科	1,690,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
肺移植患者におけるHIRA-TAN法での起炎病原体の探求	平間崇	呼吸器外科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患病態における細胞内DNA認識機構の関与の解明	小荒井晃	呼吸器内科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
COPDにおける肺胞上皮細胞のストレス応答機構と微小環境相互作用の検討	藤野直也	呼吸器内科	2,080,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
糖代謝非依存性乳がんにおける診断・治療の一体化戦略の構築:アミノ酸代謝に着眼して	原田成美	乳腺・内分泌外科	1,040,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
エピジェネティクス制御による胆道閉鎖症術後黄疸消失機構の解明	田中拡	小児外科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
新規インドール化合物による腸炎関連大腸癌抑制効果の発見と臨床応用へ向けた基盤研究	大沼忍	胃腸外科	1,690,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
代謝改善手術によるNASH改善機序の解明　胆汁酸動態の変化からの検証	田中直樹	胃腸外科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
腹部・腸骨動脈瘤における内腸骨動脈再建の適応と臀筋跛行リハビリテーション法の提示	赤松大二朗	移植・再建・内視鏡外科	910,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
体外肺灌流装置を用いたマージナルドナー肺の肺葉機能診断法の開発	新井川弘道	呼吸器外科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
ジャポニカアレイを用いた股関節形成不全の疾患感受性遺伝子の探索	千葉大介	整形外科	1,950,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
難治性膀胱痛症候群の病態分類と重症度を評価可能する尿中バイオマーカーの確立	川守田直樹	泌尿器科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

流体力学に基づいた水中下直接的蝸牛内ドラッグデリバリーの開発に関する研究	山内大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,950,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患併発下で難治化する根尖性歯周炎の分子病態解析と新規治療標的の検索	八幡祥生	保存修復科	7,150,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
リン酸カルシウム遺伝子導入剤による機能性抗菌コーティングのインプラント周囲炎応用	天雲太一	咬合回復科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
生体データに基づく個体別筋骨格シミュレーションに関する研究	重光竜二	咬合回復科	1,040,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
食の力を測る新システム開発と咀嚼機能評価	菊池雅彦	総合歯科診療部	1,950,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
拡散テンソル画像を応用した咬筋内部筋線維動態の解析手法の確立	庄原健太	咬合回復科	2,470,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
破骨細胞前駆細胞の骨組織への遊走を制御するγδT細胞の機能解明と分子標的薬の検討	西村寿晃	顎口腔機能治療部	1,950,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
ウエラブルデバイスを用いた周産期の不眠実態の解明と睡眠介入プログラムの作成	菊地紗耶	精神科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
特発性正常圧水頭症の認知・精神・行動障害に関連する神経基盤の解明	菅野重範	高次脳機能障害科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
人工肩関節置換術の術後可動域改善のために 一超音波エラストグラフィを用いた研究―	山本宣幸	整形外科	2,470,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
もやもや病感受性遺伝子RNF213多型保持健常者における潜在的画像所見のAI解析	園部真也	高度救命救急センター	2,340,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
再生医療等製品の細胞材料における媒介物質エクソソームを用いた機能評価法の確立	沖田ひとみ	臨床研究推進センター	2,080,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
心的トラウマ有するTBI患者に対する心理的回復スキル向上プログラムの有効性の検証	八木橋真央	精神科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
予期せぬ副作用回避のための薬物-胆汁酸相互作用研究：OATP4C1に着目して	佐藤紀宏	薬剤部	2,080,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

間質性肺炎合併肺癌における癌関連線維芽細胞の特徴に関する検討	井上千裕	個別化医療センター	3,250,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
進行胃癌のDIC併発に関連する遺伝子発現異常の網羅的探索研究	大内康太	腫瘍内科	1,690,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による多系統蛋白質症の神経筋共通病態解明と治療標的分子の探索	井泉瑠美子	神経内科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
ALSにおける活性化アストロサイトの極性転換に着目した新規治療法の開発	四條友望	神経内科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
軸索に着目した筋萎縮性側索硬化症の運動ニューロン選択的変性に関わる新規因子の探索	光澤志緒	脳神経内科	910,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
双極性障害発症ハイリスク状態の研究：診断基準の確立と行動・認知的変化の解明	桂雅宏	精神科	2,340,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
MRIによる癒着胎盤の定量的診断方法の開発	佐藤友美	放射線診断科	1,820,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
胸部放射線治療中の腫瘍縮小および体内変化により変動する心臓被曝線量評価の研究	高橋紀善	放射線治療科	1,820,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
MRIと流体固体相互作用解析の融合による内臓動脈瘤塞栓後の再開通リスク因子の解明	鎌田裕基	放射線診断科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
肺の機能と形態の線量評価を融合した放射線肺臓炎予測モデルの構築	勝田義之	放射線治療科	1,820,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
新規病因遺伝子GALMを含むガラクトース血症と若年性白内障発症との関連	和田陽一	小児科	2,990,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内における慢性低酸素ストレスが胎児の副腎皮質に与える影響の解析	池田秀之	小児科（周産母子センター）	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
リンパ管腫症モデルマウスによる発症メカニズムの解明と治療への応用	野澤明史	遺伝科	2,080,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
人工子宮システムに胎盤の内分泌作用として付与するCRH持続投与の有効性の検討	佐藤信一	小児科（周産母子センター）	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

免疫抵抗性克服のための非小細胞肺癌における放射線照射がもたらす免疫応答の解析	突田容子	呼吸器内科	130,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
尿中落下細胞に含まれる多能性幹細胞の同定と解析	内田奈生	小児科	1,560,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
乾癬、感染症、メタボリック症候群における抗菌ペプチドカセリサイディンの関与	髙橋隼也	皮膚科	2,080,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
Ah受容体が進行期皮膚扁平上皮癌へ与える影響の解析	日高高徳	皮膚科学分野	2,210,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
肥満に伴う高インスリン血症における肝臓が及ぼす影響とその機序の探索	浅井洋一郎	糖尿病代謝科	2,340,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
迷走神経シグナルによる臓器・組織量調節機構の解明とその治療応用に向けた解析	井泉知仁	糖尿病代謝科	2,990,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
胎児期～新生児早期からの腸管免疫寛容誘導により壊死性腸炎治療の可能性を探る	山木聡史	小児科	1,560,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外マトリックス阻害による腫瘍免疫活性化を目指した新規膵癌治療戦略	青木修一	総合外科	1,560,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
脳死肺移植における広域周波オシレーション法の有用性に関する研究	新國悦弘	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ部門	2,990,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
LILRB4免疫チェックポイント機構の解明と肺癌における臨床的意義の検討	田中遼太	呼吸器外科	1,430,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
誘導ヒトシュワン様細胞移植を用いた難治性神経障害性痛に対する根治的治療法の開発	村上徹	麻酔科	1,690,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
人工呼吸関連肺傷害の血管内皮傷害における内皮微小粒子の病態生理学的作用の解明	武井祐介	麻酔科	1,430,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
メタボローム解析による骨軟部肉腫のバイオマーカー探索	吉田新一郎	整形外科	1,300,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会
骨新生能と生体内吸収性を有する人工骨の開発	馬場一慈	整形外科	1,300,000	㊕ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

新規低弾性チタン合金であるTi-Nb-Sn合金を用いた骨折治療インプラントの開発	上村雅之	整形外科	1,820,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
エピゲノム遺伝子を標的としたSWI/SNF変異婦人科癌に対する新規併用療法の確立	重田昌吾	産婦人科	1,300,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
マイクロパルス毛様体光凝固術の作用機序及び予後因子の解明	國分太貴	眼科	2,080,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
腎代謝に依存しない特殊表面加工したMg合金の開発	佐藤顕光	形成外科	2,080,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
人工乳房に対する未分化大細胞型リンパ腫発生機序の解明-免疫反応と慢性炎症の関与-	三浦千絵子	形成外科	2,210,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
マグネシウム合金の骨形成メカニズムの解析	小田島健二	歯科顎口腔外科	1,300,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
窒素ドープ酸化チタン表面改質による可視光応答抗菌活性インプラントアバットメント	岩津実里	咬合回復科	1,560,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
骨造成後のインプラント周囲骨の経年的変化に影響する生体力学的背景因子の検討	佐藤智哉	歯科インプラントセンター（咬合回復科）	2,080,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
還元ストレスをiPS細胞の分化誘導に応用した新規骨再生技術の開発	渡辺隼	感染予防対策治療部	1,950,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
口唇口蓋裂患者の口腔感覚特性の解明	島田栄理遣	顎口腔機能治療部	1,950,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
矯正学的歯の移動の促進に向けた低出力超音波パルスによる骨改造亢進効果の検討	坂本麻由里	矯正歯科	2,210,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
ヒストンメチル基転移酵素EZH2は牽引力による歯根膜の骨芽細胞分化を制御するか	伊藤新	矯正歯科	1,430,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
歯胚間葉でのFoxc1の機能と分子制御解明-iPS細胞を用いた歯胚発生への応用-	吉田倫子	矯正歯科	1,820,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼能力とフレイルの関連にサルコペニア肥満は媒介するのか～中間媒介分析を用いて～	沼崎貴子	口腔機能回復科	1,430,000	㊧ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

患者安全におけるレジリエンス能力は新たなシミュレーション教育で向上するか？	荒田悠太郎	卒後研修センター	1,170,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
バイオマーカーを活用した新規せん妄予測スコアの開発	佐久間篤	精神科	1,560,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝性嚢胞性腎・肝疾患への運動療法の効果の機序解明	三浦平寛	内部障害リハビリテーション科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
変形性膝関節症者の屋内・屋外環境下での膝関節にかかる負荷の相違	矢口春木	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ部門	3,510,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
脳卒中片麻痺患者の不整地歩行時の安定性制御様式と転倒リスク及び身体活動量の関係	本田啓太	リハビリテーション部門	2,600,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
文字言語の障害に対する実用的な支援技術の効果検証	成田渉	高次脳機能障害科	3,640,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
心臓死ドナー肺をターゲットとした体外肺灌流装置を用いた肺機能回復法の開発	新井川弘道	呼吸器外科	8,320,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
強皮症の皮膚潰瘍に対する体外衝撃波療法の分子的機序の解明	藤井博司	リウマチ膠原病内科	1,200,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
超音波波形解析による術中異常血管識別法の開発	下田由輝	脳神経外科	1,300,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
大腸腺腫/早期大腸癌由来のエクソソームを用いたリキッドバイオプシーの開発	諸井林太郎	消化器内科	2,080,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
進行性下顎頭吸収の新規治療法の開発に向けた生物学的メカニズムの解明	野上晋之介	歯科顎口腔外科	1,690,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌所属リンパ節郭清による肺転移活性機序の解明と予防法の開発	宮下仁	歯科顎口腔外科	910,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
HIF-2αによる象牙芽細胞分化制御の解明-iPS細胞を用いた歯胚発生への応用-	木村晴地	矯正歯科	1,430,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会
膵液中エクソソームによる膵癌進展機序の解明と新規診断法の開発	滝川哲也	消化器内科	1,040,000	㊓ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

心停止肝細胞移植におけるviability上昇のための新しい機械灌流法の開発	藤尾淳	移植・再建・内視鏡外科	1,170,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
複雑閉鎖空間中の爆風による生体内衝撃波伝播防止のための衝撃波工学・医学的検討	中川敦寛	脳神経外科	2,600,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
大規模MRIデータベース・治療的介入を用いた、心機能が脳の老化に及ぼす影響の研究	鈴木秀明	循環器内科	1,820,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
患者個別化医療に向けた治療前の医療画像のみから腫瘍の縮小を予測する手法の開発	田中祥平	放射線治療科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
Wntシグナルによる ABCC3・胆汁酸を介した新規大腸癌発癌機構の解明	小林実	卒後研修センター	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
難治性骨格筋変性疾患におけるRNA顆粒解析	池田謙輔	脳神経内科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
Stanford B型大動脈解離における血流動態解析とCFDモデルの最適化	樋口慧	放射線診断科	1,300,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
マーモセット眼組織における緑内障感受性遺伝子の空間的遺伝子発現解析	浅野俊文	眼科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
網膜神経節細胞障害を高感度に検出するウイルスベクターの作成と薬剤スクリーニング	矢花武史	眼科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
活性型ビタミンD3による制御性T細胞の増強と治療への応用	田中志典	歯科麻酔疼痛管理科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞由来軟骨細胞塊の血管新生因子制御を基盤とした骨再生技術の開発	河阪幸宏	咬合修復科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
ダイナミックな酸素濃度の変化が口腔がん細胞の代謝に及ぼす悪影響	篠原優太	咬合回復科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
HeterogeneousなTi-Fe傾斜拡散層によるチタンの耐摩耗性表面改質	山口洋史	咬合回復科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会
歯の発生と分化過程におけるmicro RNAの役割解明	中村友昭	小児歯科	1,430,000	㊚ 委	独立行政法人日本学術振興会

小計14件

エナメル質石灰化におけるin vitro解析システムの開発	但野愛実	小児歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来神経オルガノイドを用いた筋萎縮性側索硬化症の軸索病態の解析	鈴木直輝	脳神経内科	1,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
放射線誘発性肺障害の予測モデルおよび進展モデルの構築に関する研究	山本貴也	放射線治療科	910,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ものづくり日本のアイデアと技術を盛り込んだ移植肺体外灌流システムの日加共同開発	渡辺有為	呼吸器外科	2,080,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
HOTAIRによる腎癌悪性化メカニズムの探索と治療への応用	方山博路	泌尿器科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
高強度純チタン製歯科矯正用アンカースクリューの新規開発に関する基礎研究	清流正弘	矯正歯科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌の低侵襲治療に向けたMRI・PETの定量的指標を用いた画像診断法の確立	小嶋郁穂	顎口腔画像診断科	650,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
免疫受容活性化チロシンモチーフを有する新規分子の骨代謝と矯正学的歯の移動への作用	小川紗衣香	矯正歯科	1,430,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	仁尾正記	小児外科	16,900,000	補 委	厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	青木正志	脳神経内科	24,986,000	補 委	厚生労働省
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay(MITA)による予測性試験法の確立と国際標準化	相場節也	皮膚科	17,600,000	補 委	厚生労働省
障害者の支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究	出江紳一	リハビリテーション医工学分野	15,000,000	補 委	厚生労働省
高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究	鈴木匡子	高次脳機能障害科	1,000,000	補 委	厚生労働省
環境中における薬剤耐性菌及び抗微生物材の調査法等の確立のための研究	金森肇	総合感染症科	1,855,000	補 委	厚生労働省

小計14件

現場や地域の実情に即したがん治療と並行する緩和ケアの実装の推進に関する研究	井上彰	緩和医療科	1,755,000	(補) 委	厚生労働省
認知症者における抑うつ・無気力に対する治療法に関するエビデンス構築を目指した研究	鈴木匡子	高次脳機能障害科	2,740,000	(補) 委	厚生労働省
医療情報データベースの活用推進に関する研究	中山雅晴	医学情報学分野	8,000,000	(補) 委	厚生労働省
次世代医療情報交換標準規格FHIRを用いたPHR統一プラットフォームの開発	中山雅晴	医学情報学分野	20,000,000	(補) 委	厚生労働省
ARO拠点機能を活用した医療機器ベンチャー教育・人材育成	冨永悌二	病院（臨床研究推進センター）	49,400,000	補 (委)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
コンピテンシーに基づくアカデミア所属データマネジャーの教育プログラム開発	髙田宗典	臨床研究推進センター	13,000,000	補 (委)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医師・DMの立場からの共同教育プログラム策定・先行WS調査と実施	髙田宗典	臨床研究推進センター	1,300,000	補 (委)	公立大学法人大阪
シーズ開発実績に裏付けられたARO機能のリソース次元縮約と可視化に関する研究	池田浩治	臨床研究推進センター	1,300,000	補 (委)	国立大学法人九州大学
医工連携を基盤としたオープン・イノベーション・プラットフォーム構築	張替秀郎	臨床研究推進センター	104,508,480	(補) 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
東北大学病院における医療技術実用化総合促進拠点構築	張替秀郎	臨床研究推進センター	209,600,000	(補) 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医工連携拠点の支援を活用した異分野融合型研究開発の最適化	張替秀郎	臨床研究推進センター	50,050,000	(補) 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
拠点を基点とし、地域と世界をつなぐhub and spoke形成型拠点整備事業	冨永悌二	病院（臨床研究推進センター）	12,999,998	(補) 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
臨床研究総合促進事業	冨永悌二	病院（臨床研究推進センター）	50,907,000	(補) 委	厚生労働省

小計13件

視野障害者・健常者運転データベース構築、視野障害者特有の事故要因の明確化 他	中澤徹	眼科	7,260,000	補 ㊋	国立研究開発法人理化学研究所(国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構)
大規模疾患レジストリにおけるPatient Journeyの抽出・検証	新妻邦泰	脳神経外科	230,000	補 ㊋	サスメド株式会社(国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構)
網膜中心動脈閉塞症に対する神経保護薬の開発のための患者レジストリの構築及び早期第Ⅱ相臨床試験	中澤徹	眼科	195,467,220	補 ㊋	千寿製薬株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
全身性エリテマトーデス(SLE)の自然免疫系と自己免疫系の連関に中心的に関与する因子を特定するための臨床研究	石井智徳	血液・免疫科	12,337,000	補 ㊋	エーザイ株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
精神症状を伴う月経前症候群/月経前不快気分障害患者に対するピリドキサミンの臨床開発	八重樫伸生	婦人科	20,801,397	補 ㊋	株式会社レナサイエンス(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
セルフリポート型設問への応答の最適度を推定する方法の確立を目指した予測因子の解明とアルゴリズム実証に向けた基盤研究	冨田尚希	老年科	1,000,000	補 ㊋	国立研究開発法人科学技術振興機構
健康指標開発	冨田尚希	老年科	7,950,000	補 ㊋	国立研究開発法人科学技術振興機構
眼の健康センサ	中澤徹	眼科	5,000,000	補 ㊋	国立研究開発法人科学技術振興機構
センシングゲノム(眼と健康)	中澤徹	眼科	61,000,000	補 ㊋	国立研究開発法人科学技術振興機構

小計9件

RASopathies新規原因遺伝子検索と患者登録研究	青木洋子	遺伝科	1,500,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
胎児MRIの最適化:先天性頸部、胸部疾患の胎児MRIの撮像の有用性と最適化	青木英和	放射線診断科	200,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
バイオデザインと連携した医療機器人材育成	中川敦寛	脳神経外科	300,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立がん研究センター
婦人科悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	八重樫伸生	婦人科	500,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立がん研究センター
Dysferlinopathyおよび類似疾患の遺伝子解析と結合蛋白に注目した病態・治療研究	青木正志	神経内科	700,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
循環器疾患ゲノム医療の臨床実装に向けた基盤構築のための研究	安田聡	循環器内科	720,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
食後高血糖介入による予後改善効果の解明: DIANA介入研究長期予後調査: 心血管イベント発症有無の調査	安田聡	循環器内科	1,500,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
遠隔病理診断装置の実用化	藤島史喜	病理部	640,000	補 ㊎	気仙沼市立病院
人工心肺手術時のヘパリン抵抗性予測因子に関する前向き観察研究	齋木佳克	心臓血管外科	1,864,576	補 ㊎	一般社団法人日本血液製剤機構
恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服	片桐秀樹	糖尿病代謝科	5,200,000	補 ㊎	国立研究開発法人科学技術振興機構
遠心性神経による臓器機能調節の実態解明とその制御法の開発	新妻邦泰	脳神経外科	650,000	補 ㊎	国立研究開発法人科学技術振興機構
糖尿病における脳血管の変容解明と制御	新妻邦泰	脳神経外科	11,869,000	補 ㊎	国立研究開発法人科学技術振興機構

小計12件

超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験	大内憲明	乳腺・内分泌外科	102,700,000	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
個体・臓器老化研究拠点	片桐秀樹	糖尿病代謝科	637,979,999	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	張替秀郎	血液・免疫科	141,856,000	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医薬関係者による副作用報告の質向上に向けた情報連携のあり方の研究	眞野成康	薬剤部	4,510,000	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多層オミックス解析による個別化緑内障創薬　※国費	中澤徹	眼科	30,000,000	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
緑内障のカルパイン活性化の生体内イメージングシステムの開発	中澤徹	眼科	41,220,000	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経疾患特異的iPS細胞を活用した病態解明と新規治療法の創出を目指した研究	青木正志	脳神経内科	5,000,000	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
衝撃波アブレーションカテーテルシステムの開発	下川宏明	循環器内科	33,392,320	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
組織の適応・修復のための神経シグナルを介した細胞増殖制御機構の解明	今井淳太	糖尿病代謝科	16,837,177	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
心臓カテーテル検査・治療中に生じる難治性冠攣縮に対するファスジルの有効性及び安全性に関する無作為化、プラセボ対照二重盲検比較試験	下川宏明	循環器内科	65,000,000	補 ㊁	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計10件

胸部食道癌患者の放射線障害に対する、ニカラベンの無作為化第II相臨床試験（医師主導治験）	神宮啓一	放射線治療科	58,437,600	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
活性イオウ分子種を用いた新規抗酸化眼内灌流液の開発	中澤徹	眼科	83,070,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
重症狭心症を対象とした革新的超音波血管新生療法の開発	下川宏明	循環器内科	50,000,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳内広範囲薬剤送達システムの開発－塩酸ニムスチン局所投与による脳腫瘍治療法－	冨永悌二	脳神経外科	68,685,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
栄養・生活習慣・炎症に着目したうつ病の発症要因解明と個別化医療技術開発	富田博秋	精神科	38,700,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
経静脈的ラジオ波焼灼による原発性アルドステロン症の低侵襲根治療法	高瀬圭	放射線診断科	33,046,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
細胞膜修復や不要蛋白クリアランス機構の破綻をきたす筋疾患におけるメカノセンシングの機序の解明とその評価系の確立および治療法開発	青木正志	脳神経内科	7,524,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
自閉スペクトラム症に対する新規オキシトシン製剤の治験実施と病態・薬効のメカニズム解析、および社会性齧歯類によるオキシトシン受容体アゴニスト高感度評価系樹立	本多奈美	精神科	23,970,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
嚥下障害患者の安全な経口摂取を支援する咽喉頭感覚評価法の研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,510,000	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肝細胞増殖因子（HGF）による筋萎縮性側索硬化症（ALS）の画期的治療法開発	青木正志	脳神経内科	50,685,232	補 ㊋	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計10件

選択的神経ブロックによる個別化リハビリテーションと治療効果の定量化を重視した凍結肩の集学的診療ガイドラインの開発	山内正憲	麻酔科	6,425,250	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ヌーナン症候群類縁疾患の診断・診療ガイドライン作成に向けたエビデンス創出研究	青木洋子	遺伝科	13,585,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
NUDT15遺伝子型に基づき個人に最適化された安全かつ有効的なチオプリンによる免疫調節療法の開発	角田洋一	消化器内科	13,000,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	齋木佳克	心臓血管外科	7,930,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
将来の創薬を念頭に置いた心不全発症・増悪リスク層別化マーカーの開発	坂田泰彦	循環器内科	10,793,867	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎患者に対するPAI-1阻害薬TM5614の有効性および安全性を検討する探索的第II相医師主導治験	張替秀郎	血液・免疫科	146,350,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
パーソナルヘルスレコードによる生活習慣病合併心血管病患者の診療の質向上を目指した研究	後岡広太郎	循環器内科	19,500,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
世界初・日本発・ミトコンドリア病治療薬MA-5 のオールジャパン臨床治験のプロトコール立案	及川善嗣	小児科	3,900,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
活性イオウ分子種を用いた新規抗酸化眼内灌流液の開発	津田聡	眼科	3,900,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
COVID-19感染重症患者における凝固異常の病態解明と早期治療戦略の構築	齋藤浩二	集中治療部	26,533,326	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計10件

COVID-19重症例に対するエトポシドおよびコルチコステロイドを使用したHLH-94プロトコルによる有効性・安全性評価のための第II相臨床試験	青柳哲史	感染症科	123,446,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
個別化医療を実現するAI・ビッグデータ活用と循環器疾患発症・重症化予測	安田聡	循環器内科	13,000,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対するPAI-1阻害薬TM5614のプラセボ対照二重盲検第II相医師主導治験	張替秀郎	血液・免疫科	325,000,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
腎不全患者治療コホートを用いた腸内細菌および代謝物解析による新規腎不全治療に関する研究開発	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	29,900,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
糖尿病性腎症の新規早期診断・予測判定マーカーの国際開発	阿部高明	腎・高血圧・内分泌科	26,000,000	補 ㊇	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
4次元照射領域最適化を実現する放射線治療計画支援システムの開発と事業化	角谷倫之	放射線治療科	13,800,000	補 ㊇	アイテム株式会社(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
ハイドロゲルを基材とする頭蓋内有機物電極の開発	中川敦寛	脳神経外科	11,000,000	補 ㊇	株式会社ユニークメディカル(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	中澤徹	眼科	6,659,900	補 ㊇	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

小計8件

Cellm-001による初発膠芽腫治療効果無作為比較対照試験	金森政之	脳神経外科	1,560,000	補 ㊎	学校法人東京女子医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
クラウド計算環境を利用したゲノム医科学研究の倫理・技術課題の調査と実践	角田洋一	消化器内科	3,250,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立国際医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
AI皮膚画像診療補助基盤の開発	山﨑研志	皮膚科	2,990,000	補 ㊎	公益社団法人日本皮膚科学会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
内視鏡検診対象群のリクルートおよび継続受診の勧奨	正宗淳	消化器内科	100,001	補 ㊎	公益財団法人宮城県対がん協会(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
AYA世代の精神疾患高リスク群における予防的睡眠マネジメントに関する研究	富田博秋	精神科	500,000	補 ㊎	学校法人東邦大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究	徳永英樹	婦人科	195,000	補 ㊎	東京都立墨東病院(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	綿貫宗則	整形外科	390,000	補 ㊎	国立大学法人岡山大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

小計7件

慢性血栓塞栓性肺高血圧症における肺動脈バルーン形成術の医療の質評価及びフィードバックシステムを構築する社会実装研究	下川宏明	循環器内科	130,000	補 ㊮	国立研究開発法人国立循環器病研究センター（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
診療連携・国際連携をも視野にいれた、生活習慣病、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究	宮崎真理子	腎・高血圧・内分泌科	195,000	補 ㊮	国立大学法人筑波大学（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	徳永英樹	婦人科	975,000	補 ㊮	国立大学法人筑波大学（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
中性脂肪蓄積心筋血管症の診療に直結するエビデンス創出研究	坂田泰彦	循環器内科	130,000	補 ㊮	国立大学法人大阪大学（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
CRP遺伝子多型解析による食道癌リンパ節転移リスク診断キットの開発	亀井尚	移植・再建・内視鏡外科	19,349,687	補 ㊮	国立大学法人秋田大学（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	八重樫伸生	婦人科	195,000	補 ㊮	学校法人昭和大学（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
子宮頸癌ⅠB期−ⅡB期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法の第Ⅲ相ランダム化比較試験	島田宗昭	婦人科	195,000	補 ㊮	静岡県立静岡がんセンター（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）

小計7件

オミックス解析に基づく乳がん患者における化学療法による心毒性発症機序の解明と危険因子の探索	後岡広太郎	循環器内科	2,080,000	補 ㊎	学校法人国際医療福祉大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
成人症例登録と分子層別化	横山寿行	血液・免疫科	260,000	補 ㊎	国立大学法人長崎大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
ヒルシュスプルング病類縁疾患診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	仁尾正記	小児外科	260,000	補 ㊎	学校法人福岡学園福岡医療短期大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
子宮頸癌根治術後再発高リスク患者に対する強度変調放射線治療(IMRT)を用いた低毒性補助療法の確立に向けての研究	徳永英樹	婦人科	260,000	補 ㊎	沖縄県立中部病院(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の原因となる難病の診療向上に向けた、疾患横断的な全国多施設レジストリ研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	260,000	補 ㊎	独立行政法人国立病院機構東京医療センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
国際共同臨床試験PHITT試験実施	福澤太一	小児外科	500,500	補 ㊎	国立大学法人広島大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
眼内悪性リンパ腫に対するブルトンキナーゼ阻害剤を用いた中枢再発予防法による医師主導多施設共同治験	福原規子	血液・免疫科	78,000	補 ㊎	国立大学法人東京大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

小計7件

がん患者の抑うつ・不安に対するスマートフォン精神療法の最適化研究：革新的臨床試験システムを用いた多相最適化戦略試験	井上彰	緩和医療科	71,500	補 ㊎	公立大学法人名古屋市立大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
先天性血小板減少症の診断体制・レジストリ・生体試料収集体制の確立	笹原洋二	小児科	780,000	補 ㊎	国立研究開発法人国立成育医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
成人SMA患者レジストリの整備、成人期SMAの臨床的検討、SMA予後マーカー・因子の探索	青木正志	脳神経内科	479,375	補 ㊎	国立大学法人東海国立大学機構(名古屋大学)(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
医師主導治験の実施(症例登録及びプロトコル遂行)	徳永英樹	婦人科	2,080,000	補 ㊎	国立大学法人千葉大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの有効性、安全性、薬物動態に関する医師主導治験	石井智徳	血液・免疫科	390,000	補 ㊎	学校法人東京女子医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
東北地方での対象疾患頻度の検討、東北メディカルメガバンクデータを用いた有病率の推定	笹原洋二	小児科	650,000	補 ㊎	国立大学法人東京医科歯科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	小計6件

拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録研究	下川宏明	循環器内科	260,000	補 ㊇	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
進行・再発子宮頸癌の予後向上を目指した集学的治療の開発	八重樫伸生	婦人科	195,000	補 ㊇	国立がん研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
Borderline resectable膵癌に対する集学的治療法を用いた標準治療確立に関する研究	海野倫明	肝・胆・膵外科	260,000	補 ㊇	国立がん研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤を用いた標準治療確立に関する研究	金森政之	脳神経外科	156,000	補 ㊇	学校法人北里研究所(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
難プラ標準レジストリーを使用し、新生児マススクリーニング対象疾患等の遺伝子変異を考慮したガイドライン改定に向けたエビデンス創出研究	和田陽一	小児科	585,000	補 ㊇	国立大学法人東海国立大学機構(岐阜大学)(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
B型肝炎ウイルスの感染性エンベロープ形成を阻害する治療法の開発	井上淳	消化器内科	1,820,000	補 ㊇	国立大学法人熊本大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
大規模医療情報の標準化のための統一的管理手法の構築と利活用の研究	中山雅晴	メディカルITセンター	260,000	補 ㊇	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	小計7件

臨床試験統括と検体収集	横山寿行	血液・免疫科	260,000	補 ㊫	国立大学法人東海国立大学機構(名古屋大学)(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果-プラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験	徳永英樹	婦人科	390,000	補 ㊫	国立大学法人北海道大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
高齢者急性骨髄性白血病の化学療法が可能な症例に対して若年成人標準化学療法の近似用量を用いる第II相臨床試験:JALSG-GML219試験	張替秀郎	血液・免疫科	1,300,000	補 ㊫	国立大学法人福井大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	佐藤康弘	心療内科	2,600,000	補 ㊫	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
精神疾患に伴う障害の評価尺度開発－各位研究班への尺度構成についての指導	鈴鴨よしみ	肢体不自由リハ科	585,000	補 ㊫	公立大学法人福島県立医科大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	
東北ブロックのIRUD拠点病院 / IRUD center hospital in Tohoku area	呉繁夫	小児科	10,400,000	補 ㊫	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)	小計6件

上部尿路癌根治術後の膀胱内再発を予防する標準治療法の開発(JCOG1403)	伊藤明宏	泌尿器科	2,730,000	補 ㊖	地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立がんセンター（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）
慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する多施設共同レジストリ研究	福井重文	循環器内科	309,400	補 ㊖	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
対面診療に比したオンライン診療の非劣勢試験：COVID-19によって最も影響を受け得る精神疾患に対するマスタープロトコル試験による検証	富田博秋	精神科	2,600,000	補 ㊖	学校法人慶應義塾(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	井上彰	緩和医療科	409,500	補 ㊖	国立がん研究センター(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
レジストリを活用した慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するエドキサバンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	安田聡	循環器内科	520,000	補 ㊖	国立大学法人九州大学(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)
レビー小体病の早期診断技術と根本治療薬の開発	長谷川隆文	脳神経内科	3,000,000	補 ㊖	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
網膜色素変性症に対する経強膜ウノプロストン徐放製剤を用いた安全性及び有効性評価のためのⅠ/Ⅱa相試験	中澤徹	眼科	5,000,000	補 ㊖	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肺動脈性肺高血圧症の新しい治療薬エメチンの治験準備	佐藤公雄	循環器内科	227,847	補 ㊖	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

小計8件

StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	海野倫明	肝・胆・膵外科	65,400	補 ㊍	公益財団法人がん集学的治療研究財団
分化型甲状腺癌を対象としたレンバチニブの治療効果探索のためのコホート研究	中島範昭	乳腺・内分泌外科	44,000	補 ㊍	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive (EGFR m+)進行非小細胞肺がん(NSCLC)初回オシメルチニブ治療の効果、安全性及び憎悪後の治療に関する観察研究-Reiwa-	齋藤良太	呼吸器内科	433,400	補 ㊍	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床研究情報収集に関する研究(J-DREAMS)	片桐秀樹	糖尿病代謝科	300,000	補 ㊍	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
超ハイリスク基準群における生体情報評価及びサイトカイン測定による統合失調症の発現予測因子の探索研究	富田博秋	精神科	1,896,840	補 ㊍	精神・神経医療研究センター・精神科・富田
切除不能胞巣状軟部肉腫に対するアテゾリズマブ療法の多施設共同第Ⅱ相医師主導治験	髙橋雅信	腫瘍内科	800,000	補 ㊍	国立がん研究センター
①PI3K/AKT/mTOR経路の遺伝子変異を含む稀な遺伝子異常を有する小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究 ②アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確率を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究	宮内栄作	呼吸器内科	179,606	補 ㊍	国立がん研究センター
繰り返し入院する慢性心不全患者を対象としたASV療法の予後に関する前向きコホート研究：再入院や死亡に関する影響を検討する縦断的観察研究(CSP-LD17 SAVIOR-L)	鈴木秀明	循環器内科	66,000	補 ㊍	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究)のサブ解析業務	安田聡	循環器内科	10,667,000	補 ㊍	公益財団法人循環器病研究振興財団

小計9件

内視鏡外科手術のデータベース構築に資する横断的基盤整備	大沼忍	胃腸外科	620,000	補 ㊢	国立がん研究センター

計380件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入するこ

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Inui, T.| Kobayashi, S.| Haginoya, K.	小児科	Predicting epileptic encephalopathy using mutation site analysis and in silico algorithms	Epilepsy and Behavior 109	Letter
2	Zhang, X.| Matsuda, M.| Yaegashi, N.| et al.	産婦人科	Regulation of Necroptosis by Phospholipids and Sphingolipids	Cells 9-3	Review
3	Sasaki, H.| Maruya, H.| Abe, Y.| et al.	産婦人科	Scoping review of hospital business continuity plans to validate the improvement after the 2011 great east Japan Earthquake and Tsunami	Tohoku Journal of Experimental Medicine 251-3:147-159	Original Article
4	Miki, Y.| Tase, T.| Tokunaga, H.| Yaegashi, N.| et al.	産婦人科	Cervical cancer screening rates before and after the Great East Japan Earthquake in the Miyagi Prefecture, Japan	PLoS ONE 15-3	Original Article
5	Shimada, M.| Tokunaga, H.| Kigawa, J.| et al.	産婦人科	Impact of histopathological risk factors on the treatment of stage ib-iib uterine cervical cancer	Tohoku Journal of Experimental Medicine 252-4:339-351	Original Article
6	Tanaka, K.| Shiga, N.| Kuno, T.| et al.	産婦人科	Successful pregnancy and vaginal delivery after laparoscopic excision of a congenital uterine cervical diverticulum: A case report	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 46-8:1460-1464	Original Article
7	Kudo, K.| Nomura, M.| Sakamoto, Y.| et al.	産婦人科	Divergent metabolic responses dictate vulnerability to NAMPT inhibition in ovarian cancer	FEBS Letters 594-9:1379-1388	Original Article
8	Kobori, S.| Murotsuki, J.| Watanabe, S.| et al.	産婦人科	Feasibility of Non-invasive Pulse Pressure Measurement Using the Phased-Tracking Method	Ultrasound in Medicine and Biology 46-10:2711-2716	Original Article
9	Miki, Y.| Chubachi, N.| Imamura, F.| et al.	産婦人科	Impact of COVID-19 restrictions on the research environment and motivation of researchers in Japan	Progress in Disaster Science 8	Original Article
10	Iida, M.| Toyosawa, D.| Nakamura, M.| et al.	総合外科	Decreased ER dependency after acquired resistance to CDK4/6 inhibitors	Breast Cancer 27-5:963-972	Original Article
11	Kanai, A.| McNamara, K.M.| Iwabuchi, E.| et al.	総合外科	Significance of glucocorticoid signaling in triple-negative breast cancer patients: a newly revealed interaction with androgen signaling	Breast Cancer Research and Treatment 180-1:97-110	Original Article
12	Miyashita, M.| Ishida, T.	総合外科	Prospect of immunotherapy in neoadjuvant/adjuvant treatment for early breast cancer	Chinese Clinical Oncology 9-3	Original Article

小計12件

13	Fukuoka, K.| Tokodai, K.| Miyagi, S.| et al.	総合外科	Chronic Active Antibody-Mediated Rejection With Donor-Specific Anti-HLA-DP Antibodies Following Living Donor Kidney Transplantation: A Case Report	Transplantation Proceedings 52-6:1937-1939	Original Article
14	Yamamoto, J.| Endo, A.| Sugawara, H.| et al.	糖尿病代謝科	Native valve endocarditis due to staphylococcus warneri developing in a patient with type 1 diabetes	Internal Medicine 59-18:2269-2274	Original Article
15	Kaneko, K.| Sawada, S.| Otake, S.| et al.	糖尿病代謝科	Diabetic Muscle Infarction with High Fever	American Journal of Medicine 133-10:e594-e595	Original Article
16	Kaneko, K.| Sawada, S.| Satake, C.| et al.	糖尿病代謝科	Extraordinarily long-inactive solitary fibrous tumor transformed to produce big insulin-like growth factor-2, leading to hypoglycemia and rapid liposarcoma growth: A case report	BMC Endocrine Disorders 20-1	Original Article
17	Sawada, S.| Tsuchiya, S.| Kodama, S.| et al.	糖尿病代謝科	Vascular resistance of carotid and vertebral arteries is associated with retinal microcirculation measured by laser speckle flowgraphy in patients with type 2 diabetes mellitus	Diabetes Research and Clinical Practice 165	Original Article
18	Sakata, H.| Endo, H.| Fujimura, M.| et al.	脳神経外科	Symptomatic Cerebral Hyperperfusion After Cerebral Vasospasm Associated with Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage	World Neurosurgery 137:379-383	Original Article
19	Okada, Y.| Toyama, H.| Kamata, K.| et al.	麻酔科	A clinical study comparing ultrasound-measured pyloric antrum cross-sectional area to computed tomography-measured gastric content volume to detect high-risk stomach in supine patients undergoing emergency abdominal surgery	Journal of Clinical Monitoring and Computing 34-5:875-881	Original Article
20	Saito, K.| Toyama, H.| Okamoto, A.| et al.	麻酔科	Management of cesarean section in a patient with Fontan circulation: a case report of dramatic reduction of maternal oxygen consumption after delivery	JA Clinical Reports 6-1	Original Article
21	Saito, K.| Sunouchi, A.| Toyama, H.| et al.	麻酔科	Preoperative Assessment of Airway Patency During General Anesthesia in a Patient With Severe Tracheal Stenosis: Effectiveness of Noninvasive Positive Pressure Ventilation	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia 34-2:566-567	Letter
22	Sato, K.| Takahashi, J.| Hao, K.| et al.	循環器内科	Temporal trends in the prevalence and outcomes of geriatric patients with acute myocardial infarction in Japan-A report from the Miyagi AMI Registry Study-	Journal of Cardiology 75-5:465-472	Original Article
23	Tsuchiya, S.| Matsumoto, Y.| Doman, T.| et al.	循環器内科	Disappearance of angiodysplasia following transcatheter aortic valve implantation in a patient with heyde's syndrome: A case report and review of the literature	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 27-3:271-277	Original Article
24	Ohura-Kajitani, S.| Shiroto, T.| Godo, S.| et al.	循環器内科	Marked Impairment of Endothelium-Dependent Digital Vasodilatations in Patients with Microvascular Angina: Evidence for Systemic Small Artery Disease	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology :1400-1412	Original Article
25	Yamanaka, S.| Sakata, Y.| Nochioka, K.| et al.	循環器内科	Prognostic impacts of dynamic cardiac structural changes in heart failure patients with preserved left ventricular ejection fraction	European Journal of Heart Failure 22-12:2258-2268	Original Article
26	Sato, M.| Sakata, Y.| Sato, K.| et al.	循環器内科	Clinical characteristics and prognostic factors in elderly patients with chronic heart failure -A report from the CHART-2 study-	IJC Heart and Vasculature 27	Original Article

小計14件

27	Tsuchiya, S.| Matsumoto, Y.| Suzuki, H.| et al.	循環器内科	Transcatheter aortic valve implantation and cognitive function in elderly patients with severe aortic stenosis	EuroIntervention 15-18:E1580-E1587	Original Article
28	Sato, K.| Takahashi, J.| Amano, K.| et al.	循環器内科	A case of recurrent takotsubo-like cardiomyopathy associated with pheochromocytoma exhibiting different patterns of left ventricular wall motion abnormality and coronary vasospasm: A case report	European Heart Journal - Case Reports 4-4	Original Article
29	Shiroto, T.| Sakata, Y.| Nochioka, K.| et al.	循環器内科	Clinical benefits and risks of antithrombotic therapy in patients with atrial fibrillation with comorbidities - A report from the CHART-2 Study	International Journal of Cardiology 299:160-168	Original Article
30	Aoyanagi, H.| Nochioka, K.| Sakata, Y.| et al.	循環器内科	Temporal changes in left ventricular ejection fraction and their prognostic impacts in patients with Stage B heart failure	International Journal of Cardiology 306:123-132	Original Article
31	Takada, T.| Sakata, Y.| Nochioka, K.| et al.	循環器内科	Risk of de-novo heart failure and competing risk in asymptomatic patients with structural heart diseases	International Journal of Cardiology 307:87-93	Original Article
32	Sugawara, H.| Goto, H.| Akamatsu, D.| et al.	総合外科	Midaortic Syndrome due to Takayasu Arteritis in a Child with Acute Decompensated Cardiac Failure Managed by an Emergency Axillo-External Iliac Artery Bypass: A Follow-Up Case Report of Long-Term Outcomes	Annals of Vascular Surgery 64:408-408.e9	Original Article
33	Sugawara, H.| Goto, H.| Akamatsu, D.| et al.	総合外科	Infected Massive Thrombosed Persistent Sciatic Artery Aneurysm Treated by Small Incision Drainage: A Case Report	EJVES Vascular Forum 49:45-47	Original Article
34	Iwasaki, Y.| Shiga, T.| Konno, D.| et al.	麻酔科	Screening of COVID-19-associated hypercoagulopathy using rotational thromboelastometry	Journal of Clinical Anesthesia 67	Letter
35	Yokoyama, T.| Mori, S.| Arakawa, M.| et al.	麻酔科	Discrimination of thoracic spine from muscle based on their difference in ultrasound reflection and scattering characteristics	Journal of Medical Ultrasonics 47-1:44266	Original Article
36	Shiga, S.| Murata, Y.| Hashimoto, T.| et al.	放射線治療科	DNA-PKcs is activated under nutrient starvation and activates Akt, MST1, FoxO3a, and NDR1	Biochemical and Biophysical Research Communications 521-3:668-673	Original Article
37	Tang, L.| Ishikawa, Y.| Matsushita, H.| et al.	放射線治療科	Prognostic value of the AJCC 8th edition staging system for Japanese patients treated with surgery followed by radiotherapy for breast cancer	International Journal of Clinical Oncology 25-8:1499-1505	Original Article
38	Takagi, H.| Kadoya, N.| Kajikawa, T.| et al.	放射線治療科	Multi-atlas-based auto-segmentation for prostatic urethra using novel prediction of deformable image registration accuracy	Medical Physics 47-7:3023-3031	Original Article
39	Kajikawa, T.| Kadoya, N.| Tanaka, S.| et al.	放射線治療科	Dose distribution correction for the influence of magnetic field using a deep convolutional neural network for online MR-guided adaptive radiotherapy	Physica Medica 80:186-192	Original Article
40	Umezawa, R.| Kadoya, N.| Ota, H.| et al.	放射線治療科	Dose-Dependent Radiation-Induced Myocardial Damage in Esophageal Cancer Treated With Chemoradiotherapy: A Prospective Cardiac Magnetic Resonance Imaging Study	Advances in Radiation Oncology 5-6:1170-1178	Original Article

小計14件

41	Saqr, K.M.| Tupin, S.| Rashad, S.| et al.	脳神経外科	Physiologic blood flow is turbulent	Scientific Reports 10-1	Original Article
42	Ogawa, T.| Kojima, I.| Wakamori, S.| et al.	脳神経外科	Clinical utility of apparent diffusion coefficient and diffusion-weighted magnetic resonance imaging for resectability assessment of head and neck tumors with skull base invasion	Head and Neck 42-10:2896-2904	Original Article
43	Osada, U.| Kunikata, H.| Yasuda, M.| et al.	眼科	Association of retinal vessel density with retinal sensitivity in surgery for idiopathic epiretinal membrane	Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology 258-9:1911-1920	Original Article
44	Kiyota, N.| Shiga, Y.| Takahashi, N.| et al.	眼科	Progression in Open-Angle Glaucoma with Myopic Disc and Blood Flow in the Optic Nerve Head and Peripapillary Chorioretinal Atrophy Zone	Ophthalmology. Glaucoma 3-3:202-209	Original Article
45	Mishima, E.| Sato, E.| Ito, J.| et al.	腎・高血圧・内分泌科	Drugs repurposed as antiferroptosis agents suppress organ damage, including aki, by functioning as lipid peroxyl radical scavengers	Journal of the American Society of Nephrology 31-2:280-296	Original Article
46	Mishima, E.| Anzai, N.| Miyazaki, M.| et al.	腎・高血圧・内分泌科	Uric acid elevation by favipiravir, an antiviral drug	Tohoku Journal of Experimental Medicine 251-2:87-90	Review
47	Rashad, S.| Han, X.| Sato, K.| et al.	腎・高血圧・内分泌科	The stress specific impact of ALKBH1 on tRNA cleavage and tiRNA generation	RNA Biology 17-8:1092-1103	Original Article
48	Mishima, E.| Suzuki, T.| Ito, S.	腎・高血圧・内分泌科	Selection of Patients for Angioplasty for Treatment of Atherosclerotic Renovascular Disease: Predicting Responsive Patients	American Journal of Hypertension 33-5:391-401	Review
49	Sato, E.| Hosomi, K.| Sekimoto, A.| et al.	腎・高血圧・内分泌科	Effects of the oral adsorbent AST-120 on fecal p-cresol and indole levels and on the gut microbiota composition	Biochemical and Biophysical Research Communications 525-3:773-779	Original Article
50	Mishima, E.| Ota, H.| Suzuki, T.| et al.	腎・高血圧・内分泌科	Apparent diffusion coefficient in the resolution of renal ischemia after angioplasty on diffusion-weighted imaging: Renal artery stenosis caused by progressive thrombosis in residual chronic aortic dissection	Internal Medicine 59-9:1173-1177	Original Article
51	Iwasaki, T.| Mishima, E.| Suzuki, T.| et al.	腎・高血圧・内分泌科	Kidney enlargement effect of angioplasty for nonatherosclerotic renovascular disease: reversibility of ischemic kidney	Hypertension Research 43-11:1214-1221	Original Article
52	Yamaya, M.| Usami, O.| Nakayama, S.| et al.	呼吸器内科呼吸器内科学分野)内科	Malnutrition, airflow limitation and severe emphysema are risks for exacerbation of chronic obstructive pulmonary disease in Japanese subjects: A retrospective single-center study	International Journal of COPD 15:857-868	Original Article
53	Makiguchi, T.| Koarai, A.| Inoue, C.| et al.	呼吸器内科呼吸器内科学分野)内科	A case of localized tracheobronchial relapsing polychondritis with positive matrilin-1 staining	BMC Rheumatology 4-1	Original Article
54	Saito, R.| Miki, Y.| Abe, T.| et al.	呼吸器内科呼吸器内科学分野)内科	11β hydroxysteroid dehydrogenase 1: a new marker for predicting response to immune-checkpoint blockade therapy in non-small-cell lung carcinoma	British Journal of Cancer 123-1:61-71	Original Article

小計14件

55	Kamada, H.| Ota, H.| Terui, Y.| et al.	放射線診断科	Three cases of pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM): Challenge in antemortem diagnosis using lung perfusion blood volume images by dual-energy computed tomography	European Journal of Radiology Open 7	Original Article
56	Kamada, H.| Takanami, K.| Toyama, Y.| et al.	放射線診断科	18F-FDG PET/CT Imaging of Vasculitis Complicated with Relapsing Polychondritis	Clinical Nuclear Medicine 45-7:e327-e328	Original Article
57	Kamada, H.| Ota, H.| Aoki, T.| et al.	放射線診断科	4D-flow MRI assessment of blood flow before and after endovascular intervention in a patient with pulmonary hypertension due to isolated pulmonary artery involvement in large vessel vasculitis	Radiology Case Reports 15-3:190-194	Original Article
58	Kamada, H.| Ota, H.| Seiji, K.| et al.	放射線診断科	Embolization of a paraumbilical shunt by the transparaumbilical venous approach and one-sheath inverse method: A case report	Radiology Case Reports 15-11:2125-2128	Original Article
59	Ueki, S.| Fujishima, F.| Kumagai, T.| et al.	総合外科	GR, Sgk1, and NDRG1 in esophageal squamous cell carcinoma: Their correlation with therapeutic outcome of neoadjuvant chemotherapy	BMC Cancer 20-1	Original Article
60	Rashad, S.| Niizuma, K.| Tominaga, T.	脳神経外科	TRNA cleavage: A new insight	Neural Regeneration Research 15-1:47-52	Original Article
61	Rashad, S.| Han, X.| Saqr, K.| et al.	脳神経外科	Epigenetic response of endothelial cells to different wall shear stress magnitudes: A report of new mechano-miRNAs	Journal of Cellular Physiology 235-11:7827-7839	Original Article
62	Sato, K.| Rashad, S.| Niizuma, K.| et al.	脳神経外科	Stress Induced tRNA Halves (tiRNAs) as Biomarkers for Stroke and Stroke Therapy; Pre-clinical Study	Neuroscience 434:44-54	Original Article
63	Rashad, S.| Saigusa, D.| Yamazaki, T.| et al.	脳神経外科	Metabolic basis of neuronal vulnerability to ischemia; an in vivo untargeted metabolomics approach	Scientific Reports 10-1	Original Article
64	Ujiie, N.| Taniyama, Y.| Okamoto, H.| et al.	総合外科	Esophagectomy for esophageal cancer in a patient with protein C deficiency: A case report	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 26-5:286-289	Original Article
65	Abe, T.| Umeki, I.| Kanno, S.-I.| et al.	小児科	LZTR1 facilitates polyubiquitination and degradation of RAS-GTPases	Cell Death and Differentiation 27-3:1023-1035	Original Article
66	Masaki, N.| Adachi, O.| Katahira, S.| et al.	心臓血管外科	Progression of vascular remodeling in pulmonary vein obstruction	Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 160-3:777-790.e5	Original Article
67	Wada, Y.| Arai-Ichinoi, N.| Kikuchi, A.| et al.	小児科	Hypoketotic hypoglycemia in citrin deficiency: A case report	BMC Pediatrics 20-1	Original Article
68	Katata, Y.| Inoue, S.-I.| Asao, A.| et al.	小児科	Costello syndrome model mice with a Hras G12S/+ mutation are susceptible to develop house dust mite-induced atopic dermatitis	Cell Death and Disease 11-8	Original Article

小計14件

69	Mikami-Saito, Y.| Maekawa, M.| Wada, Y.| et al.	小児科	Essential oils can cause false-positive results of medium-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency	Molecular Genetics and Metabolism Reports 25	Original Article
70	Kondo, M.| Fukuda, K.| Wakayama, Y.| et al.	循環器内科	Different characteristics of postoperative atrial tachyarrhythmias between congenital and non-congenital heart disease	Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology 58-1	Original Article
71	Wakayama, Y.| Nakano, M.| Fukuda, K.| et al.	循環器内科	Cardiac resynchronization therapy for improving non-uniform thickening of left ventricular wall: Assessment by quantitative gated myocardial perfusion SPECT	Tohoku Journal of Experimental Medicine 251-2:69-79	Original Article
72	Ikeda, R.| Kikuchi, T.| Oshima, H.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Diagnosis of the Patulous Eustachian Tube	Ear, Nose and Throat Journal	Review
73	Ichikawa, S.| Fukuhara, N.| Saito, K.| et al.	血液免疫科	Successful treatment of methotrexate-associated classical Hodgkin lymphoma with brentuximab vedotin-combined chemotherapy: a case series	International Journal of Hematology 111-5:667-672	Original Article
74	Ichikawa, S.| Saito, K.| Fukuhara, N.| et al.	血液免疫科	Successful treatment of life-threatening bleeding caused by acquired factor X deficiency associated with respiratory infection	Internal Medicine 59-10:1303-1308	Original Article
75	Ichikawa, S.| Fukuhara, N.| Saito, K.| et al.	血液免疫科	Successful Treatment of Primary Refractory Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma With Cord Blood Transplantation	Clinical Lymphoma, Myeloma and Leukemia 20-11:e926-e929	Original Article
76	Ichikawa, S.| Furukawa, E.| Saito, K.| et al.	血液免疫科	Sustained remission of giant pancreatic plasmacytoma with daratumumab	Annals of Hematology	Letter
77	Ichikawa, S.| Saito, K.| Fukuhara, N.| et al.	血液免疫科	Primary adrenal extranodal NK/T-cell lymphoma: A case report and literature review	Leukemia Research Reports 14	Original Article
78	Ichikawa, S.| Fukuhara, N.| Saito, K.| et al.	血液免疫科	Epstein-Barr virus-positive diffuse large B-cell lymphoma after sustained remission of T-cell prolymphocytic leukemia with alemtuzumab	Leukemia and Lymphoma 61-6:1504-1507	Letter
79	Nishizawa, T.| Saito, R.| Chonan, M.| et al.	脳神経外科	A multinodular and vacuolating neuronal tumor in the right temporal lobe with positive methionine uptake: A case report	Interdisciplinary Neurosurgery: Advanced Techniques and Case Management 22	Original Article
80	Nakanishi, W.| Miyagi, S.| Tokodai, K.| et al.	総合外科	Effect of enhanced recovery after surgery protocol on recovery after open hepatectomy: A randomized clinical trial	Annals of Surgical Treatment and Research 99-6:320-328	Original Article
81	Abe, Y.| Koike, T.| Saito, M.| et al.	消化器内科	Influence of the pH Value of Refluxate and Proximal Extent on Heartburn Perception in Patients with Proton Pump Inhibitor-Refractory Non-Erosive Reflux Disease	Digestion 101-4:375-381	Original Article
82	Hata, T.| Mizuma, M.| Motoi, F.| et al.	総合外科	Early postoperative drainage fluid culture positivity from contaminated bile juice is predictive of pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy	Surgery Today 50-3:248-257	Original Article

小計14件

83	Takahashi, K.| Asano, N.| Imatani, A.| et al.	消化器内科	Sox2 induces tumorigenesis and angiogenesis of early-stage esophageal squamous cell carcinoma through secretion of Suprabasin	Carcinogenesis 41-11:1543-1552	Original Article
84	Saito, M.| Asanuma, K.| Hatta, W.| et al.	消化器内科	Duodenal obstruction caused by the long-term recurrence of appendiceal goblet cell carcinoid	Internal Medicine 59-23:3001-3007	Original Article
85	Saito, M.| Koike, T.| Nakagawa, K.| et al.	消化器内科	Strong Intra-Esophageal Reflux May Contribute to the Development of Barrett's Adenocarcinoma and Affect the Localization	Digestion 101-6:752-760	Original Article
86	Nakamura, T.| Takai, Y.| Kaneko, K.| et al.	消化器内科	T-cell lymphoma presenting neutrophilic inflammation in the cerebrospinal fluid	Internal Medicine 59-4:573-576	Original Article
87	Watanabe, K.| Sato, T.| Honkura, Y.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Characteristics of the Voice Handicap Index for Patients With Unilateral Vocal Fold Paralysis Who Underwent Arytenoid Adduction	Journal of Voice 34-4:649-649.e6	Original Article
88	Maruyama, S.| Taniyama, Y.| Sakurai, T.| et al.	総合外科	Per-oral endoscopic myotomy (POEM) for a sigmoid type of achalasia: short-term outcomes and changes in the esophageal angle	Surgical Endoscopy 34-9:4124-4130	Original Article
89	Morikawa, T.| Ishida, M.| Takadate, T.| et al.	総合外科	The superior approach with the stomach roll-up technique improves intraoperative outcomes and facilitates learning laparoscopic distal pancreatectomy: a comparative study between the superior and inferior approach	Surgery Today 50-2:153-162	Original Article
90	Ueno, T.| Tanaka, N.| Imoto, H.| et al.	総合外科	Mechanism of Bile Acid Reabsorption in the Biliopancreatic Limb After Duodenal-Jejunal Bypass in Rats	Obesity Surgery 30-7:2528-2537	Original Article
91	Yoshimachi, S.| Ohtsuka, H.| Aoki, T.| et al.	総合外科	Mixed adenoneuroendocrine carcinoma of the ampulla of Vater: a case report and literature review	Clinical Journal of Gastroenterology 13-1:37-45	Original Article
92	Hata, T.| Mizuma, M.| Motoi, F.| et al.	総合外科	GNAS mutation detection in circulating cell-free DNA is a specific predictor for intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas, especially for intestinal subtype	Scientific Reports 10-1	Original Article
93	Maeda, S.| Ariake, K.| Iseki, M.| et al.	総合外科	Prognostic indicators in pancreatic cancer patients undergoing total pancreatectomy	Surgery Today 50-5:490-498	Original Article
94	Fujio, A.| Miyagi, S.| Tokodai, K.| et al.	総合外科	Effects of a new perioperative enhanced recovery after surgery protocol in hepatectomy for hepatocellular carcinoma	Surgery Today 50-6:615-622	Original Article
95	Sasajima, H.| Miyagi, S.| Yamada, S.| et al.	総合外科	Cytoprotective Effects of Mesenchymal Stem Cells During Liver Transplantation From Donors After Cardiac Death in Swine	Transplantation Proceedings 52-6:1891-1900	Original Article
96	Tokodai, K.| Miyagi, S.| Nakanishi, W.| et al.	総合外科	Effects of re-augmenting maintenance immunosuppression on post-transplant donor-specific HLA antibodies in liver transplantation	Transplant Immunology 63	Original Article

小計14件

97	Hata, T.| Mizuma, M.| Motoi, F.| et al.	総合外科	Serum Anti-p53 Antibody Can Serve as a Predictive Marker for Histological Grade of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas	Pancreas 49-6:768-773	Original Article
98	Tokodai, K.| Miyagi, S.| Nakanishi, W.| et al.	総合外科	Characteristics and predictive value for graft fibrosis of the complement-binding capacity of donor-specific human leukocyte antigen antibodies after pediatric liver transplantation	Pediatric Transplantation 24-1	Original Article
99	Yamada, S.| Miyagi, S.| Hara, Y.| et al.	総合外科	Effects of Short-Term Normothermic and Subnormothermic Perfusion After Cold Preservation on Liver Transplantation From Donors After Cardiac Death	Transplantation Proceedings 52-6:1639-1642	Original Article
100	Ando, R.| Taniyama, Y.| Fukutomi, T.| et al.	総合外科	A Case of Delayed Penetration of the Esophagus after Mesh Repair for Esophageal Hiatal Hernia Treated with Double Tract Reconstruction	Japanese Journal of Gastroenterological Surgery 53-11:855-861	Original Article
101	Arita, R.| Takayama, S.| Okamoto, H.| et al.	総合外科	Exploratory study of clinical effectiveness and safety of TJ-116 bukuryoingohangekobokuto for anxiety and postoperative water brash in esophageal cancer patients (TJ116E)	Medicine 99-22	Original Article
102	Miyagi, S.| Shono, Y.| Tokodai, K.| et al.	総合外科	Risks of Living Donor Liver Transplantation Using Small-For-Size Grafts	Transplantation Proceedings 52-6:1825-1828	Original Article
103	Hata, T.| Mizuma, M.| Motoi, F.| et al.	総合外科	An integrated analysis of host- and tumor-derived markers for predicting high-grade dysplasia and associated invasive carcinoma of intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas	Surgery Today 50-9:1039-1048	Original Article
104	Hata, T.| Mizuma, M.| Motoi, F.| et al.	総合外科	Serum procalcitonin as an early diagnostic marker of severe postoperative complications after elective pancreaticoduodenectomy	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences 27-10:767-775	Original Article
105	Watanabe, K.| Kohyama, A.| Suzuki, H.| et al.	総合外科	Slug Method: A Technique for Stoma Prolapse Reduction Using High Osmolality of the 50% Glucose Solution	Diseases of the Colon and Rectum	Others
106	Okamoto, H.| Kikuchi, H.| Naganuma, H.| et al.	総合外科	Multiple carcinosarcomas of the esophagus with adeno-carcinomatous components: A case report	World Journal of Gastroenterology 26-17:2111-2118	Original Article
107	Suzuki, Y.| Takadate, T.| Mizuma, M.| et al.	総合外科	Stromal expression of hemopexin is associated with lymph-node metastasis in pancreatic ductal adenocarcinoma	PLoS ONE 15-7	Original Article
108	Aoki, S.| Mizuma, M.| Hayashi, H.| et al.	総合外科	Prognostic impact of intraoperative peritoneal cytology after neoadjuvant therapy for potentially resectable pancreatic cancer	Pancreatology 20-8:1711-1717	Original Article
109	Oriuchi, M.| Uno, K.| Fujishima, F.| et al.	消化器内科	A rare case of gastric squamous-cell carcinoma metastasized from the cervix	Clinical Journal of Gastroenterology 13-6:1062-1065	Original Article
110	Baba, H.| Kanamori, H.| Oshima, K.| et al.	総合感染症科	Prolonged presence of SARS-CoV-2 in a COVID-19 case with rheumatoid arthritis taking iguratimod treated with ciclesonide	Journal of Infection and Chemotherapy 26-10:1100-1103	Original Article

小計14件

111	Sato, T.| Kawasaki, Y.| Maekawa, M.| et al.	泌尿器科	Accurate quantification of urinary metabolites for predictive models manifest clinicopathology of renal cell carcinoma	Cancer Science 111-7:2570-2578	Original Article
112	Sato, K.| Mochida, S.| Tomimoto, D.| et al.	眼科	A pyruvate dehydrogenase kinase inhibitor prevents retinal cell death and improves energy metabolism in rat retinas after ischemia/reperfusion injury	Experimental Eye Research 193	Original Article
113	Uchida, K.| Himori, N.| Hashimoto, K.| et al.	眼科	The association between oxidative stress and corneal hysteresis in patients with glaucoma	Scientific Reports 10-1	Original Article
114	Abe, T.| Aburakawa, D.| Niizuma, K.| et al.	脳神経外科	Intravenously Transplanted Human Multilineage-Differentiating Stress-Enduring Cells Afford Brain Repair in a Mouse Lacunar Stroke Model	Stroke :601-611	Original Article
115	Park, Y.J.| Niizuma, K.| Mokin, M.| et al.	脳神経外科	Cell-Based Therapy for Stroke: Musing with Muse Cells	Stroke :2854-2862	Review
116	Sato, T.| Wakao, S.| Kushida, Y.| et al.	脳神経外科	A Novel Type of Stem Cells Double-Positive for SSEA-3 and CD45 in Human Peripheral Blood	Cell Transplantation 29	Original Article
117	Akiyama, M.| Sakatsume, K.| Sasaki, K.| et al.	心臓血管外科	The incidence, risk factors, and outcomes of gastrointestinal bleeding in patients with a left ventricular assist device: a Japanese single-center cohort study	Journal of Artificial Organs 23-1:27-35	Original Article
118	Sakatsume, K.| Kawatsu, S.| Adachi, O.| et al.	心臓血管外科	Intraoperative identification of major blood supply to adamkiewicz artery after multistep surgeries in thoraco-abdominal aortic aneurysm repair	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery 30-4:656-658	Original Article
119	Kagawa, Y.| Umaru, B.A.| Shil, S.K.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Mitochondrial dysfunction in GnRH neurons impaired GnRH production	Biochemical and Biophysical Research Communications 530-1:329-335	Original Article
120	Sato, T.| Yabushita, T.| Sakamoto, S.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	In-home auditory training using audiovisual stimuli on a tablet computer: Feasibility and preliminary results	Auris Nasus Larynx 47-3:348-352	Original Article
121	Ishida, E.| Ogawa, T.| Rokugo, M.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Management of adenoid cystic carcinoma of the head and neck: A single-institute study with over 25-year follow-up	Head and Face Medicine 16-1	Original Article
122	Suzuki, J.| Koizumi, S.| Endo, T.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Magnetic foreign bodies in the hypopharynx: Usefulness of video laryngoscopy	Pediatrics International 62-6:748-749	Others
123	Numano, Y.| Ogawa, T.| Ishikawa, T.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Parotid secretory carcinoma with high-grade transformation	Auris Nasus Larynx 47-6:1043-1048	Original Article
124	Shishido, T.| Ikeda, R.| Suzuki, J.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Middle ear adenoma with facial palsy: A case report and a review of the literature: Middle ear adenoma with facial palsy	Auris Nasus Larynx	Original Article

小計14件

125	Kakuta, N.| Nakano, R.| Nakano, A.| et al.	総合感染症科	Molecular characteristics of extended-spectrum β-lactamase-producing Klebsiella pneumoniae in Japan: Predominance of CTX-M-15 and emergence of hypervirulent clones	International Journal of Infectious Diseases 98:281-286	Original Article
126	Chiba, T.| Nakano, M.| Hasebe, Y.| et al.	循環器内科	Prognosis and risk stratification in cardiac sarcoidosis patients with preserved left ventricular ejection fraction	Journal of Cardiology 75-1:34-41	Original Article
127	Naganuma, M.| Akiyama, M.| Takaya, H.| et al.	心臓血管外科	Maximization of the sealing effect of fibrin glue in aortic surgery	General Thoracic and Cardiovascular Surgery 68-1:18-23	Original Article
128	Ishida, M.| Jin, K.| Kakisaka, Y.| et al.	てんかん科	Awake state-specific suppression of primary somatosensory evoked response correlated with duration of temporal lobe epilepsy	Scientific Reports 10-1	Original Article
129	Tanno, A.| Fujino, N.| Yamada, M.| et al.	呼吸器内科	Decreased expression of a phagocytic receptor Siglec-1 on alveolar macrophages in chronic obstructive pulmonary disease	Respiratory Research 21-1	Original Article
130	Kuwata, R.| Shirota, Y.| Ishii, T.	血液免疫科	Severe acute atelectasis caused by complete obstruction of left main stem bronchus associated with granulomatosis with polyangiitis	Journal of Rheumatology 47-8:1293-1294	Others
131	Obara, N.| Inoue, J.| Endo, H.| et al.	消化器内科	Spontaneous reactivation of hepatitis B virus with S gene mutations in an elderly patient with diabetic nephropathy	Clinical Journal of Gastroenterology 13-5:914-919	Original Article
132	Tsuruoka, M.| Inoue, J.| Kakazu, E.| et al.	消化器内科	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder in the liver resembling hepatocellular carcinoma treated with transarterial chemoembolization	Internal Medicine 59-18:2255-2260	Original Article
133	Iwata, T.| Inoue, J.| Kakazu, E.| et al.	消化器内科	Rapid enlargement of a hepatic hilar cyst leading to bile duct obstruction after acute exacerbation of chronic hepatitis B	Clinical Journal of Gastroenterology 13-6:1247-1251	Original Article
134	Kikuta, K.| Masamune, A.	総合外科	Reply to "Study of Early Chronic Pancreatitis Needs to be Improved"	Journal of Gastroenterology 55-1:129-130	Letter
135	Motoi, F.| Unno, M.	総合外科	Neoadjuvant treatment for resectable pancreatic adenocarcinoma: What is the best protocol?	Annals of Gastroenterological Surgery 4-2:100-108	Review
136	Abudurexiti, Y.| Gu, Z.| Chakma, K.| et al.	総合外科	Methylation-mediated silencing of the LIM homeobox 6 (LHX6) gene promotes cell proliferation in human pancreatic cancer	Biochemical and Biophysical Research Communications 526-3:626-632	Original Article
137	Sato, J.| Karasawa, H.| Suzuki, T.| et al.	総合外科	The Function and Prognostic Significance of Cripto-1 in Colorectal Cancer	Cancer Investigation 38-4:214-227	Original Article
138	Chakma, K.| Gu, Z.| Abudurexiti, Y.| et al.	総合外科	Epigenetic inactivation of IRX4 is responsible for acceleration of cell growth in human pancreatic cancer	Cancer Science 111-12:4594-4604	Original Article

小計14件

139	Endo, H.| Koike, T.| Masamune, A.	消化器内科	Novel device for preventing diffusion of aerosol droplets from subjects undergoing esophagogastroduodenoscopy during COVID-19 pandemic	Digestive Endoscopy 32-6:e140-e141	Others
140	Suzuki, N.| Akiyama, T.| Warita, H.| et al.	脳神経内科	Omics Approach to Axonal Dysfunction of Motor Neurons in Amyotrophic Lateral Sclerosis (ALS)	Frontiers in Neuroscience 14	Review
141	Watanabe, Y.| Nakagawa, T.| Akiyama, T.| et al.	脳神経内科	An Amyotrophic Lateral Sclerosis-Associated Mutant of C21ORF2 Is Stabilized by NEK1-Mediated Hyperphosphorylation and the Inability to Bind FBXO3	iScience 23-9	Original Article
142	Takahashi, T.| Yamasaki, K.	皮膚科	Psoriasis and antimicrobial peptides	International Journal of Molecular Sciences 21-18:44213	Review
143	Koike, S.| Yamasaki, K.	皮膚科	Melanogenesis connection with innate immunity and toll-like receptors	International Journal of Molecular Sciences 21-24:44214	Review
144	Segawa, Y.| Yamasaki, K.| Otake, E.|et al.	皮膚科	Short anagen syndrome: A unique short hair syndrome without any characteristic hair morphological abnormality	Journal of Dermatology 47-10:e349-e351	Letter
145	Shimada-Omori, R.| Yamasaki, K.| Koike, S.| et al.	皮膚科	TLR3 augments glucocorticoid-synthetic enzymes expression in epidermal keratinocytes; Implications of glucocorticoid metabolism in rosacea epidermis	Journal of Dermatological Science 100-1:58-66	Original Article
146	Akaishi, T.| Yamasaki, K.| Mori, Y.| et al.	皮膚科	Psoriatic arthritis with skin lesions localized to the scalp: A case report	Journal of General and Family Medicine 21-6:264-267	Original Article
147	Suzuki, H.| Yamasaki, K.| Takayama, S.| et al.	皮膚科	Scalp lymphangiosarcoma: A distinct skin manifestation of edematous erythema on face and scalp without subcutaneous hemorrhage or preceding condition of lymphedema	Journal of Dermatology 47-9:e331-e333	Letter
148	Irimada, M.| Ozawa, M.| Yamasaki, K.| et al.	皮膚科	Case of morphea with symmetrical distribution of sclerotic lesions on bilateral forearms accompanied by extensive nail fold capillary abnormalities in multiple fingers	Journal of Dermatology 47-2:e61-e62	Letter
149	Nishiguchi, K.M.| Kunikata, H.| Nakazawa, T.	眼科	Signs of Oguchi Disease and Pigmentary Degeneration from Early in Life	Ophthalmology 127-6	Others
150	Yoshida, M.| Kunikata, H.| Nakazawa, T.	眼科	Intraocular Concentrations of Cytokines and Chemokines in a Unique Case of Nivolumab-Induced Uveitis	Ocular Immunology and Inflammation 28-6:850-853	Original Article
151	Tawarayama, H.| Suzuki, N.| Inoue-Yanagimachi, M.| et al.	眼科	Glutathione Trisulfide Prevents Lipopolysaccharide-induced Inflammatory Gene Expression in Retinal Pigment Epithelial Cells	Ocular Immunology and Inflammation	Original Article
152	Kunikata, H.| Aizawa, N.| Sato, R.| et al.	眼科	Successful surgical outcomes after 23-, 25- and 27-gauge vitrectomy without scleral encircling for giant retinal tear	Japanese Journal of Ophthalmology 64-5:506-515	Original Article

小計14件

153	Nishiguchi, K.M.| Fujita, K.| Ikeda, Y.| et al.	眼科	A founder Alu insertion in RP1 gene in Japanese patients with retinitis pigmentosa	Japanese Journal of Ophthalmology 64-4:346-350	Original Article
154	Kunikata, H.| Sato, R.| Nishiguchi, K.M.| et al.	眼科	Systemic oxidative stress level in patients with central serous chorioretinopathy	Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology 258-7:1575-1577	Letter
155	Nakayama, M.| Ishii, T.	情報健康医学講座(医学情報学分野)	Incorporating tacit knowledge of experts in the assessment of shelters under disaster	Studies in Health Technology and Informatics 270:1321-1322	Others
156	Akizuki, M.| Sugimura, K.| Aoki, T.| et al.	内部障害リハビリテーション科	Non-invasive screening using ventilatory gas analysis to distinguish between chronic thromboembolic pulmonary hypertension and pulmonary arterial hypertension	Respirology 25-4:427-434	Original Article
157	Yoshida, N.| Ota, H.| Higuchi, S.| et al.	内部障害リハビリテーション科	Gliding performance is affected by cranial movement of abdominal organs	Scientific Reports 10-1	Original Article
158	Nezu, M.| Suzuki, N.	腎・高血圧・内分泌科	Roles of NRF2 in protecting the kidney from oxidative damage	International Journal of Molecular Sciences 21-8	Review
159	Yaoita, N.| Satoh, K.| Satoh, T.| et al.	循環器内科	Identification of the novel variants in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension	Journal of the American Heart Association 9-21	Original Article
160	Shirai, T.| Komatsu, H.| Sato, H.| et al.	血液免疫科	Migratory aortitis associated with granulocyte-colony-stimulating factor	Internal Medicine 59-12:1559-1563	Original Article
161	Kurosawa, D.| Murakami, E.| Aizawa, T.| et al.	整形外科	Criteria for identifying technically difficult cases when performing sacroiliac intraarticular injections based on the grade of sacroiliac arthrogram	Pain Medicine (United States) 21-10:2105-2110	Original Article
162	Takahashi, A.| Umehara, J.| Kamimura, M.| et al.	整形外科	Obesity is a risk factor for osteoarthritis progression and spontaneous osteoporosis is a risk for the development of spontaneous osteonecrosis in patients with medial meniscus posterior root tear	Journal of Orthopaedic Science	Original Article
163	Kakuta, Y.| Nakano, T.| Naito, T.| et al.	総合外科	Repertoire analysis of memory T-cell receptors in Japanese patients with inflammatory bowel disease	JGH Open 4-4:624-631	Original Article
164	Ichikawa, S.| Fukuhara, N.| Watanabe, S.| et al.	血液免疫科	Long-term survival after cord blood transplantation for acute myeloid leukemia complicated with disseminated fusariosis	Journal of Infection and Chemotherapy 26-2:292-295	Original Article
165	Mutoh, T.| Shirai, T.| Fujii, H.| et al.	血液免疫科	Insufficient use of corticosteroids without immunosuppressants results in higher relapse rates in takayasu arteritis	Journal of Rheumatology 47-2:255-263	Original Article
166	Shirai, T.| Murakami, K.| Fujii, H.| et al.	血液免疫科	Comment on: Aortarctia: a rare manifestation of relapsing polychondrits	Rheumatology (United Kingdom) 59-7:1784-1785	Letter

小計14件

167	Kondo, H.| Watanabe, R.| Okazaki, S.| et al.	血液免疫科	Coexistence of rheumatoid arthritis and systemic lupus erythematosus is still rare in the biologic era: Report of seven cases and literature review	Modern Rheumatology 30-6:1082-1083	Letter
168	Okazaki, S.| Watanabe, R.| Harigae, H.| et al.	血液免疫科	Better retention of abatacept is associated with high rheumatoid factor: A five-year follow-up study of patients with rheumatoid arthritis	Tohoku Journal of Experimental Medicine 250-3:153-159	Original Article
169	Akaishi, T.| Yasaka, K.| Abe, M.| et al.	血液免疫科	Protein-losing gastroenteropathy with severe hypoalbuminemia associated with Sjögren's syndrome: A case report and review of the literature	Journal of General and Family Medicine 21-1:24-28	Original Article
170	Ichikawa, S.| Sasaoka, A.| Fukuhara, N.| et al.	血液免疫科	Primary ovarian diffuse large B-cell lymphoma preceded by autoimmune hemolytic anemia	Journal of Hematopathology 13-1:63-67	Original Article
171	Okazaki, S.| Watanabe, R.| Kondo, H.| et al.	血液免疫科	High relapse rate in patients with polymyalgia rheumatica despite the combination of immunosuppressants and prednisolone: A single center experience of 89 patients	Tohoku Journal of Experimental Medicine 251-2:125-133	Original Article
172	Ichikawa, S.| Fukuhara, N.| Shirai, T.| et al.	血液免疫科	Extranasal extranodal NK/T-cell lymphoma associated with systemic lupus erythematosus	International Journal of Hematology 112-4:592-596	Original Article
173	Takahashi, T.| Ichikawa, S.| Ichinohasama, R.| et al.	血液免疫科	BCR-ABL1 positive lymphoblastic lymphoma-should it be treated like a B-lymphoblastic leukemia with t(9;22);BCR-ABL1?	Leukemia and Lymphoma 61-5:1265-1267	Letter
174	Imai, Y.| Tachi, M.	形成外科	Congenital Lateral Palatal Synechia Associated With Cleft Palate: A Case Report With Long-Term Follow-Up and Review of the Literature	Cleft Palate-Craniofacial Journal 57-6:778-781	Original Article
175	Akiyama, M.| Sasaki, K.| Kawatsu, S.| et al.	心臓血管外科	Temporary ventricular assist device implantation by sternotomy-avoiding technique for bridge-to-decision therapy: a comparison with conventional implantation	General Thoracic and Cardiovascular Surgery 68-3:240-247	Original Article
176	Sasaki, K.| Kumagai, K.| Maeda, K.| et al.	心臓血管外科	Preventive effect of low-dose landiolol on postoperative atrial fibrillation study (PELTA study)	General Thoracic and Cardiovascular Surgery 68-11:1240-1251	Original Article
177	Kojima, I.| Takanami, K.| Ogawa, T.| et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	High detection sensitivity and reliable morphological correlation of PET with a silicon photomultiplier for primary tongue squamous cell carcinoma	Annals of Nuclear Medicine 34-9:643-652	Original Article
178	Yanagisawa, S.| Takashi, O.	呼吸器内科呼吸器内科学分野)内科	An unanticipated use of the nasogastric feeding tube	Respirology Case Reports 8-5	Others
179	Suzuki, N.| Soga, T.| Izumi, R.| et al.	脳神経内科	Hybrid Assistive Limb® for sporadic inclusion body myositis: A case series	Journal of Clinical Neuroscience 81:92-94	Original Article
180	Fukushima, K.| Saito, T.| Kohyama, A.| et al.	総合外科	Increased Quinolone-Resistant Mutations of gyrA and parC Genes after Pouchitis Treatment with Ciprofloxacin	Digestive Surgery 37-4:321-330	Original Article

小計14件

181	Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| Ohuchi, K.| et al.	皮膚科	Treatment of advanced melanoma: Past, present and future	Life 10-9:44211	Review
182	Amagai, R.| Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| et al.	皮膚科	Severe pyrexia from nivolumab-resistant advanced melanoma after successful combined therapy with encorafenib plus binimetinib	Journal of Dermatology 47-6:654-657	Original Article
183	Ohuchi, K.| Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| et al.	皮膚科	Successful treatment of mogamulizumab-resistant mycosis fungoides with mogamulizumab plus etoposide combined therapy: Investigation of the immunomodulatory effects of etoposide on the tumor microenvironment	Dermatologic Therapy 33-4	Original Article
184	Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| Tono, H.| et al.	皮膚科	Successful treatment of unresectable recurrent cutaneous squamous cell carcinoma of the scalp with meningeal invasion with nivolumab monotherapy	Dermatologic Therapy 33-4	Original Article
185	Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| Ohuchi, K.| et al.	皮膚科	Successful Treatment of a Patient with anti-PD1 Antibody-Resistant Advanced Mucosal Melanoma with Nivolumab, Ipilimumab plus Denosumab Combination Therapy	Case Reports in Oncology 13-1:271-275	Original Article
186	Muto, Y.| Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| et al.	皮膚科	Metastatic PRAME-Expressing Juvenile Spitzoid Melanoma on the Buttock	Case Reports in Oncology :1141-1144	Original Article
187	Muto, Y.| Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| et al.	皮膚科	Erythema nodosum developed in a patient with advanced cutaneous melanoma treated with dabrafenib plus trametinib combination therapy	Dermatologic Therapy 33-6	Letter
188	Fujimura, T.| Kambayashi, Y.| Ohuchi, K.| et al.	皮膚科	Successful treatment of CCR4+ mycosis fungoides palmaris et plantaris with mogamulizumab monotherapy	Dermatologic Therapy 33-4	Letter
189	Yoshida, S.| Fujimura, T.| Ohuchi, K.| et al.	皮膚科	IL-23 Expression in Stewart-Treves Syndrome: Two Case Reports and Immunohistochemical Investigation	Case Reports in Oncology 13-1:462-467	Original Article
190	Hiratsuka, Y.| Aoyama, M.| Kaneta, T.| et al.	緩和医療科	Impressions of interfaith chaplain's activities among patients in a palliative care unit: A semi-structured interview-based qualitative study	Tohoku Journal of Experimental Medicine 251-2:91-96	Original Article
191	Hiraide, S.| Komine, K.| Sato, Y.| et al.	腫瘍内科	Efficacy of modified FOLFOX6 chemotherapy for patients with unresectable pseudomyxoma peritonei	International Journal of Clinical Oncology 25-4:774-781	Original Article
192	Imai, H.| Saijo, K.| Komine, K.| et al.	腫瘍内科	Antibiotics Improve the Treatment Efficacy of Oxaliplatin-Based but Not Irinotecan-Based Therapy in Advanced Colorectal Cancer Patients	Journal of Oncology 2020	Original Article
193	Kozu, K.| Satoh, K.| Aoki, T.| et al.	循環器内科	Cyclophilin A as a biomarker for the therapeutic effect of balloon angioplasty in chronic thromboembolic pulmonary hypertension	Journal of Cardiology 75-4:415-423	Original Article
194	Kano, M.| Muratsubaki, T.| Yagihashi, M.| et al.	放射線診断科	Insula activity to visceral stimulation and endocrine stress responses as associated with alexithymia in patients with irritable bowel syndrome	Psychosomatic Medicine 82-1:29-38	Original Article

小計14件

195	Ochi, J.| Mori, N.| Mori, Y.| et al.	放射線診断科	Validating an empirical mathematical model for dynamic contrast-enhanced MR imaging of hand and wrist synovitis in rheumatoid arthritis: Correlation of model parameters with clinical disease activity	Magnetic Resonance in Medical Sciences 19-3:176-183	Original Article
196	Takanami, K.| Saito, M.| Matsumoto, Y.| et al.	放射線診断科	Clinical implication of myocardial FDG uptake pattern in oncologic PET: retrospective comparison study with stress myocardial perfusion imaging as the reference standard	Annals of Nuclear Medicine 34-4:233-243	Original Article
197	Murata, T.| Nomura, S.| Yamamori, E.| et al.	放射線診断科	Thrombosis of a basilar perforator aneurysm associated with pontine infarction in a patient with systemic lupus erythematosus	Radiology Case Reports 15-6:757-760	Original Article
198	Kano, M.| Grinsvall, C.| Ran, Q.| et al.	放射線診断科	Resting state functional connectivity of the pain matrix and default mode network in irritable bowel syndrome: a graph theoretical analysis	Scientific Reports 10-1	Original Article
199	Yanagaki, S.| Ueda, T.| Masuda, A.| et al.	放射線診断科	Detection of the intimal tear in aortic dissection and ulcer-like projection in intramural hematoma: usefulness of full-phase retrospective ECG-gated CT angiography	Japanese Journal of Radiology 38-11:1036-1045	Original Article
200	Hieda, O.| Nakamura, Y.| Wakimasu, K.| et al.	肢体不自由リハビリテーション科	Patient-reported vision-related quality of life after laser in situ keratomileusis, surface ablation, and phakic intraocular lens: The 5.5-year follow-up study	Medicine (United States) 99-7	Original Article
201	Aoki, T.| Sugimura, K.| Terui, Y.| et al.	循環器内科	Beneficial effects of riociguat on hemodynamic responses to exercise in CTEPH patients after balloon pulmonary angioplasty - A randomized controlled study	IJC Heart and Vasculature 29	Original Article
202	Sugimura, K.	循環器内科	Effect of riociguat from a different angle	International Journal of Cardiology 304:156-157	Others
203	Okubo, R.| Kazama, T.| Nio, M.	小児外科	Spindle cell lipoma of the jejunal mesentery	Journal of Pediatric Surgery Case Reports 59	Original Article
204	Takahashi, Y.| Takeuchi, H.| Sakai, M.| et al.	精神科	A single nucleotide polymorphism (-250 A/C) of the GFAP gene is associated with brain structures and cerebral blood flow	Psychiatry and Clinical Neurosciences 74-1:49-55	Original Article
205	Oe, Y.| Sato, E.| Sato, H.| et al.	腎・高血圧・内分泌科	Uremic toxins alter coagulation and fibrinolysis-related genes expression in human endothelial cells	Thrombosis Research 186:75-77	Letter
206	Miyazaki, M.	腎・高血圧・内分泌科	Anemia management and QOL and frailty in CKD	Recent Advances of Sarcopenia and Frailty in CKD :239-245	Others
207	Itagaki, A.| Sakurada, K.| Matsuhama, M.| et al.	内部障害リハビリテーション科	Impact of frailty and mild cognitive impairment on delirium after cardiac surgery in older patients	Journal of Cardiology 76-2:147-153	Original Article
208	Cao, P.| Ito, O.| Ito, D.| et al.	内部障害リハビリテーション科	Combination of Exercise Training and SOD Mimetic Tempol Enhances Upregulation of Nitric Oxide Synthase in the Kidney of Spontaneously Hypertensive Rats	International Journal of Hypertension 2020	Original Article

小計14件

209	YANAGI, H.| KONISHI, H.| YAMADA, S.| et al.	内部障害リハビリテーション科	Effects of exercise training on physical activity in heart failure patients treated with cardiac resynchronization therapy devices or implantable cardioverter defibrillators	Journal of Rehabilitation Medicine 52-10	Original Article
210	Utsumi, Y.| Nemoto, H.| Nakaya, N.| et al.	内部障害リハビリテーション科	The Impact of Health Consciousness on the Association Between Walking Durations and Mental Health Conditions After a Disaster: a Cross-Sectional Study	Sports Medicine - Open 6-1	Original Article
211	Kohzuki, M.| Sato, T.| Cho, C.| et al.	内部障害リハビリテーション科	Benefit and risk of exercise training in chronic kidney disease patients	Recent Advances of Sarcopenia and Frailty in CKD :57-69	Others
212	Yoshida, N.| Tsuchida, Y.| Murakami, H.| et al.	内部障害リハビリテーション科	Time-Dependent Magnetic Resonance Imaging Changes in Occult Femoral Neck Fracture During Conservative Treatment: A Case Report	JBJS case connector 10-1	Original Article
213	Itagaki, A.| Kohzuki, M.	内部障害リハビリテーション科	Authors' reply	Journal of Cardiology 76-4:428-429	Letter
214	Hasegawa, T.	脳神経内科	An unusual cause of difficulty in walking downstairs: Focal task-specific dystonia in the lower limb	Clinical Case Reports 8-8	Original Article
215	Hasegawa, T.| Ishiyama, S.| Nakamura, T.	脳神経内科	Possible modulation of the amplitude and frequency of resting parkinsonian tremor by touching the trapezius muscle	Clinical Case Reports 8-8	Original Article
216	Kimura, S.| Sato, T.| Orikasa, K.| et al.	泌尿器科	Night-time urinary frequency is increased after the great east japan earthquake along with seasonal variation: A five-year longitudinal study in Kesennuma City	Tohoku Journal of Experimental Medicine 252-4:329-337	Original Article
217	Takasaki, S.| Adachi, H.| Kawasaki, Y.| et al.	泌尿器科	Importance of therapeutic drug monitoring to detect drug interaction between pazopanib and warfarin: A case report	Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 23-1:200-205	Original Article
218	Sato, M.| Shimada, S.| Watanabe, M.| et al.	泌尿器科	Expression of ganglioside disialosyl globopentaosyl ceramide in prostate biopsy specimens as a predictive marker for recurrence after radical prostatectomy	Tohoku Journal of Experimental Medicine 252-1:44204	Original Article
219	Inoue, A.	緩和医療科	Progress in individualized treatment for EGFR-mutated advanced non-small cell lung cancer	Proceedings of the Japan Academy Series B: Physical and Biological Sciences 96-7:266-272	Review
220	Kanamori, H.	総合感染症科	An overview of research on air and environmental contamination with SARS-CoV-2 in healthcare settings	Infection Control and Hospital Epidemiology	Letter
221	Baba, H.| Kanamori, H.	総合感染症科	Are reservoirs andtransmission routes the same or different between O157 and Non-O157 shigatoxin-producing Escherichia coli?	Clinical Infectious Diseases 71-5:1352-1353	Letter
222	Satoh, K.| Kikuchi, N.| Shimokawa, H.	循環器内科	PIM1 (Provirus integration site for moloney murine leukemia virus) as a novel biomarker and therapeutic target in pulmonary arterial hypertension: Another evidence for cancer theory	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology :500-502	Others

小計14件

223	Yamamoto, N.| Shinagawa, K.| Hatta, T.| et al.	整形外科	Peripheral-Track and Central-Track Hill-Sachs Lesions: A New Concept of Assessing an On-Track Lesion	American Journal of Sports Medicine 48-1:33-38	Original Article
224	Kuberakani, K.| Aizawa, K.| Yamamoto, N.| et al.	整形外科	Comparison of best-fit circle versus contralateral comparison methods to quantify glenoid bone defect	Journal of Shoulder and Elbow Surgery 29-3:502-507	Original Article
225	Kurokawa, D.| Muraki, T.| Ishikawa, H.| et al.	整形外科	The Influence of Pitch Velocity on Medial Elbow Pain and Medial Epicondyle Abnormality Among Youth Baseball Players	American Journal of Sports Medicine 48-7:1601-1607	Original Article
226	Shinagawa, K.| Sugawara, Y.| Hatta, T.| et al.	整形外科	Immobilization in External Rotation Reduces the Risk of Recurrence After Primary Anterior Shoulder Dislocation: A Meta-analysis	Orthopaedic Journal of Sports Medicine 8-6	Review
227	Etoh, T.| Yamamoto, N.| Shinagawa, K.| et al.	整形外科	Mechanism and patterns of bone loss in patients with anterior shoulder dislocation	Journal of Shoulder and Elbow Surgery 29-10:1974-1980	Original Article
228	Nagaya, L.H.| Yamamoto, N.| Shinagawa, K.| et al.	整形外科	Does glenoid remodeling occur with an erosion-type bone loss after arthroscopic Bankart repair?	JSES International 4-4:814-817	Original Article
229	Hatta, T.| Shinagawa, K.| Kawakami, J.| et al.	整形外科	Downsizing effect of a modular radial head prosthesis on the lateral collateral ligament of the elbow: A cadaveric study	Clinical Biomechanics 80	Original Article
230	Matsuzawa, G.| Sano, H.| Yamamoto, N.| et al.	整形外科	Muscle activities during shoulder internal rotation differ in arm position: a preliminary quantitative analysis using positron emission tomography	Skeletal Radiology 49-11:1839-1847	Original Article
231	Sano, H.| Murakami, K.| Tamada, T.| et al.	呼吸器内科	Mycobacterium abscessus infection limited to the main bronchus	Internal Medicine 59-19:2431-2432	Others
232	Miura, S.| Kanno, A.| Fukase, K.| et al.	消化器内科	Preoperative biliary drainage of the hepatic lobe to be resected does not affect liver hypertrophy after percutaneous transhepatic portal vein embolization	Surgical Endoscopy 34-2:667-674	Original Article
233	Miura, S.| Kume, K.| Kikuta, K.| et al.	消化器内科	Focal parenchymal atrophy and fat replacement are clues for early diagnosis of pancreatic cancer with abnormalities of the main pancreatic duct	Tohoku Journal of Experimental Medicine 252-1:63-71	Original Article
234	Matsumoto, R.| Miura, S.| Kanno, A.| et al.	消化器内科	IgG4-related sclerosing cholangitis mimicking cholangiocarcinoma diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration	Internal Medicine 59-7:945-950	Original Article
235	Takikawa, T.| Kikuta, K.| Kume, K.| et al.	消化器内科	New-onset or exacerbation of diabetes mellitus is a clue to the early diagnosis of pancreatic cancer	Tohoku Journal of Experimental Medicine 252-4:353-364	Original Article
236	Miura, S.| Hamada, S.| Kume, K.| et al.	消化器内科	A case of double common bile duct visually detected only by cholangioscope	Endoscopy	Others

小計14件

237	Imai, J.	糖尿病代謝科	β-Cell senescence in the pathogenesis of type 2 diabetes	Journal of Diabetes Investigation 11-2:284-286	Others
238	Komatsu, H.| Ono, T.| Maita, Y.| et al.	精神科	Association between autistic symptoms and self-stigma in patients with schizophrenia spectrum disorders	Neuropsychiatric Disease and Treatment 16:2553-2561	Original Article
239	Nabeshima, T.| Hamada, S.| Taguchi, K.| et al.	総合外科	Keap1 deletion accelerates mutant K-ras/p53-driven cholangiocarcinoma	American Journal of Physiology - Gastrointestinal and Liver Physiology 318-3:G419-G427	Original Article
240	Hatta, W.| Gotoda, T.| Koike, T.| et al.	総合外科	A recent argument for the use of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancers	Gut and Liver 14-4:412-422	Review
241	Hatta, W.| Gotoda, T.| Masamune, A.	総合外科	Non-curative resection: Should clinicians consider providing additional surgery for all patients?	Clinical Endoscopy 53-2:109-110	Review
242	Sano, T.| Miura, S.| Masamune, A.	総合外科	Endoscopic retrieval device for proximally migrated pancreatic and biliary stent: Wire-guided spiral basket catheter	Digestive Endoscopy 32-7:e147-e149	Original Article
243	Mori, Y.| Izumiyama, T.| Baba, K.| et al.	放射線診断科	Evaluation of risk factors of vertebral fracture in Japanese female patients with glucocorticoid-induced osteoporosis	Journal of Orthopaedic Surgery and Research 15-1	Original Article
244	Akaishi, T.| Ishizawa, K.| Fukutomi, T.| et al.	放射線診断科	Penetration of a swallowed fish bone into pulmonary vein: diagnosis and management	Heliyon 6-11	Original Article
245	Nishimiya, K.| Matsumoto, Y.| Shimokawa, H.	循環器内科	Recent Advances in Vascular Imaging	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology :E313-E321	Review
246	Kanazawa, M.| Matsumoto, Y.| Takahashi, K.| et al.	循環器内科	Treadmill exercise prevents reduction of bone mineral density after myocardial infarction in apolipoprotein E-deficient mice	European Journal of Preventive Cardiology 27-1:28-35	Original Article
247	Suzuki, H.| Fukui, R.| Tabata, N.| et al.	皮膚科	Rare manifestation of hypereosinophilic syndrome: Diffuse-type hair loss with massive perifollicular eosinophils	Journal of Dermatology 47-1:61-63	Original Article
248	Higuchi, K.| Chiba, M.| Sai, Y.| et al.	歯科顎口腔外科	Relationship between temporomandibular joint pain and magnetic resonance imaging findings in patients with temporomandibular joint disorders	International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 49-2:230-236	Original Article
249	Li, H.| Masieri, F.F.| Schneider, M.| et al.	歯科顎口腔外科	Autologous, Non-Invasively Available Mesenchymal Stem Cells from the Outer Root Sheath of Hair Follicle Are Obtainable by Migration from Plucked Hair Follicles and Expandable in Scalable Amounts	Cells 9-9	Original Article
250	Yamauchi, K.| Suzuki, H.| Yamaguchi, Y.| et al.	歯科顎口腔外科	Pyramidal and posterior osseous release for maxillary superior/posterior mobilization using an ultrasonic bone-cutting device after Le Fort I osteotomy	Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery 48-2:170-175	Original Article

小計14件

251	Martinez-de la Cruz, G.| Yamauchi, K.| Saito, S.| et al.	歯科顎口腔外科	The relationship between neurosensory disturbance of the inferior alveolar nerve and the lingual split pattern after sagittal split osteotomy	Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology and Oral Radiology 130-4:373-378	Original Article
252	Takeda, Y.| Nogami, S.| Iwama, R.| et al.	歯科顎口腔外科	A case report: Spindle cell lipoma in the floor of mouth	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 32-4:323-329	Original Article
253	Yamaguchi, Y.| Yamauchi, K.| Suzuki, H.| et al.	歯科顎口腔外科	The Accuracy of Maxillary Position Using a Computer-Aided Design/Computer-Aided Manufacturing Intermediate Splint Derived Via Surgical Simulation in Bimaxillary Orthognathic Surgery	The Journal of craniofacial surgery 31-4:976-979	Original Article
254	Kitaura, H.| Marahleh, A.| Ohori, F.| et al.	矯正歯科	Osteocyte-related cytokines regulate osteoclast formation and bone resorption	International Journal of Molecular Sciences 21-14	Review
255	Ohori, F.| Kitaura, H.| Ogawa, S.| et al.	矯正歯科	IL-33 inhibits TNF-α-induced osteoclastogenesis and bone resorption	International Journal of Molecular Sciences 21-3	Original Article
256	Noguchi, T.| Kitaura, H.| Ogawa, S.| et al.	矯正歯科	TNF-α stimulates the expression of RANK during orthodontic tooth movement	Archives of Oral Biology 117	Original Article
257	Qi, J.| Kitaura, H.| Shen, W.-R.| et al.	矯正歯科	Effect of a DPP-4 Inhibitor on Orthodontic Tooth Movement and Associated Root Resorption	BioMed Research International 2020	Original Article
258	Nara, Y.| Kitaura, H.| Ogawa, S.| et al.	矯正歯科	Anti-C-FMS antibody prevents osteoclast formation and bone resorption in co-culture of osteoblasts and osteoclast precursors in vitro and in ovariectomized mice	International Journal of Molecular Sciences 21-17:44212	Original Article
259	Marahleh, A.| Kitaura, H.| Ogawa, S.| et al.	矯正歯科	Obtaining primary osteocytes through murine calvarial fractionation of GFP-expressing osteocytes	Journal of Visualized Experiments 2020-160:44202	Original Article
260	Saito, H.| Oikawa, M.| Kouketsu, A.| et al.	歯科顎口腔外科	Immunohistochemical assessment of Eph/ephrin expression in oral squamous cell carcinoma and precursor lesions	Odontology 108-2:166-173	Original Article
261	Saito, K.| Chiba, Y.| Yamada, A.| et al.	小児歯科	Identification and function analysis of ameloblast differentiation-related molecules using mouse incisors	Pediatric Dental Journal 30-3:129-138	Review
262	Sato, N.| Handa, K.| Venkataiah, V.S.| et al.	保存修復科	Comparison of the vertical bone defect healing abilities of carbonate apatite, β-tricalcium phosphate, hydroxyapatite and bovine-derived heterogeneous bone	Dental Materials Journal 39-2:309-318	Original Article
263	Sato, S.| Takahashi, M.| Takahashi, T.	歯科顎口腔外科	A Case of Multiple Phleboliths on the Medial Side of the Right Mandible	Case Reports in Dentistry 2020	Original Article
264	Tashiro, K.| Oikawa, M.| Miki, Y.| et al.	歯科顎口腔外科	Immunohistochemical assessment of growth factor signaling molecules: MAPK, Akt, and STAT3 pathways in oral epithelial precursor lesions and squamous cell carcinoma	Odontology 108-1:91-101	Original Article

小計14件

265	Kojima, I.| Nishioka, T.| Sakamoto, M.| et al.	歯科顎口腔外科	Florid Cemento-Osseous Dysplasia-Associated Simple Bone Cyst Showing Marked Irregular Border and High Apparent Diffusion Coefficient Value	Case Reports in Dentistry 2020	Original Article
266	Sato, S.| Takahashi, M.| Takahashi, T.	歯科顎口腔外科	A Case of Cytomegalovirus-Induced Oral Ulcer in an Older Adult Patient with Nephrotic Syndrome due to Membranous Nephropathy	Case Reports in Dentistry 2020	Original Article
267	Atsumi, K.| Yajima, T.| Tachiya, D.| et al.	口腔診断科	Sensory neurons in the human jugular ganglion	Tissue and Cell 64	Original Article
268	Denda, Y.| Niikura, N.| Satoh-Kuriwada, S.| et al.	口腔診断科	Taste alterations in patients with breast cancer following chemotherapy: a cohort study	Breast Cancer 27-5:954-962	Original Article
269	Sato, Y.| Iikubo, M.| Nishioka, T.| et al.	口腔診断科	The effectiveness of an actuator-driven pulsed water jet for the removal of artificial dental calculus: A preliminary study	BMC Oral Health 20-1	Original Article
270	Kikuchi, R.| Sukhbaatar, A.| Sakamoto, M.| et al.	口腔診断科	A model system for studying superselective radiotherapy of lymph node metastasis in mice with swollen lymph nodes	Clinical and Translational Radiation Oncology 20:53-57	Original Article
271	Katsuki, M.| Narita, N.| Matsumori, Y.| et al.	脳神経外科	Preliminary development of a deep learning-based automated primary headache diagnosis model using Japanese natural language processing of medical questionnaire	Surgical Neurology International 11	Original Article
272	Katsuki, M.| Suzuki, Y.| Sato, Y.| et al.	脳神経外科	In Reply to the Letter to the Editor Regarding "Temporal Muscle as an Indicator of Sarcopenia Is Independently Associated with Hunt and Kosnik Grade on Admission and the Modified Rankin Scale at 6 Months of Patients with Subarachnoid Hemorrhage Treated by Endovascular Coiling"	World Neurosurgery 140	Others
273	Nishimura, A.| Suwabe, R.| Ogihara, Y.| et al.	脳神経外科	Totally transparent hydrogel-based subdural electrode with patterned salt bridge	Biomedical Microdevices 22-3	Original Article
274	Shingai, Y.| Kimura, N.| Doijiri, R.| et al.	脳神経外科	Effect of Preoperative Administration of Proprotein Convertase Subtilisin/Kexin Type 9 Inhibitor on Carotid Artery Stenting	World Neurosurgery 135:e36-e42	Original Article
275	Haryu, S.| Shida, N.| Tominaga, T.	脳神経外科	Unusual case of persistent primitive hypoglossal artery with anterior choroidal artery aneurysm in Chiari type i malformation	Indian Journal of Radiology and Imaging 30-3:383-385	Original Article
276	Yamada, M.	呼吸器内科	The roles of micrornas and extracellular vesicles in the pathogeneses of idiopathic pulmonary fibrosis and acute respiratory distress syndrome	Tohoku Journal of Experimental Medicine 251-4:313-326	Review
277	Hihara, H.| Kanetaka, H.| Kanno, A.| et al.	てんかん科	Somatosensory evoked magnetic fields of periodontal mechanoreceptors	Heliyon 6-1	Original Article
278	Yabuki, H.| Matsuda, Y.| Watanabe, T.| et al.	呼吸器外科	Plasma mycophenolic acid concentration and the clinical outcome after lung transplantation	Clinical Transplantation 34-12	Original Article

小計14件

279	Shigeta, K.| Kikuchi, M.| Tanaka, M.| et al.	呼吸器外科	Development of a precise quantitative method for monitoring sirolimus in whole blood using LC/ESI-MS/MS	Biomedical Chromatography 34-8	Original Article
280	Takayama, S.| Tomita, N.| Arita, R.| et al.	漢方内科	Kampo Medicine for Various Aging-Related Symptoms: A Review of Geriatric Syndrome	Frontiers in Nutrition 7	Review
281	Hashimoto, K.| Yoshida, M.| Nakamura, Y.| et al.	整形外科	Relationship between number of menopausal symptoms and work performance in Japanese working women	Menopause (New York, N.Y.) 28-2:175-181	Original Article
282	Akaishi, T.| Abe, M.| Miki, T.| et al.	総合地域医療教育支援部	Ratio of diastolic to systolic blood pressure represents renal resistive index	Journal of Human Hypertension 34-7:512-519	Original Article
283	Akaishi, T.| Miura, K.| Iduma, M.| et al.	総合地域医療教育支援部	Retropharyngeal calcific tendinitis: A rare, benign, but painful condition with stiff neck	Journal of General and Family Medicine 21-6:274-276	Original Article
284	Takayama, S.| Akaishi, T.| Nozaki, H.| et al.	漢方内科	Characteristics and course of patients treated with Kampo Medicine in the Department of General Medicine	Journal of General and Family Medicine 21-3:48-55	Original Article
285	Koyama, S.| Kato, H.| Harata, T.| et al.	顎顔面口腔再建治療部	A workflow for fabricating a hollow obturator by using 3D digital technologies	Journal of Prosthetic Dentistry 123-4:648-652	Original Article
286	Koyama, S.| Sato, N.| Mito, T.| et al.	顎顔面口腔再建治療部	Hermeticity of a hollow obturator model using CAD and rapid prototyping technologies	Journal of Prosthetic Dentistry 124-1:123-127	Original Article
287	Yoshida, M.| Hariya, T.| Yokokura, S.| et al.	眼科	Concomitant herpes simplex keratitis and autoimmune-associated ulcerative keratitis in rheumatoid arthritis patients	American Journal of Ophthalmology Case Reports 18	Original Article
288	Baba, K.| Hatta, T.| Sasajima, K.| et al.	整形外科	Migration of inferior vena cava filter during the surgery of tibial shaft fracture: A case report	Journal of Orthopaedic Science 25-5:911-914	Original Article
289	Takano, Y.| Mutoh, T.| Tatewaki, Y.| et al.	加齢・老年病科	Hypoperfusion in the posterior cingulate cortex is associated with lower bone mass density in elderly women with osteopenia and Alzheimer's disease	Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology 47-3:365-371	Original Article
290	Miyazawa, K.| Fukunaga, H.| Tatewaki, Y.| et al.	加齢・老年病科	Alzheimer's disease and specialized pro-resolving lipid mediators: Do MAR1, RVD1, and NPD1 show promise for prevention and treatment?	International Journal of Molecular Sciences 21-16:44210	Review
291	Takano, Y.| Tatewaki, Y.| Mutoh, T.| et al.	加齢・老年病科	Voxel-Based Morphometry Reveals a Correlation Between Bone Mineral Density Loss and Reduced Cortical Gray Matter Volume in Alzheimer's Disease	Frontiers in Aging Neuroscience 12	Original Article
292	Watanabe, H.| Yamazaki, Y.| Fujishima, F.| et al.	病理部	Epstein-Barr virus-associated enteritis with multiple ulcers: The first autopsy case	Pathology International 70-11:899-905	Original Article

小計14件

293	Maehara, N.| Niizuma, H.| Nakamura, T.| et al.	小児腫瘍科	Chemoradiotherapy of spinal extradural Ewing sarcoma after the Fontan procedure	Pediatrics International 62-10:1197-1199	Original Article
294	Abe, M.| Omodaka, K.| Kikawa, T.| et al.	眼科	Radial peripapillary capillary density in superior segmental optic hypoplasia measured with OCT angiography	BMC Ophthalmology 20-1	Original Article
295	Nakazawa, T.| Fukuchi, T.	眼科	What is glaucomatous optic neuropathy?	Japanese Journal of Ophthalmology 64-3:243-249	Original Article
296	Katayama, S.| Sato, K.| Nakazawa, T.	眼科	In vivo and in vitro knockout system labelled using fluorescent protein via microhomology-mediated end joining	Life Science Alliance 3-1	Original Article
297	Himori, N.| Ogawa, H.| Ichinose, M.| et al.	眼科	CPAP therapy reduces oxidative stress in patients with glaucoma and OSAS and improves the visual field	Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology 258-4:939-941	Letter
298	Nishiguchi, K.M.| Oguchi, Y.| Nakazawa, T.	眼科	Progression from Classical Oguchi Disease to Retinitis Pigmentosa after 50 Years	Ophthalmology 127-1	Others
299	Koseki, Y.| Ikuta, Y.| Sato, K.| et al.	眼科	Effect of the chemical structure on the drug release from brinzolamide based nano eye-drops	Molecular Crystals and Liquid Crystals 706-1:122-128	Original Article
300	Fujita, K.| Nishiguchi, K.M.| Sato, K.| et al.	眼科	In vivo imaging of the light response in mouse retinal ganglion cells based on a neuronal activity-dependent promoter	Biochemical and Biophysical Research Communications 521-2:471-477	Original Article
301	Okuyama, J.| Sasaki, H.| Seto, S.| et al.	肢体不自由リハビリテーション科	WBF-2019 core research cluster of disaster science planning session as disaster preparedness: Participation in a training program for conductor-type disaster healthcare personnel	Journal of Disaster Research 15-7:900-912	Original Article
302	Yamazaki, E.| Kikuchi, K.| Segawa, Y.| et al.	皮膚科	Fixed erythrodysaesthesia plaque on the neck near indwelling subcutaneous port and catheter due to vinorelbine and cisplatin treatment	Journal of Dermatology 47-3:e73-e74	Letter
303	Ogura, J.| Yamaguchi, H.| Mano, N.	薬剤部	Stimulatory effect on the transport mediated by organic anion transporting polypeptide 2B1	Asian Journal of Pharmaceutical Sciences 15-2:181-191	Review
304	Maekawa, M.| Iwahori, A.| Mano, N.	薬剤部	Biomarker analysis of Niemann-Pick disease type C using chromatography and mass spectrometry	Journal of Pharmaceutical and Biomedical Analysis 191	Review
305	Ohuchi, K.| Fujimura, T.| Lyu, C.| et al.	皮膚科	Serum CCL22 levels decreased in parallel with disease activity in CCR4-positive mycosis fungoides treated with mogamulizumab	Dermatologic Therapy 33-6	Original Article
306	Aiba, S.| Fujimura, T.	皮膚科	Significance of immunosuppressive cells as a target for immunotherapies in melanoma and non-melanoma skin cancers	Biomolecules 10-8:44211	Review

小計14件

307	Sasaki, R.| Fujimura, T.| Lyu, C.| et al.	皮膚科	Severe eczematoid and lichenoid eruption with full-thickness epidermal necrosis developing from metastatic urothelial cancer treated with enfortumab vedotin	Journal of Dermatology 47-12:1436-1438	Original Article
308	Tamabuchi, E.| Fujimura, T.| Lyu, C.| et al.	皮膚科	Multiple angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia on the right arm showing unusual presentation	Dermatologic Therapy 33-6	Letter
309	Meguro, K.| Takahashi, Y.| Nakatsuka, M.| et al.	未来科学技術共同研究センター	Word Processing Is Faster than Picture Processing in Alzheimer's Disease	Behavioural Neurology 2020	Original Article
310	Baba, K.| Shiwaku, Y.| Hamai, R.| et al.	整形外科	Chemical Stability-Sensitive Osteoconductive Performance of Octacalcium Phosphate Bone Substitute in an Ovariectomized Rat Tibia Defect	ACS Applied Bio Materials 3-3:1444-1458	Original Article
311	Shimokawa, H.| Godo, S.	循環器内科	Nitric oxide and endothelium-dependent hyperpolarization mediated by hydrogen peroxide in health and disease	Basic and Clinical Pharmacology and Toxicology 127-2:92-101	Review
312	Komiyama, T.| Ohi, T.| Tomata, Y.| et al.	口腔機能回復科	Dental status is associated with incident functional disability in community-dwelling older Japanese: A prospective cohort study using propensity score matching	Journal of Epidemiology 30-2:84-90	Original Article
313	Komiyama, T.| Ohi, T.| Miyoshi, Y.| et al.	口腔機能回復科	Verification of the criteria for reduced occlusal force to diagnose oral hypofunction in older Japanese people: A prospective cohort study on incident functional disability	Journal of Oral Rehabilitation 47-8:989-997	Original Article
314	Komiyama, T.| Ohi, T.| Hiratsuka, T.| et al.	口腔機能回復科	Cognitive impairment and depressive symptoms lead to biases in self-evaluated masticatory performance among community-dwelling older Japanese adults: the Tsurugaya Project	Journal of Dentistry 99	Original Article
315	Sano, H.| Hirano, T.| Koarai, A.| et al.	呼吸器内科	How would you treat this patient suffering from COPD with pre-existing cardiac arrhythmias and hypoxaemia?	ERS Monograph 2020-9781849841191:300-317	Original Article
316	Nagamoto, H.| Yaguchi, H.| Takahashi, H.	整形外科	History of ankle sprain affect the star excursion balance test among youth football players	Foot and Ankle Surgery	Original Article
317	Nakayama M, Takehana K, Kohro T, et al.	メディカルITセンター	Standard Export Data Format for Extension Storage of Standardized Structured Medical Information Exchange	Circulation Reports Volume 2 (2020), Issue 10 : 587-616	Original Article
318	Shin Takayama, Tetsuya Akaishi, Masakazu Hanagama, et al.	総合地域医療教育支援部	Herbal medicine-induced multiple pulmonary pseudotumors	Journal of family medicine and primary care 9(7):3773-3775	Review
319	Shigekazu Sugino, Daisuke Konno, Yosuke Kawai, et al.	手術部	Long non-coding RNA MIR4300HG polymorphisms are associated with postoperative nausea and vomiting: a genome-wide association study	Hum Genomics 2020; 14: 31	Original Article
320	Hiroko Miura, Shin Kawana, Shigekazu Sugino, Chika Kikuchi, et al.	麻酔科	Successful management of an infant with hypertensive heart failure associated with Wilms' tumor: a case report	JA Clin Rep 2020; 6: 12	Original Article

小計14件

321	Norika Katagiri, Ryutaro Sakai, Takashi Izutsu, et al.	麻酔科	Postoperative Pain Management in Patients With Ulcerative Colitis	Anesth Prog 2020;67: 158	Original Article
322	Oka N, Kasajima A, Konukiewitz B, et al.	病理部	Classification and prognostic stratification of bronchopulmonary neuroendocrine neoplasms.	Neuroendocrinology. 110(5):393-403. 2020	Original Article
323	Ishida H, Kasajima A, Fujishima F, et al.	総合外科	p16 in highly malignant esophageal carcinomas: the correlation with clinicopathological factors and human papillomavirus infection.	Virchows Arch. 2020 Jun 16. doi: 10.1007/s00428-020-02865-x.	Original Article
324	Arita R, Takayama S, Okamoto H, et al.	総合地域医療教育支援部	Exploratory study of clinical effectiveness and safety of TJ-116 bukuryoingohangekobokuto for anxiety and postoperative water brash in esophageal cancer patients (TJ116E)	Medicine (Baltimore) 99:22 (e20317)	Original Article
325	Arita R, Ono R, Saito N, et al.	総合地域医療教育支援部	Kakkonto, shosaikoto, Platycodon grandiflorum root, and gypsum (a Japanese original combination drug known as saikatsugekito): Pharmacological review of its activity against viral infections and respiratory inflammatory conditions and a discussion of its applications to COVID-19	Traditional & Kampo Medicine. 7(3), p115-127	Review
326	Takayama S, Tomita N, Arita R, et al.	総合地域医療教育支援部	Kampo Medicine for Various Aging-Related Symptoms: A Review of Geriatric Syndrome.	Front Nutrition. 7:86	Review
327	Takayama S, Akaishi T, Hanagama M, et al.	総合地域医療教育支援部	Herbal medicine-induced multiple pulmonary pseudotumors.	J Family Med Prim Care. 9(7):3773-3775.	Original Article
328	Takayama S, Namiki T, Ito T, et al.	総合地域医療教育支援部	A multi-center, randomized controlled trial by the Integrative Management in Japan for Epidemic Disease (IMJEDI study-RCT) on the use of Kampo medicine, kakkonto with shosaikotokakikyosekko, in mild-to-moderate COVID-19 patients for symptomatic relief and prevention of severe stage: a structured summary of a study protocol for a randomized controlled trial.	Trials. 21(1):827.	Original Article
329	Takayama S, Akaishi T, Nozaki H, et al.	総合地域医療教育支援部	Characteristics and course of patients treated with Kampo Medicine in the Department of General Medicine	J Gen Fam Med. 21(3):48-55	Original Article
330	Suzuki S, Takayama S, Kikuchi A, et al.	総合地域医療教育支援部	Orengedokuto and shosaikoto for intractable intracranial carmustine implant-induced fever in a patient with brain tumor: A case report	Explore (NY). 17(3):236-238.	Original Article
331	Numata T, Miura K, Akaishi T, Arita R, et al.	漢方内科	Successful Treatment of Myalgic Encephalomyelitis/Chronic Fatigue Syndrome with Chronic Febricula Using the Traditional Japanese Medicine Shosaikoto	Intern Med. 59(2):297-300.	Original Article
332	Fujimura T, Tanita K, Sato Y, et al.	皮膚科	Immune checkpoint inhibitor-induced vitiligo in advanced melanoma could be related to increased levels of CCL19.	Br J Dermatol. 2020 May;182(5):1297-1300.	Original Article
333	Fujimura T, Kambayashi Y, Ohuchi K, et al.	皮膚科	Successful Treatment of a Patient with anti-PD1 Antibody-Resistant Advanced Mucosal Melanoma with Nivolumab, Ipilimumab plus Denosumab Combination Therapy.	Case Rep Oncol. 2020 Mar 24;13(1):271-275.	Original Article

小計13件

334	Kambayashi Y, Fujimura T, Kuroda H, et al.	皮膚科	Severe Demyelinating Neuropathy in an Advanced Melanoma Patient Treated with Nivolumab plus Ipilimumab Combined Therapy.	Case Rep Oncol. 2020 Apr 30;13(1):474-477.	Original Article
335	Sato Y, Fujimura T, Hidaka T, et al.	皮膚科	Possible Roles of Proinflammatory Signaling in Keratinocytes Through Aryl Hydrocarbon Receptor Ligands for the Development of Squamous Cell Carcinoma.	Front Immunol. 2020 Oct 16;11:534323.	Original Article
336	Fujimura T, Fujisawa Y, Otsuka A, et al.	皮膚科	Editorial: Recent Developments in Therapies and Diagnostic Tools for Melanoma and Non-melanoma Skin Cancer.	Front Med (Lausanne). 2020 Nov 12;7:613152.	Others
337	Fujimura T, Sato Y, Tanita K, et al.	皮膚科	Case series of cutaneous T-cell lymphomas treated with bexarotene-based therapy.	J Dermatol. 2020 Jun;47(6):636-640.	Original Article
338	Amagai R, Fujimura T, Kambayashi Y, et al.	皮膚科	Severe pyrexia from nivolumab-resistant advanced melanoma after successful combined therapy with encorafenib plus binimetinib.	J Dermatol. 2020 Jun;47(6):654-657.	Original Article
339	Ohuchi K, Fujimura T, Kambayashi Y, et al.	皮膚科	Successful treatment of mogamulizumab-resistant mycosis fungoides with mogamulizumab plus etoposide combined therapy: Investigation of the immunomodulatory effects of etoposide on the tumor microenvironment.	Dermatol Ther. 2020 Jul;33(4):e13487.	Original Article
340	Fujimura T, Kambayashi Y, Tono H, et al.	皮膚科	Successful treatment of unresectable recurrent cutaneous squamous cell carcinoma of the scalp with meningeal invasion with nivolumab monotherapy.	Dermatol Ther. 2020 Jul;33(4):e13672.	Original Article
341	Fujimura T, Kambayashi Y, Ohuchi K, et al.	皮膚科	Successful treatment of CCR4+ mycosis fungoides palmaris et plantaris with mogamulizumab monotherapy.	Dermatol Ther. 2020 Jul;33(4):e13731.	Original Article
342	Fujimura T, Aiba S.	皮膚科	Significance of Immunosuppressive Cells as a Target for Immunotherapies in Melanoma and Non-Melanoma Skin Cancers.	Biomolecules. 2020 Jul 22;10(8):1087.	Original Article
343	Ohuchi K, Fujimura T, Lyu C, et al.	皮膚科	Serum CCL22 levels decreased in parallel with disease activity in CCR4-positive mycosis fungoides treated with mogamulizumab.	Dermatol Ther. 2020 Nov;33(6):e14099.	Original Article
344	Sasaki R, Fujimura T, Lyu C, et al.	皮膚科	Severe eczematoid and lichenoid eruption with full-thickness epidermal necrosis developing from metastatic urothelial cancer treated with enfortumab vedotin.	J Dermatol. 2020 Dec;47(12):1436-1438.	Original Article
345	Muto Y, Fujimura T, Kambayashi Y, et al.	皮膚科	Metastatic PRAME-Expressing Juvenile Spitzoid Melanoma on the Buttock.	Case Rep Oncol. 2020 Sep 21;13(3):1141-1144.	Original Article
346	Fujimura T, Kambayashi Y, Ohuchi K, et al.	皮膚科	Treatment of Advanced Melanoma: Past, Present and Future.	Life (Basel). 2020 Sep 16;10(9):208.	Original Article
347	Tamabuchi E, Fujimura T, Lyu C, et al.	皮膚科	Multiple angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia on the right arm showing unusual presentation.	Dermatol Ther. 2020 Nov;33(6):e14314.	Original Article

小計14件

348	Muto Y, Fujimura T, Kambayashi Y, et al.	皮膚科	Erythema nodosum developed in a patient with advanced cutaneous melanoma treated with dabrafenib plus trametinib combination therapy.	Dermatol Ther. 2020 Nov;33(6):e14430.	Original Article
349	Fujimura T, Tanita K, Ohuchi K, et al.	皮膚科	Increased serum CCL26 level is a potential biomarker for the effectiveness of anti-PD1 antibodies in patients with advanced melanoma.	Melanoma Res. 2020 Dec;30(6):613-618.	Original Article
350	Shinya Sonobe, Masayuki Ezura, Ayumi Narisawa, et al.	脳神経外科	Trans-Cell Technique through Mesh of Pipeline Embolization Device: A Case Report	Journal of Neuroendovascular Therapy Vol. 15, No. 1 (2021)	Original Article
351	Hiroshi Okamoto, Hiroshi Kikuchi, Hiroshi Naganuma, et al	移植・再建・内視鏡外科	Multiple carcinosarcomas of the esophagus with adeno-carcinomatous components: A case report	World Journal of Gastroenterology 26(17): 2111-2118	Original Article
352	Moroi, R., Shiga, H., Endo, K., et al.	消化器内科	Long-term Prognosis of Japanese Patients with Crohn's Disease Treated by Switching Anti-tumor Necrosis Factor α Antibodies	2020 Feb;5(1):11-19	Original Article
353	Okubo R, Nio M, Sasaki H, et al.	小児外科	Impacts of Early Kasai Portoenterostomy on Short-Term and Long-Term Outcomes of Biliary Atresia.	Hepatology communications	Original Article
354	Kanno T, Moayyedi P	消化器内科	Who Needs Gastroprotection in 2020?	Current Treatment Options in Gastroenterology 18 557 - 573	Review
355	Ryuji Okubo, Takuro Kazama, Masaki Nio	小児外科	Spindle Cell Lipoma of the Jejunal Mesentery	Journal of Pediatric Surgery Case Reports, Volume 59, August 2020, 101490	Original Article
356	Okubo R, Nio M, Sasaki H, et al.	小児外科	Impacts of Early Kasai Portoenterostomy on Short-Term and Long-Term Outcomes of Biliary Atresia	Hepatol Commun, 2020 Nov 8;5(2):234-243.	Original Article
357	Hitoshi Miyashita, Motoi Fukumoto, Yoshikazu Kuwahara, et al	歯科顎口腔外科	ISG20 is overexpressed in clinically relevant radioresistant oral cancer cells	International Journal of Clinical and Experimental Pathology. 2020; 13(7): 1633-1639.	Original Article
358	Satoko Suzuki, Shin Takayama, Akiko Kikuchi , et al.	総合地域医療教育支援部	Orengedokuto and shosaikoto for intractable intracranial carmustine implant-induced fever in a patient with brain tumor: A case report	EXPLORE Volume 17, Issue 3, May-June 2021, Pages 236-238	Original Article
359	Masayuki Shimizu,Shin Takayama, Akiko Kikuchi, et al.	漢方内科	Integrative therapy for advanced pancreatic cancer using Kampo and western medicine: A case report	EXPLORE Volume 17, Issue 3, May-June 2021, Pages 255-258	Original Article
360	Ryutaro Arita, Rie Ono, Natsumi Saito, et al.	総合地域医療教育支援部	Kakkonto, shosaikoto, Platycodon grandiflorum root, and gypsum (a Japanese original combination drug known as saikatsugekito): Pharmacological review of its activity against viral infections and respiratory inflammatory conditions and a discussion of its applications to COVID-19	Volume7, Issue3 December 2020 Pages 115-127	Original Article
361	Godo, S.| Shimokawa, H.	循環器内科	Gender differences in endothelial function and coronary vasomotion abnormalities	Gender and the Genome;4:1-11	Review

小計14件

362	Godo, S.| Corban, MT.| Toya, T.| et al.	循環器内科	Association of coronary microvascular endothelial dysfunction with vulnerable plaque characteristics in early coronary atherosclerosis	EuroIntervention;16:387-394	Original Article
363	Oshima K, Niinuma Y, Saito H, Baba H, et al.	総合感染症科	Pulmonary infection caused by Mycobacterium marinum in a patient with anorexia nervosa	ERJ Open Res. 2021;7(1):00782-2020	Original Article
364	Takamasa Komiyama, Takashi Ohi, Takako Hiratsuka, et al.	口腔機能回復科	Cognitive impairment and depressive symptoms lead to biases in self-evaluated masticatory performance among community-dwelling older Japanese adults: the Tsurugaya Project.	Journal of dentistry 99 103403 - 103403 2020年8月	Original Article
365	Wakana Ito, Takamasa Komiyama, Takashi Ohi, et al.	口腔機能回復科	Relationship Between Oral Health and Fractures in Community-Dwelling Older Japanese Adults	Journal of the American Medical Directors Association 2021年2月	Original Article

計365件

(注) 1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Kokubo, S.| Karasawa, H.| Kajiwara, T.| et al.	総合外科	Bladder-sparing surgery with preoperative chemotherapy for rectal cancer with urinary bladder involvement-A case report	Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy 47-1:135-137	Original Article
2	Kanamori, M.| Saito, R.| Tominaga, T.	脳神経外科	Functional outcomes of germ cell tumors	Japanese Journal of Neurosurgery 29-4:270-278	Original Article
3	Ando, R.| Satoh, C.| Fukutomi, T.| et al.	総合外科	Per-oral endoscopic myotomy for esophageal Achalasia following distal gastrectomy	Journal of Japanese Society of Gastroenterology 117-9:796-801	Original Article
4	Miyazaki, K.| Hayashi, H.| Ishida, M.| et al.	総合外科	A Case of Initially Locally Advanced Pancreatic Cancer Curatively Resected after Carbon-Ion Radiotherapy with Gemcitabine	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 47-13:2266-2268	Original Article
5	Kamei, T.	総合外科	Minimally Invasive Surgery for Esophageal Cancer;Changes over the Last Two Decade and Future Perspective	Kyobu geka. The Japanese journal of thoracic surgery 73-1:49-56	Original Article
6	Sato, K.| Karasawa, H.| Kajiwara, T.| et al.	総合外科	A Case of Sigmoid Colon Cancer with Thrombotic Microangiopathy	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 47-13:2358-2360	Original Article
7	Miyazaki, K.| Takadate, T.| Motoi, F.| et al.	総合外科	A case of aortitis caused by a granulocyte-colony-stimulating factor during chemotherapy for pancreatic cancer	Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy 47-5:851-853	Original Article
8	Tayama, H.| Karasawa, H.| Kajiwara, T.| et al.	総合外科	A Case of Radically Resected Sigmoid Colon Cancer with Bladder Invasion after Chemotherapy and Weight Loss in an Extremely Obese Patient	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy 47-13:2320-2322	Original Article

小計8件

9	Sano, H.| Satou, T.| Murakami, K.| et al.	呼吸器内科	A case of bronchial asthma in a younger patient with vocal cord dysfunction	Japanese Journal of Allergology 69-5:353-357	Original Article
10	Koike, T.| Masamune, A.	総合外科	Relationship between lifestyle and esophageal disease	Journal of Japanese Society of Gastroenterology 117-5:365-374	Original Article
11	Nitta, F.| Kunikata, H.| Otomo, T.| et al.	眼科	Evaluation of three cases of intrascleral haptic fixation and vitrectomy via corneal side ports	Japanese Journal of Clinical Ophthalmology 74-5:582-588	Original Article
12	Inoue, A.	緩和医療科	The role of "Early Palliative Care" in treatments of advanced Lung Cancer	Japanese Journal of Lung Cancer 60-7:936-941	Original Article
13	Inoue, A.	緩和医療科	Palliative medicine	Japanese Journal of Lung Cancer 60:874-876	Others
14	Kakuta, Y.| Kinouchi, Y.| Masamune, A.	総合外科	Pretreatment screening for inflammatory bowel diseases; significance and problems in genotyping of NUDT15	Journal of Japanese Society of Gastroenterology 117-3:195-207	Original Article
15	Hatta, W.| Gotoda, T.| Koike, T.| et al.	総合外科	History and future perspectives in Japanese guidelines for endoscopic resection of early gastric cancer	Gastroenterological Endoscopy 62-10:2312-2324	Original Article
16	Nakagawa, A.| Sato, C.| Yagihashi, M.| et al.	脳神経外科	Translational research:current update and problems	Japanese Journal of Neurosurgery 29-11:760-767	Original Article
17	Shirota, H.| Komine, K.	腫瘍内科	The role of core hospital of cancer genomic medicine and regional cooperation	Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy 47-8:1149-1152	Original Article
18	Abe, M.| Himori, N.| Ninomiya, T.| et al.	眼科	A case of eyelid adhesion caused by sebaceous adenocarcinoma and inability to open eyes	Japanese Journal of Clinical Ophthalmology 74-6:759-764	Original Article
19	Goto, Y.| Sasaki, K.| Kashio, K.| et al.	検査部	Evaluation of IFCC standardization method in alkaline phosphatase (ALP) measurement	Japanese Journal of Clinical Chemistry 49-3:199-205	Original Article
20	山内 大輔, 川村 善宣, 本藏 陽平, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	上半規管裂隙症候群における水中内視鏡下耳科手術による閉塞術の手技と利点	Otology Japan(0917-2025)30巻3号 Page159-166(2020.10)	Review
21	安藤涼平, 佐藤千晃, 福富俊明, 他	総合外科	幽門側胃切除後に発症した食道アカラシアに対して 経口内視鏡的筋層切開術(POEM)を施行した 1 例	日本消化器病学会雑誌117巻9号:796-801	Original Article
22	安藤涼平, 谷山裕亮, 福富俊明, 他	総合外科	食道裂孔ヘルニア術後のメッシュによる遅発性食道穿孔に対してdouble tract法再建を施行した1例	日本消化器外科学会雑誌53巻11号:855-861	Original Article
23	三頭 啓明, 西村 隆一, 宮城 重人, 他	総合外科	ICG蛍光法で血流評価し膵頭十二指腸切除術を行った食道癌術後膵腫瘍の1例	日本臨床外科学会雑誌81巻8号:1604-1610	Original Article
24	西牧宏泰、中西 渉、藤尾 淳、他	総合外科	単包虫エキノコックス症による多発腹腔内包虫嚢胞の1例	日本臨床外科学会雑誌81巻12号:2525-2530	Original Article

小計16件

25	髙橋 紀善, 梅澤 玲, 古積 麻衣子,他	放射線部	胸部食道癌に対する根治的放射線化学療法の治療効果を予測する画像検査方法は何か?	臨床放射線 65(8) 881 − 885 2020年8月	Review
26	角谷 倫之, 松田 匠平, 竹内孝至, 他	放射線治療科	最新医用画像技術 AIと放射線治療	臨床放射線 65(2) 163 − 171 2020年2月	Review
27	神宮啓一	放射線治療科	消化器 I. 食道癌	放射線治療計画ガイドライン 2020年版	Review
28	角谷 倫之，阿部 幸太，根本光，他	放射線治療科	IMRTの患者QAにおける3Dプリンタで作成した頭頚部患者模擬ファントムの評価	医学物理 40(3), 109-109, 2020	Original Article
29	角谷 倫之，田中 祥平，田邊俊平	放射線治療科	ディープラーニングレディオミクスを用いた肺がんの放射線治療の予後予測	Medical Imaging Technology 38(1), 4-9, 2020	Others
30	鈴木 歩、宮内栄作、成田大輔、他	呼吸器内科	気管・気管支内に多発する転移結節を認めた小細胞肺癌の1例	気管支学42巻3号269-273	Original Article
31	佐野寛仁、佐藤輝幸、村上康司、他	呼吸器内科	声帯機能不全を合併した若年気管支喘息患者の1例	アレルギー69巻5号353-357	Original Article
32	有安 亮、内堀健、田中寿志、他	呼吸器内科	化学放射線療法後デュルバルマブの投与回避要因(TOPGAN2020-01)	肺癌60巻7号966-971	Original Article
33	小川 舞美, 藤川 真由, 柿坂庸介,他	てんかん科	てんかん患者の障害受容パターンと生物心理社会的特徴	日本健康心理学会大会発表論文集 vol.33 p.65	Others
34	髙橋 健人, 上埜 高志, 小川舞美, 他	てんかん科	てんかん患者におけるソーシャルサポートとQOLの関連 ——ネットワーク分析を用いた検討——	日本健康心理学会大会発表論文集 vol.33 p.67	Others
35	細川大瑛, 柿沼一雄, 上利大, 他	脳神経外科	左側頭後頭葉底面の皮質電気刺激により顔の幻視とパレイドリアを呈した1例	高次脳機能研究 vol.40 p.63-4	Others
36	志賀卓弥, 齋藤浩二	集中治療部	補助人工心臓の現状と今後の展開	日集中医誌2020;27:177-83	Review
37	田中 淳一 照屋 周造 近藤猛 他	総合地域医療教育支援部	「転機」を体験するゲームを用いたキャリア教育実践	医学教育, 51 417-421	Original Article
38	照屋 周造, 田中 淳一, 近藤猛, 他	総合地域医療教育支援部	51巻4号『「転機」を体験するゲームを用いたキャリア教育実践』に対する疑問・提案への回答(レター)	医学教育, 51 707	Letter
39	大澤 稔, 髙山真, 石井 正, 他	漢方内科	東日本大震災後フラッシュバック(PTSD)に悩まされていた患者が漢方薬で改善した1例	心身医学 60(3) 276	Original Article
40	田中 淳一, 有田 龍太郎, 齊藤 奈津美, 他	総合地域医療教育支援部	ピア評価に注目した医療面接実習に関するアンケート調査	医学教育 51(Suppl.) 102	Others

小計16件

41	菅野 武, 荒田・悠太郎, 加賀谷 豊, 他	総合地域医療教育支援部	”安心して学び失敗できる”消化管出血に対する内視鏡的止血術習得に向けたシミュレーション教育の開発	医学教育 51(Suppl.) 111	Review
42	岡本 好司, 奥田 拓史, 石井 正, 他	腎・高血圧・内分泌科	住民コホートを使った尿中アルブミン排泄量に関する量的形質遺伝子座の検討	日本腎臓学会誌 62(4) 261	Original Article
43	石井 正	総合地域医療教育支援部	災害医療と法 災害医療の現場から見えてきた災害時の傷病者トリアージの法律上の課題 宮城県石巻での災害対応を経験して	医事法学 35(35) 100 - 106	Original Article
44	阿部 倫明, 赤石 哲也, 石沢 興太, 他	総合地域医療教育支援部	腎動脈エコー検査による腎動脈血流評価と年齢・腎機能・血圧との関連について	超音波医学 47(Suppl.) S534	Review
45	藤田 基生, 江島 豊, 佐藤 裕子, 他	救急科	発災!手術部業務継続は行えるのか? CBRNE災害と手術室業務継続	日本手術医学会誌 41(Suppl.) 63	Review
46	小野 理恵, 髙山 真, 有田 龍太郎	総合地域医療教育支援部	呼吸器ウイルス感染症に対する東洋医学併用療法の集中治療における可能性	日本集中治療医学会雑誌 27(4) 291 - 292	Original Article
47	髙山 真, 有田 龍太郎	総合地域医療教育支援部	【「COVID-19と統合医療」】漢方および中医学関連分野	日本統合医療学会誌 13(2) 79 - 81	Review
48	小野 理恵, 菊地 章子, 岩岡 里佳, 他	総合地域医療教育支援部	デュロキセチン無効の一次性慢性疼痛に対する漢方治療	日本ペインクリニック学会誌 27(3) O18 - 2	Original Article
49	小野 峰子, 鈴鴨 よしみ, 陳 進志, 他	肢体不自由リハビリテーション科	ロービジョン者用日常生活活動評価指標「the low-vision-specific function and activities of daily living measure(LVFAM)」の開発	日本眼科学会雑誌 124(10): 783-793, 2020	Original Article
50	鈴木匡子	高次脳機能障害科	神経心理学的評価　失語	神経治療学　37(4);556－570	Original Article
51	大石　如香, 菅井　努, 今村　徹, 他	高次脳機能障害科	場面によって異なる再帰性発話を呈した重度失語例	神経心理学　36(4)208-216	Original Article
52	大石　如香,永沢　光、鈴木匡子	高次脳機能障害科	仮名と漢字の失読・失書:単語が読めて一文字が読めない不思議	神経心理学:36(1);3-9	Original Article
53	野口彩、吉田寛、川口信哉、他	肝・胆・膵外科	直腸癌心膜転移により心タンポナーデを来した1例	日本消化器外科学会雑誌　53巻5号 p.456-62	Original Article
54	島田 宗昭, 荻島 創一, 八重樫 伸生, 他	婦人科	【婦人科医が知っておくべきがん遺伝子パネル検査の基礎知識】研究資源としてのがん組織・がんオミックス解析データ がんゲノム医療におけるバイオバンキングの役割	産婦人科の実際, 67(7), 755-759	Original Article
55	水野 聖士, 和形 麻衣子, 永家 聖, 他	婦人科	日本語版妊娠高血圧腎症オントロジーの開発	医療情報学, 40(3), 115-124	Others
56	水野 聖士, 西郡 秀和, 八重樫 伸生	婦人科	【エコチル調査から見えてきた周産期の新たなリスク要因】産科合併症 ソーシャルキャピタル(周囲との人間関係)は,妊娠糖尿病の発症に影響するか?	臨床婦人科産科, 74(5), 481-586	Original Article

小計16件

57	大塚 英郎, 青木 泰孝, 畠 達夫, 他	総合外科	胆管非拡張型膵・胆管合流異常に合併した若年性胆管癌の1例	胆道(0914-0077)34巻4号 Page772-780(2020.10)	Original Article
58	力山 敏樹, 片寄 友, 海野 倫明	総合外科	肝門部領域胆管癌のCT画像と病理の対比	胆道(0914-0077)34巻4号 Page617-627(2020.10)	Review
59	前田 晋平, 大塚 英郎, 水間 正道, 他	総合外科	手術に必要な局所解剖と術前評価 PDの術前評価 安全に手術が可能か,患者因子をどのように評価するか	臨床外科(0386-9857)75巻13号 Page1404-1408(2020.12)	Review
60	西牧 宏泰, 中西 渉, 藤尾 淳, 他	総合外科	単包性エキノコックス症による多発腹腔内包虫嚢胞の1例	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)81巻12号 Page2525-2530(2020.12)	Others
61	海野 倫明	総合外科	切除可能膵癌に対する術前化学療法の臨床研究の経験から	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)81巻10号 Page2153-2154(2020.10)	Review
62	中川 圭, 元井 冬彦, 海野 倫明	総合外科	Conversion Surgeryの意義 外科医の立場から	手術(0037-4423)74巻10号 Page1407-1412(2020.09)	Review
63	元井 冬彦, 海野 倫明	総合外科	切除企図膵癌に対する術前治療	外科(0016-593X)82巻9号 Page909-914(2020.08)	Review
64	市川 英孝, 青木 豪, 武者 宏昭, 他	総合外科	正中腹壁瘢痕ヘルニアに対するendoscopic component separation法を併施したIPOM-plusの有用性	日本内視鏡外科学会雑誌(1344-6703)25巻3号 Page210-216(2020.05)	Original Article
65	元井 冬彦, 海野 倫明	総合外科	切除可能膵癌に対する術前化学療法の手術先行に対する優越性	臨床外科(0386-9857)75巻6号 Page650-657(2020.06)	Review
66	海野 倫明	総合外科	切除可能膵癌に対する術前補助化学療法	日本消化器病学会雑誌(0446-6586)117巻4号 Page297-301(2020.04)	Review
67	武者 宏昭, 井本 博文, 山村 明寛, 他	総合外科	周術期を漢方でサポートする 上部消化管手術 腹腔鏡下幽門側胃切除術後管理への六君子湯の導入効果	臨床外科(0386-9857)75巻3号 Page292-298(2020.03)	Review
68	逸見 朋隆, 鈴木 淳, 小林 祐太, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	慢性副鼻腔炎手術症例の呼吸機能の検討	日本鼻科学会会誌 59巻4号 Page297-302	Original Article
69	北谷 栞, 太田 伸男, 齋藤 雄太郎, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	当科における鼻骨骨折の臨床的な検討	日本耳鼻咽喉科学会会報 123巻11号 Page1283-1289	Original Article
70	川村 善宣, 植木 重治, 福地 峰世, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	先端医学講座 線維素性唾液腺管炎 好酸球細胞外トラップによる唾液管閉塞の可能性	アレルギーの臨床 40巻13号 Page1087-1091	Original Article
71	中山 勇樹, 若盛 隼, 小澤 大樹, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Varicella-zoster virus再活性化により、嚥下障害を来した1例	いわき市医療センター医報41巻1号 Page51-54(2020.09)	Original Article
72	草野 佑典, 太田 伸男, 湯田 厚司, 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	スギ花粉症に対する舌下免疫療法の1～4シーズン目のアンケート調査	日本耳鼻咽喉科学会会報 (0030-6622)123巻6号 Page469-475(2020.06)	Original Article

小計16件

73	池田 怜吉, 伊藤 吏, 櫻井 結華, 他	池田 怜吉	耳管開放症治療に関する全国アンケート調査	Otology Japan (0917-2025)30巻3号 Page167-170	Original Article
74	高井 俊輔, 長谷川 航世, 森田 真吉, 他	池田 怜吉	両側被殻出血による皮質聾の1例	いわき市医療センター医報41巻1号 Page61-65(2020.09)	Original Article
75	宮下 仁, 佐藤奈央子, 北村淳, 他	歯科顎口腔外科	3Dモデルと配列用トレーを用いた遊離腓骨皮弁による下顎再建へのアプローチ	顎顔面補綴 43巻2号 Page48-53(2020.12)	Original Article
76	小黒 草太, 柳垣 聡, 髙瀬 圭	放射線診断科	【研修医に教える画像診断のABC】検査時のポイント　CT検査	臨床画像(0911-1069)36巻10月増刊 Page6-17(2020.10)	Review
77	柳垣 聡,植田琢也, 髙瀬 圭	放射線診断科	【今さら聞けない急性腹症の画像診断】血管系疾患	臨床画像(0911-1069)36巻9号 Page1008-1014(2020.09)	Review
78	影山 咲子, 大竹 浩也, 渡邉奈美, 他	放射線診断科	【腹部の最新画像情報2020】TUR-Btの6ヵ月後に生じた膀胱の紡錘形細胞腫瘍の1例	臨床放射線(0009-9252)65巻5号 Page481-486(2020.05)	Original Article
79	清治 和将, 髙瀬 圭	放射線診断科	【誰にも聞けないIVRの基本:基本手技～部位別血管カテーテルの選択と挿入法】部位別血管カテーテルの選択,挿入のコツと造影法　腹部静脈　副腎静脈サンプリング(AVS)	臨床画像(0911-1069)36巻7号 Page809-814(2020.07)	Review
80	佐藤 友美, 髙瀬 圭	放射線診断科	【誰にも聞けないIVRの基本:基本手技～部位別血管カテーテルの選択と挿入法】部位別血管カテーテルの選択,挿入のコツと造影法　腹部静脈　バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術(B-RTO)	臨床画像(0911-1069)36巻7号 Page804-808(2020.07)	Review
81	清治 和将, 大田 英揮, 手塚雄太, 他	放射線診断科	【腎・泌尿器の画像診断update】原発性アルドステロン症の診断・治療	画像診断(0285-0524)40巻6号 Page589-605(2020.04)	Review
82	佐藤 涼太郎, 小田桐 逸人, 猪川 愛美, 他	放射線診断科	PET呼吸同期画像作成時における最適位相幅および収集時間の検討　SiPM半導体PET/CT装置によるファントム試験	日本放射線技術学会雑誌(0369-4305)76巻8号 Page795-801(2020.08)	Original Article
83	明石 敏昭, 佐藤 志帆	放射線診断科	【時系列から学ぶ中枢神経疾患の画像診断-MR Retroscopy-】天幕上(大脳)　D.側頭葉・大脳半球　半年前に原因不明の視神経炎の既往があり,突然の頭痛と右不全片麻痺を発症	画像診断(0285-0524)40巻10号 Page1080-1083(2020.08)	Review
84	山森 瑛子, 常陸 真	放射線診断科	【関節の解剖を再考する-正常&疾患Case Review-】足関節MRI	画像診断(0285-0524)41巻1号 Page47-59(2020.12)	Review
85	佐谷 望, 常陸真, 江原 茂	放射線診断科	【全身性疾患の窓としての臓器】骨軟部	臨床画像(0911-1069)36巻12号 Page1406-1417(2020.12)	Review
86	常陸 真, 井上麻美	放射線診断科	【画像診断における脂肪の意味:存在からその意義まで】骨軟部領域における脂肪の存在意義	臨床画像(0911-1069)36巻3号 Page289-299(2020.03)	Review
87	髙木 英誠, 大田 英揮	放射線診断科	【Value based medicine時代の心血管画像診断】冠動脈CTの検査法とFFR-CTの基本	画像診断(0285-0524)40巻12号 Page1205-1216(2020.09)	Review
88	大田 英揮	放射線診断科	肺高血圧症における4D Flow MRI	日本磁気共鳴医学会雑誌(0914-9457)40巻1号 Page1-6(2020.02)	Review

小計16件

89	大田 英揮	放射線診断科	【MRIで読み解く心臓と脈管:流れと機能】肺高血圧症の4D-flow MRI	臨床画像(0911-1069)36巻1号 Page34-41(2020.01)	Review
90	佐藤 嘉尚, 冨永 循哉	放射線診断科	【基礎から学ぶ肺癌診断】充実型肺癌の診断	画像診断(0285-0524)40巻5号 Page411-421(2020.03)	Review
91	木曽 啓祐	放射線診断科	【Value based medicine時代の心血管画像診断】Value based medicine時代の心臓核医学	画像診断(0285-0524)40巻12号 Page1194-1204(2020.09)	Review
92	山田和江, 光永憲香, 遠藤由香, 他	心療内科	神経性やせ症患者の食品嗜好の研究.	心身医学 60 (6): 521-531, 2020.	Original Article
93	佐藤康弘, 福土審.	心療内科	ストレス関連疾患の合併症状. 摂食障害の合併症状.	心身医学 60 (1): 26-30, 2020.	Review
94	佐藤康弘, 福土審.	心療内科	脳画像解析による精神疾患の診断・評価の可能性. 摂食障害の脳画像解析.	臨床精神医学 49 (4): 513-517, 2020.	Review
95	福土審.	心療内科	機能性消化管障害の新時代. 脳腸相関と機能性消化管障害.	日本消化器病学会雑誌 117 (10): 834-839, 2020.	Review
96	平田幸一, 鈴木圭輔, 春山康夫, 他	心療内科	種々の症状を呈する難治性疾患における中枢神経感作の役割の解明とそれによる患者ケアの向上.	神経治療学 37 (2): 166-179, 2020.	Review
97	福土 審.	心療内科	腸内細菌と過敏性腸症候群.	日本医師会雑誌 149 (9): 1556-1560, 2020.	Review
98	佐藤 康弘, 福土 審.	心療内科	過敏性腸症候群. 解説/特集: 内科診療の幅がグンと広がる!心療内科的アプローチ. これって心身症?患者さんの"治す力"を引き出す診方.	Gノート (2188-3033)7 (8): 1299-1306, 2020.	Review
99	福土 審.	心療内科	過敏性腸症候群の脳腸相関に影響する腸内細菌	日本消化器病学会雑誌 117臨増大会 A438, 2020.	Others
100	福土 審.	心療内科	大腸運動制御のメカニズム 過敏性腸症候群における大腸運動制御のメカニズム	消化と吸収 43 (1): 39, 2020.	Others
101	福土 審.	心療内科	最先端を目指す心身医学	心身医学 60 (6): 545, 2020.	Others
102	齋藤 脩悟, 谷口 冬馬, 佐藤康弘, 他	心療内科	神経性やせ症患者の制限型と過食排出型における腎機能の比較検討	心身医学 60 (3): 272, 2020.	Others
103	藤岡俊亮、吉田清香、檜森紀子、他	眼科	Duane症候群との鑑別に苦慮した重症筋無力症の1例	眼科臨床紀要13(2)100-104,2020	Original Article
104	吉田真彰、横倉俊二、望月清文、他	眼科	大学病院へ紹介された感染性角膜炎疑い症例における全身投与抗菌薬の使用状況の調査	日本眼科学会雑誌124(1): 21-23,2020	Original Article

小計16件

105	阿部真以子、檜森紀子、二宮高洋、他	眼科	腺癌により眼瞼癒着をきたし開眼不能に至った1例	臨床眼科 74(6):759-764,2020	Original Article
106	新田文彦、國方彦志、大友孝昭、他	眼科	経角膜硝子体切除を併用した眼内レンズ強膜内固定術3症例の検討	臨床眼科74(5)582-588,2020	Others
107	森 望 中澤徹	眼科	眼からみる老化脳 HSIカメラによる軽度認知障害(MCI)の未病診断へ向けて	未病と抗老化 (1347-667X)29巻 Page24-29(2020.11)	Original Article
108	角田洋一、木内喜孝、正宗淳	消化器内科	炎症性腸疾患における治療前スクリーニング ―NUDT15遺伝子多型測定の意義と課題―	日本消化器病学会雑誌 vol.117 p.195-207	Review
109	佐々木恵利奈、根来健一、諸井林太郎、他	消化器内科	テンプレートとスマートフォンアプリを利用したデータ入力作業の効率化について	医療情報学 vol40 p.145-50	Original Article
110	諸井林太郎, 志賀永嗣, 正宗淳	消化器内科	クローン病の回盲部切除後腸管狭窄に対するRadial Incision and Cutting法を用いた内視鏡的拡張術	日本消化器内視鏡学会 vol.62 p.2964	Original Article
111	鈴木潤, 岡田吉史, 佐藤怜子, 他	麻酔科	腹部大動脈瘤破裂手術の輸血量に関与する因子の検討	麻酔 2020; 69: 368	Others
112	鎌田ことえ	手術部	TIVAにおける脳波モニターの見方―麻酔薬によって，私たちの脳波はどのように変化するのか	LiSA 2020; 27: 728-736	Others
113	Miyashita H, Sato N, Kitamura J, et al.	歯科顎口腔外科	The approach using 3D models and the alignment tray for mandibular reconstruction with free fibular flap	Maxillofacial Prosthetics. 43(2): 48-53, 2020.	Others
114	宍戸香、関大輔、福永智広、他	矯正歯科	上顎右側中切歯と側切歯欠損を伴う骨格性III級、開咬に対し、歯列正中を越える上顎中切歯の近心歯軸傾斜を行った症例	東北矯正歯科学会雑誌, 第28巻第1号, p.11-19.	Others
115	西岡貴志、小川武則、村田隆紀、他	顎口腔画像診断科	嚢胞成分を有する腫瘍との鑑別が困難であった耳下腺導管嚢胞の1例	歯科放射線60(1): 24-26, 2020	Others

計115件

(注) 1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・ 手順書の主な内容 主に倫理委員会の体制や申請の要件、倫理委員会審査まで流れ、申請手続き、様式一覧、その他留意すべき事項など。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	(有)・無
・ 規定の主な内容 東北大学利益相反マネジメントポリシーに基づき、役職員が産学官連携活動その他の社会貢献活動を行う上での利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めることにより、本学の社会後年の推進を図ることを目的とする。 利益相反マネジメント推進体制、利益相反マネジメントの実施方法など。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・研修の主な内容 特定研究不正行為以外の「好ましくない研究行為」、研究倫理指針はどう変わるか、事例を踏まえた臨床研究実施時の留意点2020、間違えやすい臨床研究法の手続き、あなたはなぜ臨床研究をするのか～そのknowhowとpassion～、研究倫理の歴史的背景とResearch Integrityなど。	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

当院の研修では、各領域の多数の専門医・指導医の指導の下、豊富な高度医療設備を用いて、将来の専門医・指導医資格の取得のため、日々高度な医療の習得に努めています。最先端医療や稀少症例、難治症例を経験するだけでなく、連携病院と協力し各領域の多様な症例を経験することにより、全人的な診療能力を持つ専門医を養成しております。また、大学院で学位を併行して取得することも可能であり、医師のみならず教育者、研究者として社会に貢献しております。 平成30年度から開始した新専門医制度による専門医研修において、全19基本領域の専門研修プログラムを整備しております。さらに、初期研修から基本領域の専門研修、サブスペシャルティ領域での専門研修、大学院進学等、シームレスな医師養成を行っております。また、当院の専門研修プログラムでは、当院のみならず多くの連携病院と協力し、各人の希望やニーズを考慮し各人毎に最適なプログラムでの研修を行えるよう整備しています。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	106　人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
阿部　倫明	内科(総合診療科)	准教授	27年	
安田　　聡	循環器内科	教授	35年	
金森　　肇	感染症内科	講師	18年	
宮崎真理子	腎臓・内分泌内科	特命教授	34年	
張替　秀郎	血液内科	教授	35年	
藤井　博司	リウマチ科	特命教授	25年	
片桐　秀樹	糖尿病・代謝内科	教授	34年	
井上　　淳	消化器内科	助教	21年	
冨田　尚希	老年内科	助教	20年	
高山　　真	漢方内科	准教授	25年	
福土　　審	心療内科	教授	38年	
玉田　　勉	呼吸器内科	准教授	28年	
石岡千加史	腫瘍内科	教授	38年	
海野　倫明	外科（肝胆膵・移植グループ）	教授	36年	
大沼　　忍	外科(下部消化管グループ)	特命教授	28年	
亀井　　尚	外科（上部消化管・血管グループ）	教授	30年	
石田　孝宣	外科（乳腺・内分泌グループ）	教授	34年	
和田　　基	外科（小児外科グループ）	教授	28年	

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
齋木　佳克	心臓血管外科	教授	31年	
相澤　俊峰	整形外科	教授	32年	
今井　啓道	形成外科	教授	36年	
岡田　克典	呼吸器外科	教授	34年	
山内　正憲	麻酔科	教授	31年	
八重樫伸生	産婦人科	教授	38年	
伊藤　明宏	泌尿器科	教授	31年	
青木　正志	脳神経内科	教授	28年	
遠藤　俊毅	脳神経外科	准教授	24年	
富田　博秋	精神科	教授	27年	
笹原　洋二	小児科	准教授	30年	
山﨑　研志	皮膚科	准教授	30年	
横倉　俊二	眼　科	講師	18年	
香取　幸夫	耳鼻咽喉科	教授	31年	
香取　幸夫	頭頸部外科	教授	31年	
上月　正博	リハビリテーション科	教授	40年	
高瀬　　圭	放射線科	教授	32年	
古川　　宗	救急科	助手	23年	
藤島　史喜	病理診断科	准教授	22年	
山田　　聡	歯　科	教授	27年	
髙橋　　哲	歯科顎口腔外科	教授	38年	
山田　亜矢	小児歯科	特命教授	26年	
溝口　　到	矯正歯科	教授	38年	

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 看護実践を担う看護職員にキャリア開発やジェネラリストとしての看護実践能力向上のために「看護実践能力（クリニカルラダー」システムを導入し,看護実践、看護管理、教育・研究、人間形成の４領域と4段階の熟達レベルで教育プログラムを組んでいる。 ・研修の期間・実施回数 令和2年4月～令和3年3月 ・研修の参加人数 期間中延べ　2,104人
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 安全・安心で質の高い看護の提供のための看護提供方式を推進するための研修や看護マネジメントの研修を実施した。 ・研修の期間・実施回数 令和2年5月～12月　期間中10回開催 ・研修の参加人数 期間中延べ　　545人
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
(注) 2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

<table>
<tr><td>計画・現状の別</td><td>1．計画　②．現状</td></tr>
<tr><td>管理責任者氏名</td><td>病院長　冨永 悌二</td></tr>
<tr><td>管理担当者氏名</td><td>総務課長　木村 賢一・医事課長　前田 光男</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3"></td><td>保管場所</td><td>管理方法</td></tr>
<tr><td rowspan="9">診療に関する諸記録</td><td rowspan="9">規則第二十二条の三第二項に掲げる事項</td><td>病院日誌</td><td rowspan="9">総務課
各診療科
薬剤部
医事課
電子カルテ</td><td rowspan="9">診療記録(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真等を含む)は、平成26年4月より電子カルテを原本とし、記載及びスキャン取込を行い管理している。紙媒体の診療記録は患者毎にファイリングし、ターミナルデジットファイリング法で一元管理を行っている。保管期間は、最終来院日より15年と定めている。診療記録の院外への持ち出しについては原則として禁止している。病院日誌は紙媒体で保管している。処方箋は、月及び処方区分ごとにまとめ、5年間保管している。</td></tr>
<tr><td>各科診療日誌</td></tr>
<tr><td>処方せん</td></tr>
<tr><td>手術記録</td></tr>
<tr><td>看護記録</td></tr>
<tr><td>検査所見記録</td></tr>
<tr><td>エックス線写真</td></tr>
<tr><td>紹介状</td></tr>
<tr><td>退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書</td></tr>
<tr><td rowspan="11">病院の管理及び運営に関する諸記録</td><td rowspan="7">規則第二十二条の三第三項に掲げる事項</td><td>従業者数を明らかにする帳簿</td><td>総務課</td><td rowspan="7">従業者数を明らかにする帳簿は、電子媒体で保管している。高度の医療の提供については、診療科・研究推進室等からデータをもらい、年度ごとに一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。患者数については、月ごとに集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、毎月集計し、電子媒体で管理している。その他については、各部署で月ごとや年ごとに管理している。</td></tr>
<tr><td>高度の医療の提供の実績</td><td>医事課及び研究推進室</td></tr>
<tr><td>高度の医療技術の開発及び評価の実績</td><td>研究推進室</td></tr>
<tr><td>高度の医療の研修の実績</td><td>総務課（看護部）</td></tr>
<tr><td>閲覧実績</td><td>総務課及び医事課</td></tr>
<tr><td>紹介患者に対する医療提供の実績</td><td>医事課</td></tr>
<tr><td>入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿</td><td>医事課及び薬剤部</td></tr>
<tr><td rowspan="4">規則第一条の十一第一項に掲げる事項</td><td>医療に係る安全管理のための指針の整備状況</td><td rowspan="4">地域医療連携課</td><td rowspan="4">年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。</td></tr>
<tr><td>医療に係る安全管理のための委員会の開催状況</td></tr>
<tr><td>医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</td></tr>
<tr><td>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</td></tr>
</table>

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況		
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況		
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況		
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	電子ファイルで保管（医薬品安全管理室内規及び医薬品安全管理手順書）。
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況		都度、電子ファイルで保管。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況		毎月整理し、電子ファイルと紙媒体で保管。
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況		
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況		
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室	会議資料等を毎月整理し、電子ファイルで保管。
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		医療安全管理部門の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医薬品安全管理室	会議資料を電子ファイルで保管。
			地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		監査委員会の設置状況	地域医療連携課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況		
		職員研修の実施状況		
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況		
		管理者が有する権限に関する状況	総務課内	紙媒体を薄冊として保管している
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況		
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　②．現状	
閲覧責任者氏名	病院長　冨永　悌二	
閲覧担当者氏名	総務課長　木村　賢一・医事課長　前田　光男	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要 閲覧については、諸記録ごとの管理部署が担当窓口となり、請求手続きに応じている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0 件
閲覧者別	医師	延　0 件
	歯科医師	延　0 件
	国	延　0 件
	地方公共団体	延　0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無

・ 指針の主な内容：
『東北大学病院の医療に関する安全管理指針』
(1)　患者に対する十分なインフォームド・コンセント及びその同意に基づく医療従事者との良好な信頼関係のもとに、患者本位の全人的な医療及び安全な医療を提供する。
(2)　医療における基本の徹底及びその質の向上を図るとともに、すべての医療従事者の意識改革及び啓発を図るため、教育・研修及び講演会等を定期的に開催する。
(3)　医療従事者自らが、医療行為の基本的事項を日々点検・確認し、事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属責任者に報告するとともに、患者及び関係者に説明の上適切に対処し、速やかに事故内容等の検討及び再発の防止対策を講ずる。
(4)　上記３つの事項を遂行するため、次に掲げる組織及び体制を整備する。

①　医療安全管理責任者
本院に、病院長を補佐し、医療安全推進委員会、医療安全推進室、医薬品安全管理室及び医療機器安全管理室を統括する者として医療安全管理責任者を置き、副病院長（医療安全担当）をもって充てる。

②　医療安全推進委員会
本院における医療の安全管理体制の確保、研修等の企画・実施、及び、次のイからホのインシデントについて、医療安全推進室からの報告を受け、改善策の検討と実施状況の確認を行う。
イ　分類別、職種別、レベル別の月間分析結果
ロ　分類別（薬剤、チューブ、転倒転落等）の年間分析結果
ハ　レベル３ｂ以上の事案についての詳細とその改善状況
ニ　警鐘的事例に関すること
ホ　その他、重大事例に関すること

③　医療安全推進室
医療に関する安全管理指針に基づき、本院における医療事故の防止及び医療の質と安全性を一層向上させるため、その遂行に必要な組織全体のシステムを構築する。

④　専門部会
医療安全推進室の専門部会として下記部会を置き、専門の事項を調査審議するため専門委員若干人で構成し、具体的な事案に対応する。
イ　マニュアル作成部会
ロ　標準化推進部会
ハ　広報・教育部会
ニ　インシデント審議部会

⑤　リスクマネジャー会議
医療安全推進室の下部組織として、各診療科、看護部、各中央診療施設等及び事務部等の中核となる実務担当等で構成し、医療事故等の未然防止について具体的な安全対策を推進し、事故又はインシデントレポートの検証及び再発防止策の策定等を行う。

⑥　医薬品安全管理室
本院における医薬品の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。

⑦　医療機器安全管理室
本院における医療機器の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。

⑧　医療放射線安全管理室
本院における医療放射線の安全管理体制の確保を図るため、手順の作成、情報の収集及び研修等を行う。

⑨　インシデント対応委員会
本院において重大なインシデントが発生した場合に、直ちに当該インシデントの事実関係を確認し、適切かつ必要な対応策を検討する。また、患者・家族への対応につ

いて病院としての判断・見解を検討し、初期対応を決定する。

⑩ 医療事故調査委員会
　医療安全推進委員会及び医療安全推進室とは別組織とし、医療事故の報告を受けた病院長が必要と認めるときは、当該関係者を招集して医療事故の調査等を行う。

⑪ 特別医療事故調査委員会
　病院長は、医療法第６条の１０第１項に定める医療事故が発生したときは、当該関係者を招集して医療法第６条の１１第１項に規定する医療事故調査等を行う。

⑫ 高難度新規医療技術
　高難度新規医療技術等を用いた医療を提供する場合は、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- 設置の有無（ 有・無 ）
- 開催状況：年１２回
- 活動の主な内容：

医療安全推進委員会
　以下の内容についての審議及び報告を行う。
(1) 医療に関する安全管理指針に関すること。
(2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。
(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。
(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。
(5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。
(6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。
(7) 重大な問題その他医療安全推進委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること。
(8) 前号の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに院内に勤務する者への周知に関すること。
(9) 前号の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。
(10) 入院患者が死亡した場合は、当該死亡の事実及び死亡前の状況、入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときは、当該事象の発生の事実及び発生前の状況について、報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること。
(11) 前号に規定する実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための院内に勤務する者への研修及び指導に関すること。
(12) その他医療の安全管理等に関すること。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年２０回

- 研修の内容（すべて）：

●医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会
（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者・復職者対象医療安全必修コース）
●具体的事例を取り上げた職種横断的な演習
●ブラッシュアップ研修
●歯科部門の医療安全研修
●医療安全管理全般に関する講演会
●せん妄対策勉強会
●その他医療安全管理に関する研修会（随時）

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況
・　医療機関内における事故報告等の整備　（ 有・無 ） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ●事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。 ●事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。 ●重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。 ●毎月の医療安全推進委員会において、月次インシデントの集計報告及び３ｂ以上の事例の報告を行っており、院内のインシデントの発生状況の把握に努めていること。また、院内のインシデントから警鐘的な事例を毎月１例取り上げて、事案の分析や再発防止策の検討等を医療安全推進委員会で行っていること。 ●毎年度１回、全病棟及び外来棟に対し医療安全巡視を行い、医療安全に係る業務について適切に行われているかの確認及び指導を行っていること。また、全体巡視に加えて、GRM３名が、毎週、病棟を巡視しており、院内における医療が適正に実施されているかを適宜確認していること。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無

・ 指針の主な内容：
●院内感染対策に関する基本的な考え方
●感染対策のための委員会
●感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針
●感染症の発生状況の報告に関する基本方針
●院内における感染症発生時の対応に関する基本方針
●患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針
●その他の感染対策の推進のために必要な指針

『東北大学病院における感染対策の指針』
医療関連感染に対する、医療従事者の標準予防策ならびに手指衛生を始めとする基本的な感染対策の確実な実施を行うための指針である。具体的には以下のとおり。

（１）感染対策のための委員会
①感染対策に関する委員会として病院長を含む感染対策委員会を設置する。感染対策委員会は、医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議・決定する。
②感染対策委員会の下部組織として感染対策実務委員会を置く。感染対策実務委員会は、院内の問題点を把握し、感染予防対策の実務を行い、各委員は委員会での決定事項を所属部署に周知する。
③当院の感染対策全般について総合的な管理を行うため、感染管理室を置き、感染対策活動の総責任者として院内感染管理者を置く。
④感染管理室の業務を職種横断的に遂行するための組織として、各職種からなるICT(Infection Control Team)を置き、感染に関する課題の抽出・解決、感染対策活動の周知徹底、各部署での教育等を行う。
⑤抗菌薬の適正使用を推進するための組織として、AST (Antimicrobial Stewardship Team) を置き、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているかどうかを多職種からなる専門家チームで評価、管理し、必要に応じて主治医に助言するなどの支援を行う。

（２）感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針
①感染管理室並びにICTが中心となり、全職員を対象に具体的な研修の立案・実践を行う。
②感染対策に関する必要な知識・技能を維持向上できるように、年２回以上の講習会を実施する。
③ICTによる職場巡視、各部門の感染対策担当者による日々の活動を通じて、継続的な教育・啓発を実施する。

（３）感染症の発生状況の報告に関する基本方針
①感染管理室並びにICTは感染対策の実施のため、院内感染防止対策の立案、及び具体的な遵守事項を定めるマニュアルを作成する。
②感染管理室は、微生物検査情報などをもとに院内における感染症発生動向について把握し、手指衛生の遵守、地域における病原体の伝播、抗菌薬使用状況なども踏まえた抗菌薬の適正使用について、ICT及びASTとともに機動的な感染対策を立案・実施する。
③感染管理室は職員のワクチン接種など職業感染対策を積極的に推進するとともに、針刺し切創・体液曝露事例が発生した場合においては、情報の収集並びに感染防止に関する対応を行う。
④感染対策委員会並びに感染対策実務委員会は、感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応する。

（４） 院内における感染症発生時の対応に関する基本方針
①感染症の伝播並びに集団感染事例が発生もしくは疑われる際には、第一に患者及び職員の

生命及び健康と安全を最優先に考え行動する。
②患者並びに家族への連絡・説明は速やかに、主治医もしくは当該科の上席医師が率直に事実を話すとともに、事実のみを客観的かつ正確に記録する。また患者並びに家族への説明内容などについて詳細に診療録等に記録する。
③当該部署は状況について感染管理室へ報告する。感染管理室はICTとともに情報の収集並びに当面の対策について立案・実施し、病院長に報告する。
④死亡又は重大な障害が発生した場合、又はその疑いがある場合には事務部長は病院長の指示を仰ぎ、速やかに所轄警察署・保健所・東北厚生局に届出をし、報告を行う。
⑤集団感染事例が発生した場合は、速やかに事故原因の究明、今後の対応策等を検討する。調査は感染対策委員会の構成員に加え、関係部署を加えて構成する。必要に応じて、保健所や東北厚生局などの外部の専門家を加え、客観的な判断を加えることに努める。又、公表の必要性と方法を協議し、病院長が決定する。

（５）患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針
①本指針は患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合はこれに応じるものとする。

（６）その他の感染対策の推進のために必要の指針
①感染対策マニュアルなど、その他の感染対策の推進のために必要な指針は、別途定める。

② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年１２回

・ 活動の主な内容：
●院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。
●重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。
●院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。
●院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。
●医療関連感染の発生防止、並びに発生時の対応等、院内感染対策に関する必要な事項を審議決定すること。
●感染管理室、ICT及びASTの活動について報告を受けるとともに、報告事項を当院の最重要事項として対応すること。

③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年１７回

・ 研修の内容（すべて）：
●院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者・復職者対象感染対策必修コース）
●院内感染管理に則した研修（感染対策病棟講習会、感染対策に関するインターネット研修会）
●感染管理全般に関する定期講演会
●その他感染管理に関する研修会（随時）

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備　　　（ 有・無 ）
・ その他の改善のための方策の主な内容：
「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し、更には毎月の感染対策委員会において、サーベイランス対象菌種検出症例数の月次報告を行っており、院内の感染症の発生状況の把握に努めている。
また、医師・看護師・薬剤師、臨床検査技師の４職種が、毎週、週１回全病棟３０部署のラ

ウンドを実施し、外来・中央診療部門もラウンドすることによって、感染症防止対応が適切に行われているかの確認及び指導を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年３０回
・ 研修の主な内容： ・医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 ・医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 ・医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （ 有・無 ） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 ・医薬品の管理に関する業務 ・患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 ・患者に対する与薬 ・未承認等医薬品の使用に関すること	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 内視鏡観察時の鑑別に用いる3%検査用ルゴール液20mLなどの院内製剤を含め、診療科から申請/届出のあった未承認等医薬品（全277件,令和２年度対象品目）や、薬剤師が把握した未承認等医薬品の情報を管理している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・疑義照会事例、副作用報告事例、インシデント事例、医薬品添付文書改訂に伴う注意事項等の医薬品情報を収集し、院内の医薬品の使用状況や注意事項を周知 ・医薬品安全管理室の指示のもと、薬剤師が病棟（月1回）及び外来診療科（2ヶ月に1回）の巡視を実施 ・医薬品安全管理室巡視を毎年実施	

(注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年５２回

・　研修の主な内容：
○新規導入機器は購入依頼時に研修対象者をリスト作成し、機器使用前の研修を実施
○特定機能病院における定期研修について、年２回以上定期的に研修を実施
○医療機器の有効性・安全性に関する事項
○医療機器の使用法に関する事項
○医療機器の保守点検に関する事項
○医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する事項
○医療機器の使用に関しての法令遵守に関する事項
○その他新規採用者及び中途採用者・復職者を対象とする研修を実施

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　医療機器に係る計画の策定　　　（ 有・無 ）
・　機器ごとの保守点検の主な内容：

機器	保守点検の主な内容
人工心肺装置及び補助循環装置	始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 外部委託定期点検
人工呼吸器	
血液浄化装置	
除細動装置	
閉鎖式保育器	
ＣＴエックス線装置	
診療用高エネルギー放射線発生装置	
診療用放射線照射装置	
磁気共鳴画像診断装置	

上記保守点検について
① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年度の把握及び記録
② 保守点検実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検の見直し

④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機器に係る情報の収集の整備　　　（ 有・無 ）
・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：
○婦人科における術後癒着防止を目的とした子宮内避妊器具の適用外使用：9件
○肢体不自由リハビリテーション科における上下肢麻痺を治療するためのパスリーダーの適応外使用：60件
○心臓血管外科における大動脈瘤治療のためのMFMの未承認使用：8件
○歯内療法科における歯根端切除術の逆根管充填剤としてMTAセメントの適用外使用：11件
○小児の外傷性大動脈損傷に対するEVARデバイスの適用外使用：1件
○末梢ルート確保困難症例において、緊急時に造影剤注入適応の無いCVカテーテル（従来品）を用いて造影剤注入を実施する適用外使用：8件
○呼吸器外科における、気管支の肉芽腫による狭窄解除のためのIN.PACT Admiral薬剤コーティングバルーンカテーテルの適用外使用：1件

・ その他の改善のための方策の主な内容：
○未承認等医療機器を使用した診療に関しての届出、治験・臨床研究に関しては倫理委員会の情報から使用状況の情報収集。
○添付文書等の管理
○医療機器に係る安全性情報の収集と病院管理者への報告
○毎月第一木曜日の「医療機器点検の日」実施による医療機器の点検及び院内の意識啓発

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無

・責任者の資格（医師・歯科医師）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況
　医療安全管理責任者として医療安全担当副病院長が、医療安全管理部門（医療安全推進室）、医療安全管理委員会（医療安全推進委員会）、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（１名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況
　手順書に基づき医薬品情報を収集し、緊急度に応じた周知を実施している。また、必要に応じて院内の医薬品の使用状況について調査し、改善が必要とされる事項については、医療安全推進委員会等を通じて周知している。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況
　医薬品安全管理室が未承認等医薬品に関する担当部門として規定されており、診療科から申請された未承認等医薬品の使用条件等について審議している。未承認等医薬品のうち、未承認新規医薬品及び院内製剤については、未承認新規医薬品評価委員会を開催し、使用の条件等に関する意見を聴取している。また、臨床試験薬については特殊薬品として薬剤部で管理しており、未承認等の医薬品について把握している。これらの情報及び処方状況を管理するシステムを構築し定期的に処方状況等について確認している。

・担当者の指名の有無（有・無）
・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部　，職種　副薬剤部長　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（有・無）
・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
　・文章による同意が必要な医療行為
　・説明者
　・複数の診療科が関わる場合（合同手術・依頼によって行われる検査・処置等）
　・説明と同意の方法
　・説明・同意書の運用
　・説明の内容
　・説明時の同席者
　・説明の相手方
　・同意の確認
　・説明と同意に関する診療記録への記録
　・緊急に医療行為が必要な患者の場合
　・同じ治療を繰り返す場合の説明と同意のあり方　等

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
　診療録等に必要な事項の記載があるか、また記載内容に齟齬がないか等の点検のため、チェックシートを使用し、入院診療計画書、医師経過記録、インフォームドコンセント、手術（侵襲的処置含む）記録、病名整理、退院時要約等の評価を行っている。なお、点検結果は、記載の質向上がなされるよう各診療科へフィードバックし、適切な記載方法について指導している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無

・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（１）名
　うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（１）名
　うち薬剤師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（　）名
　うち看護師：専従（２）名、専任（　）名、兼任（　）名
（注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること
・活動の主な内容：
　◎医療安全推進室
　　(1)　医療安全推進委員会に係る事務に関すること。
　　(2)　医療事故、インシデント及び死亡事例の収集及び分析に関すること。
　　(3)　医療の安全管理に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。
　　(4)　医療安全管理マニュアルに関すること。
　　(5)　医療安全巡視の実施及び実施状況の把握・分析に関すること。
　　(6)　医療安全確保のための業務改善計画書の作成、実施状況の確認及び評価結果の記録に関すること。
　　(7)　患者等からの相談件数、相談内容、相談後の取扱いに係る医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。
　　(8)　医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスの実施及び記録に関すること。
　　(9)　事故その他の医療安全推進室において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく院内に勤務する者への必要な指導に関すること。
　　(10)　医療に係る安全管理に係る連絡調整に関すること。
　　(11)　医療の質の向上及び医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。
　　(12)　医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び院内に勤務する者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。

　なお、手術オカレンスと放射線読影レポートの未読状況、入院における転倒転落等について、医療安全推進室がモニタリングを行い、毎月の状況を医療安全推進委員会に報告している。

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（３件）、及び許可件数（１件）
・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：
・高難度新規医療技術担当部門の設置について
　・高難度新規医療技術を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
　・体制に変更があった場合の確認について

・高難度新規医療技術評価委員会について
・報告及び通知について
・実施状況等の確認について
・センター長及び病院長への報告について
・病院長からの停止命令について
・審査資料等の保管について
・秘密の保持について
・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（２件）、及び許可件数（２件）
・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：
・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の申請・確認・報告について
・未承認新規医薬品を用いた医療の提供の廃止等について
・未承認新規医薬品評価委員会について
・報告及び通知について
・使用状況等の確認について
・センター長及び病院長への報告について
・審査資料等の保管について

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 （ 有・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年５２８件
・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年８９件
・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
死亡報告については、毎月、医療安全推進室が死亡の原因や死亡と手術との関連性の検証結果、解剖やAiの結果等について医療安全推進委員会に報告している。
３ｂ以上の事例についても、毎月、医療安全推進室が内容を検証し、インシデントの原因や対策等の詳細を医療安全推進委員会に報告すると共に、必要に応じて医療安全推進委員会でも改善策の検討を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名： ）・無）
・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名： ）・無）
・技術的助言の実施状況
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問調査は実施せず、紙面調査となった。
書面にて医療安全、医薬品安全管理、高難度新規医療技術、外部監査について福島県立医科大学病院に報告し、同校からの質問に回答した。当院からは山形大学医学部医学部附属病院から書面報告を受け、内容について質問し回答を得た。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況
・体制の確保状況 地域医療連携センター内に、相談に応じる窓口を設置しており、相談担当者が対応している。 必要に応じて、相談担当者からセンター長や医療安全管理者等に相談の上、適切に対処している

⑫ 職員研修の実施状況
・研修の実施状況 令和３年１月２５日に専門医更新のための医療安全講習会（インフォームド・コンセント（IC)を考える）を実施。 令和２年度は概ね e-learning を用いた研修を実施した。特定研修と題して特定機能病院の医療安全管理に関する事項等をメインにした研修を実施。 また、特定のテーマを定め、ブラッシュアップ研修を実施しており、職員のスキル向上に努めている。（院内救急コールの運用等） なお、平成２９年度からは、医薬品安全研修が毎月開催されている。 実施後の学習効果の測定は、毎年実施しているグラジオラス通信トリビア編（マークシート回答）によって検証している。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 日本医療機能評価機構主催の２０２０年度特定機能病院管理者研修を以下のとおり受講 管理者:令和２年１２月１０日 医療安全管理責任者：令和３年２月１４日 医薬品安全管理責任者：令和２年１０月１５日 医療機器安全管理責任者：令和２年１２月１６日

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
・第三者による評価の受審状況 公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価（主たる機能種別「一般病院３」）の本審査を 2020 年 11 月に受審した。その後、2021 年 4 月に補充的審査の受審を経て、同年 6 月 4 日付けで「条件付認定（6 ヶ月）」という結果になった。条件付認定の場合、同機構から提示された改善要望事項に関して 6 ヶ月以内に確認審査を受審する必要があり、その審査で認められれば、正式な「認定」となる。 当院は「高難度新規医療技術の実施後確認」「注射薬投与時の機械認証」「病理診断結果報告書の未読確認」について改善要望事項を示されており、これらに関して 2021 年 12 月までに確認審査を受審する予定。 ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況 今後、日本医療機能評価機構のウェブサイトにて「一般病院３」の審査結果が公表される見込み。 （現在は、平成 27 年に受審した「一般病院２」の審査結果が公表されている。） （参考）日本医療機能評価機構の該当ページ https://www.report.jcqhc.or.jp/detail/id=4497

・評価を踏まえ講じた措置

（高難度新規医療技術）

高難度新規医療技術に関する同意書の様式を改訂し、自院における実績や術者の経験、新規医療技術であるが故のリスクを記載するようにした。報告間隔を１年毎から半年毎に変更し、さらに診療科からの報告だけでなく、担当部署も直接診療録等を確認するようにした。

（注射薬投与時の機械認証）

注射剤の準備及び投与時のフローの見直しとダブルチェック手順について現状分析と目標設定の検討を行い、注射実施時の業務フロー及び注射剤の確認手順を見直した。注射オーダのある施用単位払出注射剤は、薬剤調整時の確認を簡略化し、誤薬防止に観点から投与直前には携帯情報端末を用いた機械認証を必須とする業務フローとした。この業務フローの変更について、看護師長会および看護部委員会（QM 委員会）を通じて各部署への周知と徹底を図った。その後、部署ラウンドによるヒアリングと現場確認、各看護職員の認証実施率を経時的にモニタリングし遵守状況を可視化した。注射認証実施率の低い部署については、個別にヒアリングを行うとともに、各看護職員への指導を行い、誤薬防止策の徹底を図っている。

（病理診断結果報告書の未読確認）

病理所見の未読に関しては誰がどのレポートを確認していないかを明示したリストを作成し各診療科宛にリマインドを実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第７条の２の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 一　医療安全確保のために必要な資質及び能力 医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢や指導力等を有すること。 二　東北大学病院（以下「本院」という。）の管理運営上必要な資質及び能力 本院又は本院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有すること。 三　本院の理念等を実現するために必要な資質・能力 本院が掲げる基本理念と将来構想の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で基準を公表している。 （参照：http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm）

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 東北大学の病院長候補者選考会議のホームページを設置し、当ページ内で委員名簿等を公表している。 （参照：http://www.bureau.tohoku.ac.jp/byouinchousenkou/index.htm）	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	特別の関係
大野　英男	東北大学総長	○	国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第１号によるもの	有
青木　孝文	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第２号によるもの	有
滝澤　博胤	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第２号によるもの	有

小谷　元子	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第２号によるもの	有
植木　俊哉	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第２号によるもの	有
下間　康行	東北大学理事		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第２号によるもの	有
林　富	宮城県立こども病院名誉院長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第３号によるもの	無
近藤　丘	東北医科薬科大学病院長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第３号によるもの	有
八重樫　伸生	東北大学医学系研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第４号によるもの	有
髙橋　信博	東北大学歯学研究科長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第４号によるもの	有
川島　隆太	東北大学加齢医学研究所長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第４号によるもの	有
佐藤　和宏	宮城県医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第５号によるもの	無
安藤　健二郎	仙台市医師会長		国立大学法人東北大学病院長の選考に関する規程第３条第１項第５号によるもの	無

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無（有に印）

・合議体の主要な審議内容
病院の業務、運営、組織、将来計画等に関する事項

・審議の概要の従業者への周知状況
合議体（病院運営評議会）構成員への議事要旨の配付、構成員が属する部署内での情報共有

・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無（無に印） ）
・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・無（無に印） ）

合議体の委員名簿

氏名	委員長（○を付す）	職種	役職
冨永悌二	○	医師	病院長
髙橋 哲		歯科医師	総括副病院長
亀井 尚		医師	副病院長
張替秀郎		医師	副病院長
石岡千加史		医師	副病院長
五十嵐 薫		歯科医師	副病院長
江草 宏		歯科医師	副病院長
鈴木由美		看護師	副病院長・看護部長
藤森研司		医師	病院長特別補佐
高野忠夫		医師	病院長特別補佐
中川敦寛		医師	病院長特別補佐
植田琢也		医師	病院長特別補佐
庄司貞雄		研究員	病院長特別補佐

青　柳　哲　史		医師	総合感染症科長
宮　崎　真理子		医師	腎・高血圧・内分泌科長
片　桐　秀　樹		医師	糖尿病代謝科長
正　宗　　　淳		医師	消化器内科長
荒　井　啓　行		医師	加齢・老年病科長
福　土　　　審		医師	心療内科長
一ノ瀬　正　和		医師	呼吸器内科長
海　野　倫　明		医師	総合外科長
石　田　孝　宣		医師	総合外科長
齋　木　佳　克		医師	心臓血管外科長
井　樋　栄　二		医師	整形外科長
館　　　正　弘		医師	形成外科長
山　内　正　憲		医師	麻酔科長
井　上　　　彰		医師	緩和医療科長
岡　田　克　典		医師	呼吸器外科長
久志本　成　樹		医師	救急科長
島　田　宗　昭		医師	婦人科長
齋　藤　昌　利		医師	産科長
伊　藤　明　宏		医師	泌尿器科長
青　木　正　志		医師	脳神経内科長
富　田　博　秋		医師	精神科長
呉　　　繁　夫		医師	小児科長
青　木　洋　子		医師	遺伝科長
仁　尾　正　記		医師	小児外科長
笹　原　洋　二		医師	小児腫瘍科長
相　場　節　也		医師	皮膚科長
中　澤　　　徹		医師	眼科長
香　取　幸　夫		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科長
出　江　紳　一		医師	肢体不自由ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科長
中　里　信　和		医師	てんかん科長
上　月　正　博		医師	内部障害ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科長

鈴木 匡子		医師	高次脳機能障害科長
神宮 啓一		医師	放射線治療科長
高瀬 圭		医師	放射線診断科長
小関 健由		歯科医師	予防歯科長
福本 敏		歯科医師	小児歯科長
溝口 到		歯科医師	矯正歯科長
水田 健太郎		歯科医師	歯科麻酔疼痛管理科長
齋藤 正寛		歯科医師	保存修復科長
佐々木 啓一		歯科医師	咬合回復科長
山田 聡		歯科医師	歯周病科長
江島 豊		医師	材料部長
笹野 公伸		医師	病理部長
八重樫 伸生		医師	周産母子センター長
石井 正		医師	総合地域医療教育支援部長
中山 雅晴		医師	メディカル IT センター長
菊池 雅彦		歯科医師	総合歯科診療部長
服部 佳功		歯科医師	高齢者歯科治療部長
小山 重人		歯科医師	顎顔面口腔再建治療部長
眞野 成康		薬剤師	薬剤部長
梁川 功		放射線技師	診療技術部長
山腰 俊昭		事務職員	事務部長
飯久保 正弘		歯科医師	周術期口腔支援センター長
加藤 裕光		歯科技工士	診療技術部歯科技術部門長
佐藤 智昭		歯科医師	総括副病院長特別補佐
黒澤 一		医師	安全衛生管理室長
藤盛 啓成		医師	医療安全推進室長
徳田 浩一		医師	感染管理室長
鈴木 匡子		医師	高次脳機能障害科長
神宮 啓一		医師	放射線治療科長
高瀬 圭		医師	放射線診断科長
小関 健由		歯科医師	予防歯科長

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限
・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 一部有 ・無 ） ・　公表の方法 　病院長の予算権限については「東北大学会計規程」で定められており、当該規程はwebsite上で閲覧可能となっている。 　病院長の人事権限については「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」、「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」、「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」で定められているが、これらは院内のみ閲覧可能となっており、公表はされていない。 ・　規程の主な内容 　「東北大学会計規程」においては、部局の長を予算責任者として定め、予算の執行計画に関する事務を行わせることを定めている。 　「東北大学病院の総括副病院長及び副病院長に関する申合せ」では、病院長が総括副病院長及び副病院長候補者を指名し，総長に推薦するものであることを定めている。「東北大学病院病院長特別補佐に関する内規」では、病院長特別補佐は病院長が任命することを定めている。「東北大学病院専門別診療科等に関する内規」では、科長、副科長、医局長、病棟医長及び外来医長は，病院長が任命することを定めている。 ・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割 　本院では、歯科部門の責任者として総括副病院長を1名置き、医科部門の副病院長3名、歯科部門の副病院長を2名置いている。また、現在、病院長特別補佐を20名置き、それぞれ別紙の役割を担っている。 ・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況 　国立大学附属病院長会議で、国立大学附属病院の医事系、経営系事務職員を対象とした研修会を随時開催している。また、次世代の病院運営を担う層に対して「トップセミナー」も実施している。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	[有]・無

・監査委員会の開催状況：年２回
・活動の主な内容：
・以下に掲げる事項について病院長に対し報告を求め、必要に応じて実地監査を行うこと。
　イ　医療安全管理に係る体制
　ロ　医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務の状況
　ハ　医療安全推進室の業務の状況
　ニ　医療に係る安全管理のための委員会の業務の状況
　ホ　その他医療安全管理に関して必要な事項
・必要に応じ、総長又は病院長に対し、医療安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。
・その結果を公表すること。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ [有]・無 ）
・委員名簿の公表の有無（ [有]・無 ）
・委員の選定理由の公表の有無（ [有]・無 ）
・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ [有]・無 ）
・公表の方法：
　東北大学及び東北大学病院のホームページへの掲載。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
武田　和憲	社会保険診療報酬支払基金宮城支部	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・[無]	1
嶋森　好子	岩手医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・[無]	1
三輪　佳久	齋藤・笹村法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・[無]	1
原　忠篤	東北医科薬科大学病院		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・[無]	2

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1. に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 国立大学法人東北大学監事監査規程（公表）において、本学の監事監査の目的として「関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査する」と定められている。この監査事項の詳細は、国立大学法人東北大学監事監査実施細則（非公表）に定められており、第3条第1項第9号に「病院管理者の業務の法令適合状況」が明記されている。 また、同監事監査規程においては、監査報告書に基づき改善すべき事項がある場合には、総長（病院開設者）は速やかに改善の措置を講じることとされており、取組の有効性を検証し、適時に見直しを行う体制が構築されている。 ・ 専門部署の設置の有無（　有・[無]　） ・ 内部規程の整備の有無（　[有]・無　） ・ 内部規程の公表の有無（　[一部有]・無　） ・ 公表の方法 国立大学法人東北大学監事監査規程は国立大学法人東北大学規程集（http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei/reiki_taikei/r_taikei_01.html）にてweb公開されている。

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況
・　病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 　平成15年度から本院には外部有識者で構成される「東北大学病院運営諮問会議」が設置され、病院長の諮問に応じてその運営、将来計画等に関する重要事項を審議し、病院長に助言、勧告を行ってきた。 　この合議体に平成30年9月から予算執行状況その他の本院の管理運営に関する重要事項について監督する機能も付与した。 ・　会議体の実施状況（　年２回　） ・　会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（　年２回　）（有に印） ・　会議体に係る内部規程の公表の有無（　有・無　）（無に印） ・　公表の方法
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：
会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
林　　富	一般財団法人宮城県成人病予防協会 中央診療所	○	無
近藤　丘	東北医科薬科大学病院長		有
朴澤　泰治	学校法人朴沢学園理事長		無
一力　雅彦	河北新報社代表取締役社長		無
大山　健太郎	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長		無
樋口　康二郎	東北電力株式会社取締役社長		無
小林　英文	株式会社七十七銀行取締役頭取		無
深澤　ひとみ	プルデンシャル・ファイナンシャル・ インク　日本駐在員事務所		無
伊藤　直之	伊藤・根本法律事務所弁護士		有

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ） ・通報件数（年０件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ） ・周知の方法 　窓口が設置された平成２８年度に全病院職員に対してリーフレットを配布した。 　また、毎年４月当初に開催されるオリエンテーションにおいて全新規入職者を対象にリーフレットを配布している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・情報発信の方法、内容等の概要 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：令和２年１１月	

2　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院ホームページでは、利用者目線に立った内容やレイアウトの工夫を行い、本院の取り組みや、診療科スタッフの紹介、受診手続きについて掲載している。 また、病院広報誌の刊行を定期的に開催するほか、河北新報に「気になる症状すっきり診断」と題した連載を掲載し、本院の診療に関する取り組みにについて紹介している。	